

第六十七回帝國議會 院 昭和十年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外一件委員會會議錄(速記)第六回

會議

昭和十年二月七日(木曜日)午前十時四十分  
開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 岡田 忠彦君
- 理事松村 光三君 理事岡田喜久治君
- 理事中村 繼男君
- 廣瀬 爲久君 山田 又司君
- 小笠原三九郎君 大口 喜六君

太田 正孝君

上田 孝吉君

玉置吉之丞君

大山斐瑛鷹君

森田 福市君

金光 庸夫君

後藤 亮一君

前田房之助君

小川郷太郎君

矢野庄太郎君

中島彌團次君

栗原彦三郎君

龜井貫一郎君

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 高橋 是清君

陸軍大臣 林 銑十郎君

出席政府委員左ノ如シ

對滿事務局長 川越 文雄君

大藏政務次官男爵 矢吹 省三君

大藏參與官 豐田 收君

大藏省主計局長 賀屋 興宣君

大藏省主稅局長 石渡莊太郎君

大藏省理財局長 青木 一男君

大藏書記官 大矢半次郎君

陸軍一等主計正 大城戸仁輔君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)

臨時利得稅法案(政府提出)

日本銀行納付金法中改正法律案(政府提出)

日本銀行納付金法中改正法律案(政府提出)

付託議案

昭和十年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)  
昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)  
臨時利得稅法案(政府提出)  
日本銀行納付金法中改正法律案(政府提出)  
國際文化事業ニ關スル經費支辨ニ關スル法律案(政府提出)  
造幣局ノ廳舎、工場其ノ他ノ用ニ供スル建物及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案(政府提出)  
東京高等農林學校及函館高等水產學校ノ創設ニ伴フ帝國大學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案(政府提出)  
日本銀行金買入法中改正法律案(政府提出)

出)

○岡田委員長 是ヨリ開會致シマス

○小笠原委員 私ハ滿洲ニ對スル、及滿洲

ニ於ケル經濟關係ニ付キマシテ、最近滿洲  
事件費方三千萬圓近クモ昨年ニ比シマシテ  
殖エ、竝ニ日滿經濟會議方近ク開始サレ  
ト云フ事柄、竝ニ今年ノ一月八日ニ高橋大  
藏大臣ガ、所謂初閣議ニ於テ重大ナル御提  
言ニナツテ居ル、斯ウ云フ關係カラ、對滿事  
務局總裁デアラセラレル林陸軍大臣ニ御意  
見ヲ承リタイト思フデアリマス、ソコデ  
第一ニ私ハ御伺申上ゲタイノハ、今年ノ一  
月八日ノ、アノ初閣議ニ於キマスル、高橋  
藏相ノ對滿投資ニ關スル御提言ニ付テ、ア  
リマス、此御提言ハ、過日本會議ニ於キマ  
シテ、大藏大臣カラ詳細ナル御説明ガアリ  
マシテ、大藏大臣ノ意ノアル所ハ、私共深  
ク之ヲ諒承スルコトガ出來タノデアリマ  
ス、順序ト致シマシテ、私ハ少シク私ノ意  
見ヲ申述ベサセテ戴キマス、我ガ日本ガ恰  
モ貿易ノ入超期ニ際シテ居リマスシ、而モ  
本年度ハ北鐵ノ買收資金三千萬圓、竝ニ來  
年一月一日、滿鐵關係ノ英貨公債六百萬磅  
約一億二百萬圓控ヘテ居リマス、此儘放任  
シテ居リマスレバ、圓爲替ハ漸次低落シテ  
參リマス、延イテ我國ノ海外拂ガ増加スル、

外債ノ元利拂等ガ激増スルト云フヤウナコ  
トデ、國庫ノ財政ハ赤字ノ過超ヲ來ス虞ガ  
アル、サウ云フコトニナルト、向後又多額  
ノ發行ヲ必要トスルダラウト思フ、赤字公  
債ノ消化ノ非常ニ困難ナ點モ憂慮セラレル  
ノデ、大藏大臣ガ圓爲替維持ノ方針カラ、  
斯ウ云フ御提言ヲ爲サツタコトハ、私共大  
藏大臣ノ立場トシテ、洵ニ御尤ニ存ズルノ  
デアリマスケレドモ、其大藏大臣ノ御話ノ  
中ニハ、爲替關係ノ外ニ可ナリ重大ナル意  
義ヲ含ンデ居ルヤウニ思ハレルノデアリマ  
ス、其御話ノ中ニ、經濟的見地カラ見ルト、  
滿洲國ヲ日本トシテハ別個ノモノトシテ取  
扱フト云フ點ガ一ツト、ソレカラ次ニ大藏  
大臣ハ、政府ノ支拂ナリ、又民間ノ投資ナ  
リヲ、出來ルダケ少クシテ貰ヒタイト云ッ  
タヤウナ、詰リ抑制ヲ希望シテ居ラレル點  
ガアルノデアリマス、是ハ餘程在來ノ考方  
ト違ヒマシテ、又私共ガ軍部ノ御意嚮トシ  
テ聽イテ居ル事柄ヤ、又日本ノ事業家ヤ、  
其他多數ノ人々ノ主張スル考方ト大變違ッ  
テ居ル、私共ハ日滿兩國ノ經濟ヲ打ッテ一  
丸トシテ、其處ニ強力ナル經濟「ブロック」  
ヲ完成スル、サウシテ此日本ノ非常時ヲ突  
破スル、サウ云フ状態デスカラ、經濟的見  
地カラハ滿洲ヲ他國ト見ナイ、日本ト同一

視スル、斯ウ云フコトデ軍事的、國防的要  
求ナリ、乃至ハ之ニ依ッテ世界經濟「ブロッ  
ク」下ニ對抗シテ行ク、斯ウ云フ風ニ考ヘ  
テ居ッタノデアリマス、ソレデアリマスカ  
ラ、滿洲ノ投資ノ如キモノモ、多ケレバ多  
イ程宜イ、所謂多々益、辨ズト云ッタヤウナ  
考方ヲシテ居ッタノデアリマシテ、今回高  
橋藏相ガ御話ニナッタヤウニ、詰リ金融上、  
爲替上ノ見地カラ見ルト、是ハ臺灣、朝鮮  
ト同一視スル譯ニ行カヌ、全然別扱ヒニシ  
ナケレバ、而モ獨立國デアリマスカラ——  
私ノ言フノハ經濟上ノコトデアリマス、私  
共ガ考ヘテ見マスト、日本ノ對滿經濟ヲ建  
設スルコトハ、漸ク其道程ニ著イタバカリ  
デアッテ、將來必ズ相當額ノ資本投下ガ必要  
デアラウト思ハレルノデアリマス、ソコデ  
私ガ御伺致シタイノハ、林陸軍大臣ハ滿洲  
國ヲ高橋サンノ如クニ、經濟的ニ他國ト御  
覽ニナルカ、ソレトモ同一「ブロック」ノ經  
濟ノ組成分子ト見テ、其強化ヲ圖ラル、コ  
トニナルカ、是ハ對滿國策ノ根本ニ關スル  
問題ト思ハレマスルノデ、先ヅ此點ヲ御伺  
申上ゲタイト思ヒマス

○林國務大臣 只今ノ滿洲ニ對スル經濟上  
ノ關係云々ト云フ點ニ付キマシテノ御意見  
ハ、大體私モ同様ニ考ヘテ居リマス、將來  
滿洲ハ正ニ大ニ發展サセナケレバナラス、  
隨テ資力ハ相當ニ滿洲ニ入ッテ行カナケレ  
バ滿洲ノ發展ガ出來ナイ、此間高橋藏相ノ  
言ハレマシタコトハ、私共ハ主トシテ所謂  
爲替關係カラ見テ行クベキモノデアッテ、今  
申シタヤウナ對滿投資ヲ制限スル、極端ニ  
制限スルト云フヤウナ考ハナイノデアリマ  
ス、詰リ放漫ナル投資ハ避ケナケレバナラ  
ヌ、併シ堅實ナル投資ハ無論歡迎シナケレ  
バナラス、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス  
○小笠原委員 今陸軍大臣ノ御話ノ如ク  
ニ、大藏大臣ノ意嚮ハサウデアリマスルガ、  
併シ滿洲事件費ノ如キモ、昨年ヨリ三千萬  
圓モ殖エテ居ル、斯ウ云フコトハ、御承知  
ノ如クニ滿洲ガ全然獨立國デアリマスル  
シ、向フハ銀デヤッテ居リマスルシ、此方  
ハ金デアリマスルカラ、爲替問題カラ申シ  
マスルト、是ハ矢張圓爲替ヲ低落セシムル  
コトニナリマシテ、圓爲替低落ノ作用カラ、  
延イテ段々海外拂ガ殖エテ來ル、外債ニ對  
張日本ノ爲替ヲ惡化サセテ行ク、斯ウ云フ  
コトハ是ハ争ヘナイ事實デアルト思ヒマ  
ス、ソコデ私ノ御伺致シタイノハ、滿洲事  
件費ト云フモノハ、將來ドウ云フ風ニナル  
ノデアリマスルカ、一番主ナモノガ陸軍

關係デアリマスルカラ、先ヅ其點ガ承リタ  
イノデアリマス、丁度昭和十年度ノ滿洲事  
件費ハ、只今申上ゲマシタヤウニ、陸軍關  
係ノ分ダケガ約二千九百餘萬圓増額トナ  
テ居リマス、所ガ是ハ屢々今マデ繰返サレ  
マシタ通りニ、荒木前陸軍大臣ハ、昭和十  
年頃ニナルト、滿洲ハ大體平年化スル、平  
年化シテ來レバ、約七千萬圓モアレバモウ  
足リルノダ、斯ウ云フ御話ダツタノデアリ  
マス、是ハ屢々此事ヲ議場デ公言ヲサレテ  
居ルノデアリマス、所ガ昭和十年度ハ、昨  
年ノ九年度ヨリモ増額シテ居ル、斯ウ云フ  
ヤウナ事實ヨリ致シマスルト、是ハ私ハ今  
日ノ情勢カラ見マシテ御尤ダト思ヒマス、  
金額ガ何モ多イト云フコトヲ毛頭申上ゲル  
ノデハゴザイマセヌ、御尤ダト思フノデア  
リマスガ、併シ將來ノ財政計畫トカ、或ハ  
日滿經濟ニ投掛ケル影響ト云フモノハ、非  
常ニ大キイノデアリマシテ、ソコデ陸軍關  
係デハ此費用ガドウナツテ行クカ、詰リ何時  
頃平年化スルカ、平年化シタラ其費用ハ幾  
ラ位ニナルカ、斯ウ云フコトヲ伺ヒタイノ  
デアリマス

滿洲事件費ニ於テ増加シテ居ル主ナル原因  
ハ、航空部隊ノ整備デアリマス、ソコデ其航  
空部隊ノ整備ハ、今ノ所デハ今後四箇年ヲ  
目差シテ計畫シテ居リマスガ、ソレガ四箇  
年後ニナツテ、モウ航空部隊ノ整備ヲ止メ  
テモ宜イモノカ、斯ウ云フ問題ハ一寸見込  
ガ付カナイ、是ハ主トシテ所謂相對的關係  
ノモノデアリマスカラ、其頃ニナツテモウ  
大抵此程度デ宜イト云フコトニナレバ、航  
空ニ要スル費用ガ可ナリ減ルノデアル、又  
其外ニ滿洲事件費トシテハ、滿洲ニ於ケル  
部隊ノ移動トカ、或ハ討伐ダトカ、サウ云  
フコトニ費用ヲ消費シタリスルノガ、滿洲  
事件費ノ主ナルモノデアリマスガ、最早極  
メテ平穩デアル、平時狀態ト全ク變ラヌト  
云フコトニナルト、ソレハ又可ナリ減ルト  
思ヒマス、隨テ滿洲事件費ノ將來ハ、大體  
ニ於テ航空部隊ノ充實、ソレニ伴ウテ起ル  
所ノ費用ト云フヤウナモノガ、骨子ヲ成ス  
モノデアリマスカラ、非常ナ大ナル節減ト  
云フコトハ想像ガ出來ナイ、事件當時、即  
チ二三年前ノ滿洲ノ狀態ヲ見テ居ッテモ、本  
年ハスッカリ滿洲ハ平穩ニナルデアラウト  
云フノデ、大體七千萬圓トカ、八千萬圓トカ  
云フ數字ガ出タングラウト思ヒマスガ、今  
ノ所新ニ航空部隊ノ充實ト云フ問題ガ起

テ居リ、又滿洲四圍ノ情勢カラ云ッテモ、近  
ク兵備ヲウント減ラスコトガ出來ルト云フ  
ヤウナ見込ガ、今立チ兼ネルノデアリマス、  
隨テ滿洲事件費ハ、近キ將來ニ於テ甚シク  
減ジナイト云フ計畫ヲシテ行クコトガ、至  
當ダト思フノデアリマス

**○小笠原委員** ソレ等ニ付キマシテ、次ニ  
色々滿洲ノ幣制等ニ付テ變ヘル必要ハ起ラ  
ヌカト云フコトヲ質問シタイトモ考ヘマス  
ルカラ、大藏大臣ノ速ナル御出席ヲ御願致  
シマス、今ノ露西亞——「ソヴィエト」竝  
ニ支那ニ於ケル航空部隊ノ情勢ニ見マスル  
ト、洵ニ御尤ト思フノデアリマスガ、サウ  
致シマス、向フ五箇年間位ハ航空隊ノ充  
實等デ、大體今位ノ金額、陸軍關係デ一億  
六七千萬圓ノ金額ヲ必要トスル御考デアリ  
マセウカ、是ハ將來ノ事デアリマスノデ、  
大體ノ所デ宜シウゴザイマスガ……

五箇年ノ航空計畫ヲ終ツタ上デ、サウ云フ風  
ニナルト云フ御考デアリマスカ

**○林國務大臣** 五箇年計畫ガ終リマセヌデ  
モ、一二年ノ後ニハモウ減少ノ傾向ガ現レ  
ルト云フ大體ノ計畫デアリマス、只今ノ所  
デハ是ガ一億以内ト云フ見込ハマダ立ッテ  
居リマセヌ

**○小笠原委員** 次ニ私ノ御尋シタイノハ、  
民間ノ對滿投資ニ關シテ、對滿事務局總裁  
トシテノ御考ヲ承リタイ、丁度戴キマシタ  
表ニ依リマス、大藏省ノ調デハ、七、八、  
九年間ニ四億八千萬圓バカリ、主トシテ滿  
鐵關係デアアルガ、滿洲ニ投資サレテ居ルノ  
デアリマス、所ガ私共滿洲建設經濟綱要ニ  
記サレタ、ア、云ツタ方針デ滿洲ノ經營ガ爲  
シ得ラレルノデアルカ、先ヅ考ヘテ見マス  
ト、尙ホ將來相當彼地ニ投資ガ必要デア  
ルト考ヘルノデアリマス、所ガ事實上ニ於キ  
マシテ、彼地ニ資本ヲ誘導シテ行クト云  
タ事柄ニ付テ、滿洲國ニ於テ、所謂皇軍ノ  
中心デ御考ニナル事柄ガ、餘程妨ゲニナ  
テ居ルヤウデアアル、資本家カラ見マス、  
洵ニ不安ニ堪ヘヌ點ガ多クデアリマスノデ、  
ソレ等ノ事柄ニ付テ少シク伺ッテ見タイト  
思フノデアリマス、滿洲建設經濟綱要ヲ見  
マス、餘程國家社會主義的ナ統制經濟ガ

強ク織込マレテ居ル、一面ニハ是ハ宜イコトモアリマセウガ、隨分他方ニハ資本家ナドヲ萎縮セシメテ、ドレダケ滿洲ノ經濟界ノ發達ヲ妨ゲテ居ルカ分ラヌト思フノデアリマス、最近聞ク所ニ依リマス、餘程軍當局デモ御考ガ變々ヤウニモ聞イテ居リマス、是ハ御承知ノ通り滿洲ノ經濟界ハマダ幼稚デアリマシテ、謂ハ、農業時代ト云フモノヲ脱シテ居ナイ未開地デアリマスカラ、サウ云フ處ニ餘リ進歩的ナ經濟觀念ヲ以テ御臨ミニナッテモ、是ハ害コソアレ、益ハ殆ドナイヤウニ思フノデアリマス、マア經濟關係ト云フト、動モスレバ難シク考ヘラレルガ、俗ニ言ヘバ金儲ケガ基調トナッテ居リマスカラ、先以テ儲ケサセルト云フコトニナラナケレバ、其處ニ資本ガ行クモノデハナイ、事業ガ起テ開發出來ルモノデハナイ、サウ云フ事業ガ起リ開發ガ行ハレタ上デ、國家ノ權力ニ於テ統制ヲヤラレルト云フコトガ、順序デハナイカト考ヘルノデアリマスガ、其考ノ下ニ一ツ御尋シタイノハ、滿洲國ノ經濟開發ニ付テハ、矢張經濟綱要ニ示サレタ統制經濟ノ下ニ進マレル御考デアルカ、ドウデアリマセウカト云フコトガ第一問デアリマス

○林國務大臣 只今御心配ニナルヤウニ、

將來滿洲ノ經濟ヲ一ツノ國家社會主義的ナモノヲ採ルト云フヤウナ、サウ云フ極端ナ考ハ一ツモ有ッテ居リマセヌ、私滿洲國デ出來タ建設經濟綱要ナルモノヲ知リマセヌガ、只今吾々ノ考ヘテ居ル方針トシマシテハ、サウ云フ極端ナ國家社會主義ヲ採ルトカ、極端ナ統制主義ヲ採ルト云フ考ハ有ッテ居リマセヌ

○小笠原委員 ドウシマシテモ滿洲ノ開發

其他カラ見テ、資本ヲ誘導シテ行クト云フコトガ、私共必要デアルト考ヘルノデアリマス、所ガ滿洲自體ニ資本ガアリマセヌカラ、外國カラ資本ノ誘導ヲシナケレバナリマセヌガ、今日ノ情勢カラ考ヘテ、外國ノ資本ト云ヘバ、我が日本以外ニハナイト思ヒマス、所ガ日本ノ資本ヲ誘導スルニハ、矢張其投資ガ非常ニ確實ノモノデナケレバナラス、假令確實ナモノデアッテモ、統制經濟ノ一ツ目標トサレルト云ッタヤウナ事デアッテ見タリ、又ヒヨットスルト其上ニ國家ノ權力ガ及ンデ來ルト云フコトデアリマス、資本家ガ斯ウ云ッタ投資ヲ躊躇スルト思フノデアリマス、昨年丁度滿洲景氣トデモ申シマスカ、ア、云ッタ時節ニハ、色々會社ナドガ出來タノデアリマス、其中ニハ随分不良ナモノモアッテ、大藏大臣ガ過日御話ニ

ナッタヤウナ事柄モアッテ、洵ニ面白クハゴザイマセヌガ、併シ滿洲ノ實情カラ見マスルト、マダ續々資本ガ行クト云フコトガ、滿洲開發ノ爲ニ必要ノヤウニ考ヘラレルノデアリマス、何カ此資本誘導ニ付テノ御考ガ御有リデアリマセウカ、其點ヲ御伺致シタイト思ヒマス

○林國務大臣 滿洲ノ事業ト云フコトニ付

キマシテハ、事業其モノニ對シテ若干ノ統制ヲスルト云フコトハ、是ハ當時滿洲ノ建國當時デアルト云フ考ト、ソレカラ國防ト云フ見地カラ、産業ノ或ルモノニ向ッテ統制ヲ加ヘルト云フコトハ、是ハ免レヌト思ヒマス、併シ其他ノ問題デ、投資ヲ鈍ラスヤウナ非常ナ制限ヲ加ヘルト云フヤウナコトハ、全然今考ヘテ居ラヌノデアリマス

○小笠原委員 是ハ國家ノ爲メ又公益ノ爲

ニ、已ムヲ得ザル部門ニ付テ統制ヲ爲サイマスコトハ當然ト考ヘマス、特ニ滿洲ノ現狀デハ當然ト考ヘマスガ、ドウモ少シク何時モ行過ギテ居リハセヌカ、少シ統制範圍ガ行過ギテ居リハセヌカ、サウ云フコトヲ皆心配シテ居リマス、又事實サウ云フ點ガ多分ニ見受ケラレマスノデ、是ハ今後對滿事務局總裁ト致シマシテ、又軍ノ配備上ニ於テ、向フヲ御指導ニナッテ居ルノデアリ

マスカラ、餘程御注意下サランコトヲ御願申上ゲテ置キマス、ソレカラ次ニ御伺シタイノハ、滿鐵改組等ノ問題ガ出ル毎ニ、何時モ出ルノデアリマスガ、ドウモ配當制限ト云ッタヤウナ御考ガアリハセヌカ、軍需工業等ニ付テモ、昨日ハ此處デサウ云フ考ハ有ッテ居ラヌト云フ御話ガアリマシタガ、ドウモ滿鐵ハ少シ儲ケ過ギル、其儲ケ過ギルモノハ、マア六朱位ノ程度マデ配當ハ下ゲテモ宜イデハナイカト云フヤウナコトヲ、言ッテ居ラレル方モアルノデアリマス、所ガ私共考ヘマスルト、前申シマシタ通り、滿洲ヘノ資本ヲ誘導スルニハ、利益ガアルト云フコトデナケレバ資本ノ誘導ハ難カシイノデアリマシテ、假ニ滿鐵ノ配當制限ヲスルト云フヤウナコトニナリマス、近ク苦イ御經驗ヲナサイマシタ通りニ、社債ノ募集トカ、或ハ未拂込株金ノ徵收ト云フヤウナモノガ、非常ニ困難ニナルノデアリマス、ドウシテモ主トシテ日本ノ資本ニ仰ガナケレバナラヌ現狀ニ於キマシテハ、少々儲カルカラ配當制限デモシヨウト云ッタヤウナ考ガ少シデモアリマス、是ハ甚ダ面白クナイ、寧ろ滿洲ノヤウナ草創ノ時代ニ於テハ、少シ餘計儲カル方宜イノデヤナイカ、サウ云フコトニ依ッテ先ヅ經濟界

ヲ賑ハセテ、其上デ色々租稅其他ノ方法ニ依ッテ御取リニナル手段モアラウト思ヒマスカラ、サウ云フ風ニ私共願ヒタイト思ッテ居ルノデアリマスガ、是ハ如何ナ御考デアリマセウカ、丁度水ガ低キニ流レルヤウニ、資本ハドウシテモ利益ノ高イ所ヘ集ルノデアリマシテ、サウ云フコトデナケレバ、滿洲ノ經濟開發ハ餘程困難ダト考ヘテ居ルノデアリマスガ、御所見ノ程ヲ伺ヒタウゴザイマス

○林國務大臣 昨日モ軍需工業ノ會社ノ問題デ申シマシタガ、只今ノ所滿鐵ニ向ッテ配當ノ制限ヲスルナドト云フコトハ、全然考ヘテ居リマセヌ

○小笠原委員 サウ云フ只今御考ヲ御持チデナイト云フコトデアリマスガ、將來モサウ云フコトデ御進ミ下サイマセスト、餘程向フノ經濟開發ガ困難ニナルト考ヘマスカラ、此點ハ特ニ希望ヲ申上ゲテ置キマス、其次ニ私ノ御伺シタイコトハ、漸次滿洲國ヲ金本位ニスル日ガ近付イテ居ルノデハナイカト云フ事柄ニ付テ御伺申上ゲタイノデアリマス、爲替關係カラ高橋大藏大臣ガ滿洲國ヲ外國ト御覽ニナル、是ハ通貨モ違ッテ居リ、當然デアリマス、所ガ今申上ゲマシタヤウニ、滿洲國ニハ日本カラ資本ヲ入

レル以外ニ途ガナイ、ソレカラ又國防費モ到底一億以内ニ減ズル見込ガナイ、此二ツヲ併セ考ヘマスト、滿洲國ガ外國トシテノ爲替關係ニ相變ラズ置カレテ居ルト云フ事柄ハ、非常ニ將來ノ國策ノ上ニ惡イ影響ヲ與ヘハセヌカ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、丁度滿洲國ガ國ヲ創メテ以來三年間位デ、アレダケ幣制統一ノ大業ヲ成就シマシタコトハ、洵ニ私共敬服スル所デアリ、又建國ノ當初ニ於テ、實際ノ經濟生活ト人情風習等ニ考慮ヲ拂ハレテ、此事ヲサレテ居ルコトハ、私ハ適切妥當デアッタト考ヘルノデアリマスガ、併シ此頃ハ少シ事情ガ變ッテ來テ居ルノデハナイカ、斯ウ思フノデアリマス、此點ニ付テハ高橋大藏大臣ニモ一ツ御意見ノ程ヲ御示シテ願ヒマスト、洵ニ仕合せト存ズルノデアリマスガ、實ハ御承知ノ如ク、滿洲ニハ滿洲國幣ト云フモノガ使ハレテ居ル、此國幣ト云フモノハ、銀ノ純分ガ二三「ポイント」幾ラ、銀ノ純分ヲ代表シテ居ルモノデアリマスケレドモ、現實之ヲ兌換シテ居ル譯デハゴザイマセヌシ、又滿洲國ニ現實銀貨ガ行ハレテ居ル譯デハゴザイマセヌ、ソコデ滿洲國ノ貨幣制度ヲ、一口ニ申シタラ何ト言ヒマスカ、銀本位通貨管理制トデモ申サナケレバナラ

ヌヤウナ、變態ノモノデアアルノデアリマス、所ガソレデハ何ニ一體標準ヲ置イテ居ルノカ、斯ウ云フコトヲ聽キマスト、是ハ銀ノ値打其モノニ標準ヲ置イテ居ルノダ、斯ウ云フコトデアリマス、所ガ銀ノ値打ト云ヘバ、ズット以前デアリマスレバ、世界的ニ銀ノ値打ガ大體一定シテ居リマシタカラ、サウ云フコトガ申サレルノデアリマシタガ、亞米利加ノ銀政策ノ影響ヲ受ケテ、昨年十一月支那ガ殆ド銀ノ輸出禁止ヲ事實上ニ於テ爲シ、關稅其他ノ引下ヲ行ッテ以來ト云フモノハ、此滿洲ノ經濟關係カラ見ルト、ドウシテモ支那ノ銀ト云フモノニ標準ガ置カレテ居ルノデアラウト思ヒマス、所ガ支那ノ銀ノ値打ナルモノハ、今日ノ世界ノ銀ノ値打カラ掛離レ、分離シテシマッテ居ルノデアリマス、サウ致シマスト、此銀ノ値打ニ標準ヲ置イテ居ルト云フコトハ、少シク今迄ノ情勢ガ變ッテ來テ居ルノデハナイカト私共考ヘルノデアリマス、此頃モ滿洲中央銀行ノ當局者ニ會ヒマシテ、今マデハ尤デアリ、又過渡期ニ對スル色々ナヤリ方ニ付テハ、御經驗上斯ウ云フコトモ宜カラウト考ヘルノデアアルガ、併シ銀本位ヲ——是モ銀本位デアリマセヌ、銀本位通貨管理制度ト云ウタヤウナコトヲ御採リニナッタ

ノハ、ドウ云フ理由カト私ガ質シタ所ガ、ソレハ滿洲ハ政治上ニハ日本ノ勢力圈内ニアルガ、經濟的ニハ支那ノ勢力範圍ダト云フコトガ一ツ、第二ハ、滿洲國ノ住民ハ何ト云ッテモ支那人ガ多數デアッテ、ソレハ銀ニ慣レテ、銀ヲ愛好シテ居ル、斯ウ云フ二ツシカ理由ガ舉ゲラレナカッタノデアリマス、所ガ私ノ考ヘデ見マスト、支那人デモ別ニ銀ヲ好ム譯デハナイ、銀ト金ヲヤレバ寧ロ金ヲ好ム、況ヤ滿洲デハ銀ガ行ハレテ居ル譯デハナイ、銀ヲ代表シテ居ル紙ノ國幣ガ行ハレテ居ルニ過ギナイト云フ實情デアリマスシ、又經濟的ニ支那人ノ勢力範圍ダ、斯ウ言ハレルケレドモ、私共ハ寧ロ經濟的ニハ日本ノ勢力範圍デハナイカト、事實上考ヘルノデアリマス、滿洲ニ於ケル一番大キナ滿鐵ト云ヒ、其關係會社ト云ヒ、竝ニ近頃ノ近代的「インダストリー」ハ、殆ド悉ク日本ノ資本ノ勢力ニナルノデアリマシテ、一口ニ申シマスレバ、滿洲ノ經濟界ハ新シイ方面、近代のナ方面、大キナ方面ト云フモノハ、悉ク日本ノ資本デ賄ハレテ居ル、斯ウ云フ風ニ見ルベキモノデハナカラウカ、サウ云フ風ニ考ヘテ見マスト、ドウモ支那ノ資本ガカラ、支那ノ經濟的勢力範圍ダカラト云フコトハ、少シク實際ト違フデヤナ

イカ、ノミナラズ此民間ノ投資ナリ、或ハ又今ノ軍關係ノ諸支拂ナリガ、全部金デヤラレルコトデアリマスカラ、ソコニ私ハ了ヒニハ、金ノ資本ヲ代表シテ居ル所ノ日本人社會ト云フモノト、ソレカラ平常銀ヲ使フ、マア農業トカ、或ハホンノ小賣商トカ云ツタヤウナ、小規模ナモノト思ヒマスカ、サウ云フ所謂滿洲人ノ銀社會ト云フモノガ、經濟的ニ對立スル結果ニナツテシマツテ、ソレデハ陸軍大臣等ガ最モ所期セラレテ居ル所ノ、日滿ノ融合ト云フモノヲ寧ロ破ル因ニナリハセヌカ、斯ウ云フ風ニ私共考ヘルノデアリマス、將來サウ云フ惡イ事ガ現レテハ大變デアリマスカラ、今日カラ矢張金本位ニ持ッテ行クト云ツタヤウナ考方デ、諸般ノ準備ヲ進メラレル方ガ宜クハナイカ、現ニ支那モ最近ノ銀ニ對スル、恐慌状態カラ、色々通貨制度ニ對スル再吟味ヲヤツテ居ルヤウデアリマス、私ハ以前臺灣銀行ニ關係ガアリマシテ、臺灣ノ幣制改革當時ノ事情ヲ考ヘテ見マスト、モウボツボツ斯ウ云フ準備ヲナサイマシテ、漸次御ヤリニナルト云フコトガ必要デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、サウ致シマスト、大藏大臣ガ御心配ニナリマシタヤウナ、假ニ共通ノ——今日日本モ金本位ハ一時中止シテ居リ

マスカ、共通ノ圓金本位トデモ言フベキモノガ出來マスレバ、爲替關係カラモ心配ハ要ラナクナル、軍ノ支拂ガ一億以上、民間ノ支拂ガ一億トカ、二億トカニ上ルデアリマセウ、是等ノ爲替關係ト云フモノ、將來ヲ考ヘテ見ルト、大キイ影響ヲ投掛ケルノデアリマス、貿易ナドガ少シ「ルーズ」ナ状態ニアリマスカラ、餘程爲替關係ニ付テハ、高橋藏相ハ御心配ニナツテ居ル圓爲替維持ト云フコトガ、漸次困難ニナツテ行ク心配ハナイカ、サウナツテ行クト、國ノ赤字公債ノ發行、消化等ニモ非常ニ困難ナ問題ヲ生ジテ來ラウト考ヘマスノデ、茲ハ一ツ成ベク早く金本位ニ持ッテ行クト云フ、御準備ヲ爲サラナケレバイカヌノデアナイカト云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマスカ、右ニ對シマシテ陸軍大臣竝ニ大藏大臣ノ御答辯ヲ願ハレ、バ、洵ニ仕合セニ存ジマス、尙ホ大藏大臣ハ御疲レノヤウデゴザイマスカラ、御著席ノ儘ユツクリ御答辯下サランコトヲ、特ニ御願申上ゲテ置キマス

**○林國務大臣** 此問題ニ就キマシテハ、滿洲國政府ガ將來ドウ云フ制度ヲ採ルカ、色々ノ關係ヲ考慮シテ、適當ナル方法ヲ採ルモノト私ハ考ヘテ居リマスカ、ソレニ付テ

ハ主トシテ大藏大臣ノ意見ヲ御聽キ下サルヤウニ御願致シマス

**○高橋國務大臣** 本問題ニ付テ自分ノ意見ヲ申述ブルト、大分長クナリマスカ、一體金本位ト云フモノハ、其國ノ通貨ガ紙幣デアレバ、其紙幣ヲ硬貨ニ換ヘテ、外ニ自由ニ持ッテ出ル働キガナケレバ、何本位ト云ツタ所デ、實際ハ紙幣國、今日デハ滿洲ハドウナツテ居ルカ能ク存ジマセヌガ、我國ハ本金位デモナケレバ、銀本位デモナイ、全ク紙幣國、而シテ其紙幣國タル我ガ圓ト、滿洲國ノ圓ト同ジニナツタラ、都合ガ好イデヤナイカト云フ御考ガ起ツタラウト思ヒマス、實際ハ近頃ドウデスカ知リマセヌガ、滿洲國ノ出來タ後ニ、意外ニモアノ混亂シテ居ツタ通貨ヲ統一シテ、スツカリ舊貨幣ト云フモノヲ引上ゲテ、新ニ滿洲國ノ國幣ヲ出シテ、而モソレガ若シ正貨ノ準備ガナケレバ、矢張全然各種ノ紙幣ト同ジコトデ、遂ニ紙屑同様ニナルト云フ疑念ヲ持ツテ居ルヤウデハ、アノ改革ハ出來ナカッタ、然ルニ存外今デハ發行額ノ半以上ノ金銀ノ準備ガアリハセヌカト思フ、ソレカラ何時迄モ滿洲國ハ、經濟的ニ唯日本ノ資本、日本ノ人バカリガ働イテ居ルト云フ時デハナカラウ、殊ニ諸外國ハ今日國際間ノ關係

ニ於テ、何ニ重キヲ置イテ居ルカト云ヘバ、利ニ重キヲ置イテ居ル、我國ノヤウニ仁ヲ本ニシテ交ルト云フノデハナイ、利ヲ本ニシテ交ハラウト云フノデカラ、彼等ハ其内ニハ、滿洲ノ土匪其他ノ治安維持ガ十分出來ルヤウニナツテ安心ガ出來レバ、必ズ資本ヲ持ッテ來マセウ、資本ヲ持ッテ來テ事業ヲ起シマセウ、商工業ハ利ヲ求ムルト云フノガ彼等ノ第一ノ目的デカラ、見遁シテ置カヌ、支那本土モ外國ト同ジデ、滿洲ガ好ケレバ、皆彼處ノ人達ハ滿洲ニ來テ商工業ヲ營ムヤウニナルカモ知レナイ、サウスレバ獨リ日本トノ關係デハナイ、臆テハ是ハ外國トノ直接關係ガ經濟的ニ起ルモノト見ナケレバナラヌ、又滿洲國ガ獨立國トナツテ今日存在シテ居ルノニ、獨リ日本トノミ經濟關係或ハ政治關係ガアツテ、他ノ國ニハ及バヌト云フノデハ、滿洲國ガ獨立國トシテ打建テラレタ目的ニ反スルモノデアラウト思フ、而シテサウ云フ利ガ本ニナツテ、追追ト滿洲國ヲ承認スル國モ外國ニ於テ段々出來ル傾向デハアルマイカト思フ、サウナツテ見マスト、我國ハ其時迄ニ本當ノ金本位ニナレバ宜イガ、私ノ見ル所デハ、マダ世界各國共ニ本當ノ金本位、金ノ出入ヲ自由ニシテ、金本位ヲ維持スルヤウニナルカドウカ

ト云フコトハ、遠イ先ノ話グラウト思ッテ居ル、然ラバ其國ノ紙幣ニ先ヅ信用ヲ置ク置カスト云フコトハ、本位ハ金本位ヲ離脱シテ居ルケレドモ、ドノ位一體其國ニ金ガ保有サレテ居ルカ、是ガ信用ヲ其國ノ紙幣ニ置ク一ツノ要素デアアル、ソレカラモウ一ツハ、最モ影響ヲ及ボスノハ、先達モ申ス通り、其國ト外國トノ貿易關係、貿易以外ノ關係ニ於テ收支ノ釣合ガドウナルト云フコトガ、爲替相場ニ關係シテ來ル、此爲替相場ノ影響ヲ、其國ノ通貨ノ信用ニ受ケルト云フコトハ當然ノコトデアアル、サウ云フ場合ニナツテ、滿洲國ノ紙幣ハ——是ハ先ニ外國トノ取引ガ自由ニ出來ルヤウニナツタ時ノコトヲ言フノデス、外國カラ見タ場合、アレハ正貨準備ト云フモノガ豐富デアルト云フノデ、ソコヘ先ヅ信用ヲ置ク、日本ハ正貨準備ガ微々タルモノデアアル、唯外國トノ貿易關係、其貿易以外ノ收支ノ關係ニ於テ、今日ノ位置ヲ維持シテ居ル、若シ外國ガ滿洲國ニ對スル爲替ハ、滿洲國ノ貨幣ニ信用ヲ置イテ價ヲ高クスル、日本ニ對シテハ低クスルト云フコトニナツテ、ドウシテモ日本ト滿洲國ノ間ニ、同ジ金本位ト名ハ言ウテモ、今日爲替相場ニ於テ隔テガナイヤウニナルカト云フコトハ、是ハ難カシイ事

デアアル、サウナツテ來レバ、却テ滿洲國ハ非常ニ立派ナ國ニナツテ、我國ハ及バヌコトニナル、サウナツテハナラヌケレドモ、サウ云フコトガアルト云フコトハ考ヘナケレバナラヌ、故ニ今カラ工作シテ、成ベク滿洲國ニ日本ノ圓ト同ジヤウナ値ノモノヲ使ハセラル、ト云フテモ是ハ實際カラ考ヘテ見ルト、サウ云フ希望通りニハ將來容易ニ行クマイト思フ、ソコラハ能ク考ヘテ行カナケレバナラヌ問題デアリマスルカラ、今日今カラ工作シテ、日本ノ通貨ト滿洲ノ通貨ト同ジモノニシタラ宜カラウト云フ工作ヲ執ルト云フコトハ、ドウ云フモノデスカ、チョット私ニハ御答方出來ナイヤウナ感ジガ致シマス

**○小笠原委員** 只今大藏大臣ノ御話ニ依リマス、少シク私ノ申上ゲルコト、違ッテ居ルノデハナイカト思ヒマスルガ、私ノ申上ゲマスル意味ハ、向フノ滿洲人ハ銀ヲ主トシテ使用スル、向フニ於テ經濟上ノ實際大キナ仕事ヲヤツテ居ル日本人ハ、主トシテ金本位ニ俟ツ、斯ウ云フ結果、日本人ノ經濟社會ト滿洲人ノ經濟社會トヲ作ッテ居ル結果トシテ、兩方ノ民族ノ融合ヲ破ル因ニナリハセヌカ、例ヘバ金ト銀ノ相場ハ、今ノヤウデアリマスレバ餘リ問題ガアリマ

セヌガ、是ハ私ガ高橋藏相ニ申上ゲル迄モナク、近頃ノ銀ノ値段ト云フモノハ、亞米利加ノ銀政策ノ結果デアリマスガ、亞米利加ノ銀政策モ、今十二三億「オンス」買フ餘地ハアリマセウガ、是ハ五年デ政府ハ買上ゲル餘地ガナクナツテシマヒマス、サウ云フ時ハ、今ノ銀ハ亞米利加デ準備ガ成ッテ通貨ノ作用ヲ致シマスカラ、銀ガ高イノデアリマスガ、四五年經テマスレバ、銀ハ矢張暴落スル時期ガ來ルノデハナイカト考ヘルノデアリマス、サウ云フヤウナコトデ、今陸軍大臣ニ御伺ヲ致シマスルト、マダ五年位ハ斯ウ云フ風ナ軍ノ關係ハ續クノダト云フ御話ガアリマシタガ、サウ云フ時分ニハ混亂ヲ起シテ來ハセヌカト思ハレル、其點カラ今ノ中ニ金本位ニ對スル——金本位ト申シマシテモ、日本ノ金本位デナイコトハ、御説ノ通りニ私モ了解致シテ居リマスガ、サウ云フ準備ヲシテ置カナイト、後日非常ナ困難ト後悔ヲスルノデハナイカ、斯ウ云フ點カラ申上ゲテ居ルノデアリマス、尙ホ私ハ陸軍大臣ガ、當面ノ向フノ御責任者デモアルヤウデアリマスノデ、成ベク陸軍大臣カラ、斯ウ思フガト云フコトニ付テ、率直ニ御答辯ヲ願フコトガ一番安心ダト思フノデアリマスガ、ドウモ高橋大藏大臣ノ説明ヲ

認メラレテ、高橋大藏大臣ノ説明通りダト云フコトヲ言ハレルガ、責任者トシテ直截簡明ニ御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

**○林國務大臣** 幣制云々問題ニ付テ、マダ確乎タル私ノ所信ヲ語ルニ至ッテ居リマセヌ、只今ノ所デハ大藏大臣ノ御説ヲ傾聽シテ居ル程度デアリマス

**○小笠原委員** 是ハ極メテ重大ナ問題デアリマス、速急ニ之ヲ御研究下サイマシテ、確乎タル御方針ヲ御答辯下サラントラ、特ニ申上ゲテ置キマス、次ニ私ガ御伺ヲ申上ゲタイノハ、日滿經濟會議ノ事柄デアリマス、此頃聞ク所ニ依リマスレバ、近ク日滿兩國ノ經濟提携ニ關スル重要事項ヲ審議スル經濟會議ガ開カレルト云フコトデアリマス、是ハ何時頃開カレマシテ、ドウ云フヤウナ委員ノ顔振レデ御開キニナルノカ、其點ヲ承リタイト思ヒマス

**○林國務大臣** 是ハ昨日モ何處カデ御答申上ゲマシタガ、マダ向フト交渉中デアリマシテ、其範圍ガキツパリ決マラヌ、ドウ云フ程度ニスベキカト云フコトニ付テ、今研究中デアリマス

**○小笠原委員** 其御方針ハドウ云フコトデアリマスルカ、例ヘバ陸軍大臣トシテハ、

大體下ウ云フヤウナ腹案ヲ御有チニナッテ居ルコトデアリマスルカ、其腹案ヲ承ルコトガ出來レバ結構ダト存ジマス

○林國務大臣 大體ノ考トシマシテハ、日滿兩國ノ共存共榮ノ關係ニ鑑ミマシテ、兩國經濟ノ合理的融和ヲ圖ル爲メ、兩國政府ノ間ニ隔意ナキ協議ヲ遂ゲル、サウシテ其有效ナル協力ヲ確保シヨウ、斯ウ云フ大體ノ方針ダケ決ッテ居リマスガ、ドウ云フヤウナ人々ヲ以テ其委員ニスルトカ云フコトニ付テハ、只今一寸申上ゲル程度ニナッテ居リマセヌ

○小笠原委員 只今御示シノ如クニ、重大問題ヲ協議スル委員會ト致シマスレバ、餘程人選ヲ慎重ニ考慮セラレンコトヲ、此機會ニ特ニ切望シテ置キマス、此頃新聞デ見マス、關東軍參謀長、大使館參事官、或ハ關東局ノ總長、或ハ對滿事務局カラ一名、都合四名位、又向フモ四名位出テ會議ヲスルト云フコトガ出テ居リマス、是ハ今御話ノ如キ重大ナル使命ヲ有ツモノデアリマスカラ、事實デハナカラウト考ヘルガ、若シ是ガ事實デアレバ、關東軍參謀長ヤ大使館參事官ト云フ、サウ云フ方面ニハエライ方デアリマセウケレドモ、兩國ノ經濟問題ヲ決メルノニ、斯ウ云フ人ガ入ッテ行クト

云フノハ、經濟問題ヲ何ト御考ニナッテ居ルカト云フコトヲ伺ヒタクナルノデアリマス、是等ノ方ハオ入りニナルノデアリマスカ、ナラヌノデアリマスカ、大體ノ御腹案ガアレバ承リタイ、實ハ經濟問題ヲ、軍人ノ方ニモ稀ニ見ル經濟ニ達セラレタ方ガアルトハ思ヒマスガ、今迄ノ經歷ニ鑑ミマシテ、關東軍參謀長、大使館參事官ト云フ人ガオヤリニナル、ソレデ果シテ日滿經濟關係ノ根幹ノコトヲ御決メニナッタ場合ニ過チナキヲ得ルカドウカ、甚ダ心配ニ堪ヘマセヌノデ、若シ御差支ナケレバ其點ヲ伺ッテ見タイト思ヒマス

○林國務大臣 只今モ申上ゲマシタ通りニ、其人員ノ内容ニ付テハ、マダ決ッテ居リマセヌ、是等ノ人々ガ入ルトスレバ、何カ其人々ヲ要スル理由ガアッテ入ルコト、考ヘマスカ、マダ其點ニ付テハ申上ゲル時機ニナッテ居リマセヌ

○小笠原委員 私ハ其會議ト云フモノガ、俗ニ言ヒマスル所ノ、關東軍特務部ノ延長ニナッテハナラヌト考ヘルノデアリマス、此會議ハ日滿兩國ノ經濟關係ヲ決定スル非常ニ重要ナ會議デアリマスカラ、各方面ノ權威者ヲ入レマシテモ、眞ニ兩國ノ爲ニ、此經濟關係ヲ圖ルダケノコトヲヤッテ行カネ

バナラヌト考ヘルノデアリマス、就キマシテ御伺致シマスガ、民間ノ經濟界ノ、サウ云フ練達堪能ナル士ヲオ入レニナル御考デアリマスカ、如何デアリマスカ

○林國務大臣 其民間ノ人ヲ入レルカドウカト云フコトモ、マダ明瞭ニハ決ッテ居リマセヌ

○小笠原委員 先般關東軍ノ司令官ガ御赴任ニナル時ニ、滿洲ハ今カラ經濟ノコトニ對シテ、非常ニ平和的ニ色々ノコトヲヤラナケレバナラヌト云フ御抱負ヲ述ベテ居ラレマシテ、之ヲ監督セラレル陸軍大臣ガ、マダ範圍ガ決ラヌト仰シヤルコトハ、私ニハ受取レヌノデアリマス、マダ此處デ申上ゲルコトガ困難ト云フ事情ナラ、已ムヲ得ヌコトデアリマスケレドモ、若シ又仰シヤル通りニ、マダ方針ガ立ッテ居ラヌト云フヤウナコトデアリマスカラ、一日モ早く御方針ヲ御立テニナッテ、滿洲ト云フ大キナ問題ニ對シテノ國策ノ御遂行ニ當ラナケレバナラヌト私ハ思ヒマス、ドウモドチラカト云フト、經濟問題ヲ輕ク御考ニナッテ、ソレ等ノ方面ニ何等ノ經驗ノナイ、地位ノ上ノ者ガ取決メルト云フコトハ、非常ニ大キナ過チヲ投ゲ掛ケルノデアリマス、此點ハ大藏大臣ガ能ク御承知カト思ヒマス、斯ウ

云フ重大ナル會議ニ於キマシテハ、最モ民間ノ有力ナル者ヲオ入レニナッテ、眞ニ經濟ノ意味デノ兩國ノ提携ヲ圖ラレルト云フコトニ努力シテ載キタイト考ヘルノデアリマス、又サウナケレバナラヌト私ハ考ヘルノデアリマス、次ニ尙ホ對滿事務局總裁タル陸軍大臣ニ御質問申上ゲマス、此頃滿洲國

デ非常ニヤカマシイ問題トナッテ居リマス滿洲國ノ官吏消費組合ト云フモノガアリマスカ、勿論ア、云ツタモノガ出來上ルト云フコトハ、自然ノ勢デアリマセウケレドモ、今日ノ滿洲ノ實情カラ見ルト、非常ニ困ツタ事柄デハナイカ、滿洲國官吏消費組合ガ、突如トシテ一月カラ出來ルト云フコトデ、アノ方面ニ行ッテ居ル日本ノ商業移民トデモ申シマスルカ、サウ云フ者ガ非常ニ恐慌ヲ來シテ、各所ニ於テ大會ヲ開イテ、各方面ニ陳情ヲシテ居ルト云フ事實ガアルノデアリマス、成程是ハ私共考ヘテ見マシテモ、無理カラヌコト、考ヘルノデアリマス、總テ經濟ノコトハ、實情ニ即シテヤラナケレバナラヌト云フコトハ申スマデモアリマセヌ、餘リニ早ク考ガ進ンデ居ルカラト云ッテ、其進ンダ考ヲ直チニ御實行ニナリマス、其與フル弊害ハ實ニ莫大ナモノガアリマス、何レ官吏消費組合等ガ出來



レバ、運賃ヲ下ゲヨウ、税金モドウシヨウ  
ト云フコトデ、多大ノ特典ヲ與ヘラレルコ  
トニナルノデアリマセウ、サウスルト日本  
が移民問題等デ相當苦心シテ、農業移民及  
多數ノ商業移民ヲ送ラナケレバナラヌ時  
ニ、非常ナ蹉跌ヲ來シハシナイカ、斯ウ云  
フ風ニモ考ヘマスガ、之ニ付テ若シ陸軍大  
臣ハ、サウ急速ニサウ云フモノヲヤルノハ  
面白クナイト云フヤウナ、私ノ意見ニ御同  
意下サルナラバ、適當ナ御處置ヲ御執リ下  
サルカドウカト云フコトヲ、御伺致シタイ  
ノデアリマス、

○林國務大臣 此問題ハ私ガ申上ゲルヨリ  
モ、政府委員カラ御答申上ゲタ方ガ宜イト  
思ヒマスガ、如何デスカ

○小笠原委員 宜シウゴザイマス

○川越政府委員 實ハマダ正式ノ報告ガア  
リマセヌノデ、ハッキリシタコトハ申上ゲラ  
レマセヌガ、滿洲ニ今御話ノヤウナ問題ノ  
起ッテ居ルコトハ承知シテ居リマス、併シ消  
費者側、即チ官吏側ノ方ト在留商人トノ間  
ニ、大體協定ガ付イタラシウゴザイマス、  
是ハハッキリシタコトハ分リマセヌガ、新京  
ダケニ限ルト云フヤウナコトデ、大體協定  
ガ付イタト云フコトヲ聞キ及ンデ居リマ  
ス、只今關東廳ノ方ニ電報デ報告ヲ求メテ

居リマスカラ、其報告ガ來レバ詳シイコト  
ハ分ルト思ヒマス

○小笠原委員 ソレデハ其問題ニ付キマシ  
テハ、能ク篤ト利害ヲ御考慮ニ相成リマシ  
テ、日本ノ商人ノ移民ノ阻止ト相成ラヌヤ  
ウニ御取計ニナルコトガ、最モ國策ニ適ス  
ルモノト考ヘマス、私ノ對滿事務局總裁林  
陸軍大臣ニ對スル質問ハ、之ヲ以テ終リト  
致シマシテ、次ニ私ハ臨時利得税ニ付テ、  
大藏大臣ニ御伺申上ゲタイト思フノデアリ  
マス、此臨時利得税ニ付キマシテハ、本會  
議ニ於テモ、亦一昨日、昨日ノ委員會等ニ  
於キマシテモ、大藏大臣カラ色々御説明ガ  
アリマシテ、大分分ッタ點モアルノデアリ  
マスガ、マダ隨分私共ノ了解ノ行カヌ點ガ  
アツテ——森田君デハナイガ、吾々ノ頭ガ惡  
イノデハナイカト云フ話ヲシテ居ル位デア  
リマスガ、左様ナ點カラ同ジヤウナ質問ヲ  
申上ゲテ、大藏大臣ニハ甚ダ御迷惑トハ思  
ヒマスガ、併シ最モ分ラナイ所ノ本案提出  
ノ理由其他ニ付キマシテ、先以テ大藏大臣  
ニ御質問ヲ申上ゲ、ソレカラ案ノ内容ニ付  
キマシテ、私共不備ト思ヒ、又不滿ト思フ  
點ニ付テ御質問申上ゲタイト思フノデアリ  
マス、大藏大臣ノ御話ヲ伺ヒマスルコトハ  
——一代ノ名醫ガ財界ヲ診斷シテ、其報告

ヲサレルト云フコトハ、洵ニ吾々ハ教訓ヲ  
受ケル點ガ多イノデアリマスガ、ドウカ少  
シ御迷惑デアリマセウガ、懇切ニ私共ノ納  
得ノ行クヤウニ御説明下サルナラバ、洵ニ  
仕合セト思ヒマス、此利得税案ガ提出セラ  
レマシタ理由ニ付キマシテ、昨年ノ十一月  
四日、此利得税ノ要項ト一緒ニ、其當時理  
由書ト云フモノガ公表サレテ居ルノデアリ  
マス、其理由書ニ依リマス、第一ガ、是  
ハ負擔ノ公正ヲ圖ルモノダ、第二ハ、赤字  
公債ヲ減額セシムル爲ノモノダ、第三ハ、  
災害對策ニ對スル經費支辨ヲ容易ナラシム  
ル爲ノモノダ、サウ云フタ事柄カラ、時局ノ  
影響ニ因ッテ利益ヲ得テ居ル者ニ課税ヲス  
ルノダ、斯ウ云フ風ニ書イテアルノデアリ  
マス、高橋藏相ハ此理由書ヲ其儘、御認め  
ニナルノデアリマセウカ、如何デアリマセ  
ウカ、或ハ其中デドレガ重ク、ドレガ比較  
的輕イ理由ト云フ風ニデモ御考ニナッテ居  
リマスレバ、其點モ承リタイト思ヒマス

○高橋國務大臣 是ハ昨日モ申シマシタ通  
リ、何處ニ一番重キヲ置イテ居ルカト云フ  
ヤウナコトハ、箇條々々ニ付テハ述べ難イ  
話ナノデアリマス、ソレ故ニ昨日來申述べ  
マシタ通り、此臨時利得税法ハ、第一ニ是  
ハ政治的ニ考ヘテ出シタモノデアルト、斯

ウ私ハ思フ、ソレデハ收入ヲ圖ラナカッタ  
ノカト云ヘバ、サウデハナイ、財政的ニ云  
ヘバ、是ハ新稅ヲ設ケテ稅ヲ取ル以上ハ、  
收入ヲ圖ッタニ違ヒナイ、サウ考ヘルヨリ  
仕方ガナカラウト思ヒマス、ドウモ此臨時  
ノ利得税ニ付テ、一般ノ稅制ニ關スル有ユ  
ル方面カラ之ヲ問質シタナラバ、是ハ双方  
色々ノ所ニ打突カッテ、眞面目ナ本當ノ答辯  
ハ出來ナクナルダラウ、私正直ニ申上ゲル  
ト、是ハ政治的ニ出來タモノデアアル、而シ  
テ財政的ニドウダト言ハレ、バ、是ハ矢張  
收入ヲ殖ス爲デアアル、其殖シタ收入ト云フ  
モノハ、有ユル方面ニ影響ヲ有ツコトハ當  
然ナ話デアアル、大抵其邊ノ所デ一ツ御了解  
ヲ願ッテ置キタイト思フノデアリマス

○小笠原委員 ドウモ折角ノ御話デゴザイ  
マスガ、モウ少シ伺ハシテ戴カヌト、了解  
ガ出來兼ネマスノデ、モウ少シ伺ハセテ戴  
キマス、第一ニ是ハ負擔ノ公正ヲ圖ッタモ  
ノデアルト云フコトガ理由書ニ擧ゲテアリ  
マスガ、是デ果シテ負擔ノ公正ヲ圖ラレテ  
居ルカドウカ、斯ウ云フ點ニ非帶ナ疑ヲ有  
ツ者デアリマス、若シ負擔ノ公正ヲ圖ルト  
云フコトナラバ、成程軍需品工業、輸出品  
工業ハ多大ノ利益ヲ得テ居ルデアリマセ  
ウガ、同時ニ其以外ニモ非常ナ利益ヲ得テ

居ル者ガアル、或ハ株式、公債ト云フモノ

ヲ所有シテ居テ、是ガ値上リシテ來タノ

デ、之ヲ處分シテ非常ナ利益ヲ得テ居ル人

ト、或ハ又サウ云フ會社ニ關係シテ居テ、

重役ノ賞與金トカ其他ノモノデ、多大ノ收

益ヲ得テ居ル者ガアルト云フコトハ、私ハ

是ハ見通スコトガ出來ヌト思フノデアリマ

ス、ソレカラ俗ノ言葉デスガ、所謂弗買持

チト云フヤウナコトデ、最早處分シテシマ

テ、大分多大ノ利益ヲ得テ居ル人ノアルコ

トハ、是ハ争ヒ難イ事實デアリマス、サウ致

シマス、ドウモ是ハ負擔ノ公正ヲ圖テ

居ルモノトハ言ヘナイ、ノミナラズ是ハ後

カラ細カク政府委員ノ方ニモ一ツ御尋申上

グタイ考デアリマスガ、是ノ基準ハ昭和五

六年トナツテ居リマス爲ニ、一方ニハ營業不

振ニ苦シク漸ク業績ガ好轉シタヤウナモノ

ハ、餘計ニ租稅ヲ取ラレルシ、他方其時分

ニ百分ノ七以上ノ利益ヲ得テ居ッ、斯ウ云

フヤウナ會社ハ、今後數箇年ニ互ッテ至大

ノ特典ヲ附與サレルヤウナ形ニナツテ、矛盾

ヲ含シテ居ルノデアリマス、ドウモ是ハ私

ハ負擔ノ公正ヲ得テ居ルモノトハ思ヘナイ

タイト思ヒマス

○石渡政府委員 私カラ……

○小笠原委員 是ハ大キイ問題デスカラ、

御迷惑デナケレバ大藏大臣ノ方カラ御願シ

タイト思ヒマス

○岡田委員長 大藏大臣御答ニナリマセヌ

カ

○高橋國務大臣 私カラ申上ゲマスレバ、

先刻申上ゲタ範圍ヲ出ナイカラ、政府委員

ニ答辯致サセマス

○石渡政府委員 本稅ガ負擔ノ公正ヲ得

ナイデハナイカト云フ點ニ付テノ御尋

ダト思フノデアリマスガ、是ハ兎ニ

角此時局ニ於キマシテ、一方デハ薩張

好クナラナイ人モアル、又更ニ困ッテ

居ル人モアルガ、一方ニハ儲ケノ非常ニ

多クナツテ居ル者モアル、隨テ斯ウ云フ跋

行ノ時代ニ於キマシテハ、一方儲ッテ居

ル者カラ幾分ノ負擔ヲシテ貰ヒマシテ、サ

ウシテ一方ノ經費ノ支辨ヲ幾分容易タラシ

メルト云フコトノ爲ニ、之ニ相當ノ賦課ヲ

致シマスルコトハ、負擔ノ公正ヲ得ル、斯

ウ云フ意味ニ於キマシテ、十一月四日ノ談

實テ儲ケタ者、又賞與ガ餘計アッタ者ハド

ウカト云フヤウナ御話モアルノデゴザイマ

スガ、是等ニ付キマシテハ、課稅ノ實際上、

又負擔ノ實際上如何カト思ハレル點ガアリ

マスノデ、一方ニ於キマシテ、此營業ノ部

門ト云フモノヲ抑ヘマスレバ、今日ニ於キ

マシテ、大體儲ケノ出テ來ル所ヲ抑ヘ得ル

ト考ヘマシタ次第デゴザイマス

○小笠原委員 ドウモ私ガ學ゲマシタヤウ

ナモノガ、公正ニ取扱ハレテ居ルト云フコ

トニ私ハ納得ハ出來マセヌ、又大體ニ於テ

斯ウダト云フ御話デ、政府委員ノ方モ、是

ハ公正ニ取扱ッテ居ルト云フコトハ、御認

メニナツテ居ラナイヤウデアリマス、ソレデ

ハ其次ニ伺ヒマスガ、是ガ今高橋大藏大臣

ノ御話ノ如クニ政治的デアリ、又一方デハ

財政的ノ收入増加ダ、斯ウ云フコトデアリ

マスガ、第二ノ點ノ、本稅ガ果シテ赤字公

債ヲ減額スルコトガ一ツノ目的デアッタカ

ドウカト云フコトニ付テバアリマス、是ハ

私ハドウモ恐ラク反對ノ結果ヲ生ジハシナ

イカト云フコトヲ心配スルノデアリマス、

勿論私共モ赤字公債ノ増發ハ、喜ブベカラ

ハアリマセヌ、無論誰デモ漸減ノ方針ヲ建

テルニ違ヒアリマセヌガ、併シサウ云フコ

トヲ一ツノ鐵則トシテ、稅收入ヲ増ス方針

ヲ建テルト致シマシテモ、是ハ能ク高橋大

藏大臣ガ申サレマス通りニ、財界ノ實勢ガ

或ル程度ニ至ッテ居ラナイナラバ、案ダケハ

通ッテモ、增收ノ目的ヲ達スルコトハ難シイ

ノデハナイカ、寧ロ能ク言ハレル言葉通り

ニ、反對ニ好景氣ノ芽ヲ摘ンデ、財界ヲ萎

縮セシメテ、一方ノ自然增收ノ途ヲ鎖スコ

トニナリハシナイカ、稅目ヤ稅率ハ殖エル、

併シ國庫ノ收入金ガ、ソレニ依ッテ増加シテ

來ナイ、斯ウ云ッ、ヤウナコトガアルノデハ

ナイカ、現ニ此案ガ發表サレタ當時ニ、株

式市場ヲ初メトシテ、非常ナ大キナ「シヨ

ク」ヲ各方面ニ與ヘマシテ、爾來ト云フモ

ノハ、高橋大藏大臣ガ御就任ニナリマシテ、

此大藏大臣ニ對スル國民的ノ要望カラ、餘

程財界ハ恢復シテ來マシタケレドモ、併シ

一言ニシテ申シマス、何トナク火ノ消エ

タヤウナ感ジガスルノデアリマス、斯ウ云

フヤウナ情勢デ、殆ド最近デハ事業ノ新規

計畫ナドハ起ッテ居リマセヌ、サウ云フヤウ

ナコトヲ私共考ヘテ見マス、本利得稅ト

云フモノハ、增收ニ依ッテ赤字公債ヲ減額ス

ルト云フ第二ノ目的ニ對シテ、果シテ適應

シテ居ルモノカドウカ、無論此税ハ取ルコトモ出來ル——又私共モ後カラ申シマスガ、此税ハモット餘計取ラレル、三千萬圓ト云ツタガ、恐ラク六千萬圓モ、一億圓近クモ取ラレルト云フコトニナルデアリマセウガ、他方デハ自然增收ノ方面ガ非常ニ減ッテ來ルコトニナリハシナイカ、斯ウ云フヤウニ考ヘルノデアリマスガ、之ニ對シテハ大藏大臣ハ、屢、財界ノ實勢ガ其處ニ至ラナケレバ、税ヲ殖シテモ駄目ダゾト云フコトヲ御示シニナッテ居リマスノデ、矢張其御考デ、此赤字公債漸減ノ爲ニオヤリニナツタコトハ、大藏大臣ノ御方針トハ少シ違フヤウニ考ヘラレルノデアリマスガ、如何デゴザイマスカ

○高橋國務大臣 政府ガ特別ノ斯ウ云フ税ヲ課ケマスレバ、其方ノ收益ガ——所得ガ減ルノデアリマス、一方ノ所得ノ税ノ方カラ云ヒマス、ソレダケ影響ヲ受ケテ減ルト云フコトハ、是ハ理ノ當然デアリマス、併シソレニモ代ヘラレヌ、國家ノ必要ガアルト云フコトカラ鑑ミテ見マスレバ、此臨時利得税ト云フモノヲ、唯税制ノ一方カラノミ、ドウ斯ウト檢討スル譯ニハ行カナイ、先刻申ス通り、矢張是ハ政治的ニ重キヲ置イタ、先ヅ私ナドハ一寸目先ヲ考ヘテ見マ

スレバ、一時ハ世間ニ増税論ガ盛ニナツタ時分ニハ、是ハ困ッタモノダト思ツタ、増税論バカリニ止マレバ宜イケレドモ、遂ニソレガ餘計ニ收入ヲ取ル者ヲ所謂羨ム、羨ムノガ今度ハ憎ム、此羨ミ憎ムト云フコトガ、今度變ッテ資本ヲ憎ム、恰モ共產主義ノ方ニ向ハントスルヤウナ形勢ガ見エタノデ、私ハ之ヲ酷ク心配シテ居ツタ、併シ實際一時ノ利得税、臨時利得税ト云フモノガ設ケラレテカラト云フモノハ、此増税ニ對シテ反對論ガ却テ起ッテ來テ、サウシテ今ノ私ガ思想ノ上ニ憂ヘテ居ツタ増税論、ソレカラ資本ヲ憎ムト云フ、此事ガ消エタヤウニ感ズルノデアアル、ソレ故ニ私ハ此税法ト云フモノハ、矢張政治的ニ重キヲ置イテ來タモノダト、斯ウ解釋ヲ致シテ居リマスカラ、ドウカ諸君モ其通り御解釋ヲ願ヒタイ

○小笠原委員 ドウモ高橋大藏大臣ノヤウニ仰セラレルト、私はレ以上其事ニ付テノ質問ヲ申上ゲル勇氣ヲ失フノデアリマスガ、或ハ此理由ニ付キマシテハ、藤井大藏大臣デモ九泉ノ下ヨリ起シテ來テ説明ヲサセルノデナケレバ、満足ナ答辯ハ得ラレヌノデハナイカト私ハ考ヘルノデアリマシテ、此理由ニ對スル説明ハ暫ク求メナイコトニ致シマス、ソコ次ニ私ガ御何致シタ

イノハ、丁度御提出ニナツタ時機ニ付テノ問題デアリマスガ、是ハ能ク私共ハ高橋大藏大臣カラ御話ヲ伺ッテ居リ、常ニ其通りデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、是ハドウシテモ此増税ニ對スル實勢ハ、財界ノ實勢ガ整フコト、ソレカラ又軍縮問題ノ見透シガ付イテ、陸海軍等ノ所要ノ國防豫算ノ見定メガ付イテ、國ノ財政計畫ガ樹ツ、斯ウ云フ時デナケレバナラナイ、斯ウ云フ風ニ絶エズ御示シノ時代ガアツタ、洵ニ其通りデアルト考ヘルノデアリマスガ、ドウモ過日來何處デ伺ッテ見テ居ッテモ、比財政計畫ノ前途ニ對スル見透シナルモノガ付イテ居ラヌ、ソレデ其際ニ又財界ノ實勢ハドウカト云フト、實勢モソコ迄行ッテ居ラヌ、斯ウ云フ時ニ此税ヲ設ケラレルト云フコトハ、ドウモ私其時機デナイノデハナイカ、成程部分的ノ増税デアリマシテ、能ク總理大臣ガ説明サレルヤウナ工合ニ、是ハ一般の増税デハナイ、部分的増税ダカラト申サレマスガ、部分的デアラウト何デアラウト、増税ハ矢張國民ノ負擔ノ増加デアリマシテ、特ニ本税ノ如クニ、第一ニ公正ノ點ガ甚ダ不備デアリ、不滿デアリマス、一層サウ云フ感じヲ私共有タナケレバナラヌノデアリマス、私共思ヒマスルノニ、ドウモ此租税

ト云フモノハ、困難ナコトハ申スマデモナイコトデアリマスガ、刑罰デモナイシ、又寄附金ヲスルト云フコトデモナイノデアリマス、オ前ハ儲ケテ居ルカラ、一ツオ前ダケ課税サセルゾト、斯ウ云ツタコトハ穩當デハナイノデアリマス、寧ろ斯ウ云フ風ナ財政計畫ノ下ニ、斯ウ云フ風ニ課税ヲスルノダト言ッテ、何人ニモ公平ニ行クト云フコトガ一番宜イノデハナイカ、斯様ニ思フノデアリマス、ソレデ今假ニ此税ヲサウ云フ風ニ課税セラル、トスルナラバ——サウ云フ風ニ政治的ニ是ハ出シタモノダト云フヤウナ、政治的ト云フ言葉ニ無限ノ意味ヲ籠メテ仰セラレルト、ソレ以上御尋スル勇氣ガアリマセヌガ、ソレナラバ矢張此金ノ方モ政治的ニ御使ヒニナリマシテ、農漁山村ト云フ方面ノ困窮ヲ救フ、サウ云ツタ施設、或ハ社會施設、サウ云ツタ方面ニ向ケラレルト云フコトハ、私共ハ其政治的ノ議論カラ見ルト、當然デハナイカト云フ感じガスルノデアリマス、之ニ對シテ總理大臣ハ、屢、——金ノ事ダカラ、入ッテ來ル金ニハ、何處ヘドウト云フ印ガアル譯デハナイト云ツタヤウナ、意味合ノ御話ガアリマスルケレドモ、ソレデハドウモ此税ヲ御作りニナツタ目的カラ見テモ、私共ハ納得ガ出來兼ネルノデアリマ

ス、高橋大藏大臣ハ、此金ハ政治的ニ、斯ウ云ツタ意味合テ取ルノデアルカラ、之ヲ農漁山村、其他ノ方面ニ振向ケルノデアルト云フヤウナ御考ヲ下サイマセヌデセウカ、如何デアリマセウカ、此點ヲ御伺申上ゲマス

○高橋國務大臣 農村、山村、漁村、此問題ニ付テハ、臨時利得稅ヲ設ケタ其モノヲ、其方ニ振向ケルヤウナコトデハ逆モ收ラヌ、私ハサウ云フ考ヲ起サナイ、是ハマダ將來ノ事デ分リマセヌケレドモ、今日ノ我國ノ状態ヲ、又世界ノ形勢ニ併セ考ヘテ見マス

ト云フト、是ハ經濟上ノ事ハ一大革新ヲ起ス時勢ガ來テ居ルノダト思フ、ソレ故ニ時々總理大臣モ述ベラレル通りニ、審議會ト云フモノヲ設ケテ、サウシテ此處デ國策ヲ十分ニ研究シ、サウシテ之ヲ實行シテ行カウト云フ考デ、ドウ云フコトガ出來上ルカ分ラヌケレドモ、私ハ至極其考案ハ宜イト思フ、但シ其仕組ト組織、ドウ云フ風ナ人ガ之ニ與ルカ、國民全般ノ——先ヅ多數ノ人ノ考ガ、成程ト合點ノ行クヤウナ人達ヲ以テ之ニ當リ、其方法モ成程ト思ハレルヤウナ方法デ、眞ニ國策ノ根本ヲ調べ、サウシテ其國策ノ遂行ヲ始終監督ラシテ行キ、又始終其指導ノ任ニモ當ル、サウ云フ

ヤウナ職責ヲ持ツタモノデ、此時勢ニ必要ナ——舊來ノ經濟機構其他ノモノヲ革新シナケレバナラヌ時勢ニナツタノダカラ、其時勢ニ應ズルヤウナ仕事ヲサセル機關デアラナラバ、私ハ至極宜イト思フ、斯ウ云フコトヲ自分ノ考ニ持ツテ居リ、又其國策審議會ノ相談ガアツタ時ニモ、私ハサウ云フコトヲ述ベテ置イタ、ドウシテモ應急ノ事ハ、サウ云フコトヲ俟タズニシテ行カナケレバナリマセヌ、唯全部應急ト云フコトデ行ツテハ、皆サンノ御承知ノ通り、是ハ濟ム譯ノモノデヤナイ、ドウシテモ根本的ニ之ヲドウスルト云フ建直シラシナケレバナラヌ、各國共ニ其點ニ付テハ皆苦心ヲシテ、又努メテ金モ使ヒ、努力モ惜シマズヤツテ居ル、殊ニ今日著シク目立ツテ居ルノガ亞米利加デア

ル、此頃ハ又スツカリ經濟政策ガ變ツタヤウデア、是迄ハ一時我國デモ國民ハ、吾々ハ皆生存權ヲ有ツテ居ル、生存權ヲ有ツテ居ルノデアルカラ、國ガ養ハナケレバナラヌト云フヤウナ事ガ流行ツタ、是ハ矢張外國カラ流行ツテ來テ、我國ニ移ツテ來タ思想デア、今度亞米利加邊リガ變ツタノハ、人間ノ生存權ト云フコトヲ言ハナクナツタ、働ク權利、働ク權利ヲ有ツテ生レテ居ルノニ、仕事ヲ與ヘヌノハ國ガ惡イデヤナイカ、斯ウ云フ

フヤウニ變ツテ來テ居ル、サウ云フヤウニ段段變ツテ來ルノデスカラシテ、今ノヤウナ國策審議會デ、眞ニ效果ノアラシムルヤウナ組織及組合セテ拵ヘテ、實行シテ行カナケレバナラヌ時勢ガモウ來タ、其時ニ來テ居ル、サウ云フコトニ私ハ重キヲ置イテ居ルモノデアリマスルカラシテ、今政治的ニ出來上ツタ此一時期ノ、臨時ノ——恆久ノ稅制デヤナイ、臨時ノ稅法ニ付テ、私ハ之ヲ取ツタ以上ハ、困ツテ居ル所ニ移シタラ宜カラウト云フ考ハ、理窟ハサウカモ知レヌケレドモ、私ハサウ云フ考ハ浮バナイ

○小笠原委員 ソレデハ其問題ハ此程度ニ致シマシテ、今丁度臨時ノモノデアツテ、恆久ノモノデナイト云フ御話ガアリマシタカラ、其點ヲ一ツ伺ヒタイノデアリマス、是ハ臨時利得稅トアリマシテ、正シク恆久ノモノデハナイト思ヒマスガ、之ヲ讀ンデ行クト、初年度ハ三千萬圓、平年度ハ四千萬圓、平年度ト云フ言葉ヲ使ツテアツテ、何ダカ餘程先キ／＼マデ取ラレルト云フ感ジラ

國民ニ強ク與ヘルノデアリマス、只今仰セノ如クニ、臨時ノモノデアルト云フ意味ヲ強メル爲ニ、私ハ此期限ヲ置イテ、實施年限ハ何箇年ト云フコトヲ、ハッキリシテ戴クコトガ極ク、必要デアルト考ヘマス、一方ニ於キマシテ、サウ云フ實施年限ヲ置キマズレバ——私共此不公正ノ案ハ、此儘デハ逆モイカヌト思ヒマスガ、假ニ此案ガ通りマシタ場合ニ於キマシテモ、稅制ノ根本的整理ヲ其間ニ早クヤラナケレバナラヌト云フ、稅制整理促進ノ爲ニモナリマスノデ、斯ウ云フ意味合カラ以テマシテモ、私ハ年限ヲ茲ニ御定メニナルト云フコトガ、極ク必要デハナイカ、唯臨時デアルトカ、當分デアルト云フ、當分ト云フノハ當分デアルト云フ御話ガアリマシテ、當分ハ當分デアリマセウガ、二年デアルトカ、三年デアルトカ、條文ニ施行年限ヲキチツト決メルト云フコトデナケレバナラヌ、茲ニ大藏大臣ニ於カセラレテ、此當分ハ二年間ノ意味デア、三年間ノ意味デアルト云フコトヲ、ハッキリ仰シヤツテ戴キマス、私共本案審議ノ上ニ大變便宜デアリマスガ、如何デアリマスカ

○高橋國務大臣 此法案ニ年限ヲ定メルト云フコトモ、確ニ一ツノ考トシテ受取レマスガ、今私ガ此處一人デ年限ヲ二年トカ三年ニ決メルト云フコトハ、御答ガ出來ナイ、是ハ矢張閣議デ決ムベキ問題デアツテ、大藏大臣一人デ考ヘテ居ルコトガ、直グニ決マル譯デハナイノデスカラ、サウ云フ風

ニ於キマシテ、サウ云フ實施年限ヲ置キマズレバ——私共此不公正ノ案ハ、此儘デハ逆モイカヌト思ヒマスガ、假ニ此案ガ通りマシタ場合ニ於キマシテモ、稅制ノ根本的整理ヲ其間ニ早クヤラナケレバナラヌト云フ、稅制整理促進ノ爲ニモナリマスノデ、斯ウ云フ意味合カラ以テマシテモ、私ハ年限ヲ茲ニ御定メニナルト云フコトガ、極ク必要デハナイカ、唯臨時デアルトカ、當分デアルト云フ、當分ト云フノハ當分デアルト云フ御話ガアリマシテ、當分ハ當分デアリマセウガ、二年デアルトカ、三年デアルトカ、條文ニ施行年限ヲキチツト決メルト云フコトデナケレバナラヌ、茲ニ大藏大臣ニ於カセラレテ、此當分ハ二年間ノ意味デア、三年間ノ意味デアルト云フコトヲ、ハッキリ仰シヤツテ戴キマス、私共本案審議ノ上ニ大變便宜デアリマスガ、如何デアリマスカ

ニ御承知ヲ願ヒマス

○小笠原委員 其次ニ私ハ御伺致シタイノハ、此課税ノ標準、基準ガ、昭和五六年ニナツテ居リマス關係上、俗ニ言ヒマス所謂金解禁恐慌時代ガ、丁度標準ニナツテ居リマスノデ、最モ悪イ時節デアリマスカラ、其標準ニ基イテ御取りニナルト、實際森田君ガ昨日モ言ハレマシタガ、私共ノ計算デモ六千萬圓以上、一億ニ達スルデアラウト私ハ見テ居ルノデアリマス、ドウモ此税ヲ御取りニナル時分ニハ、——歴代税ヲ御取りニナル方ハ、何時モサウデアリマスガ、何ダカ自然増收デモアルト、自分ノ功ノ如ク考ヘテ、成ベク税ヲ低ク見積ツテ置ク、税收入ヲ少ク見積ツテアルト云フ弊ガアルノデアリマス、此問題ニ付テモ、昨日戴イタ表ニ依リマス、例ヘバ昭和八年度ノ法人ノ利益ト云フモノガ、十億七千七百萬圓、約十億八千萬圓、今度昭和十年度分ニ、税ヲ取ル基準デ御出シニナツタノハ、十億三千三百萬圓トナツテ、昭和八年度カラ比ベテ、尙ホ四千四百萬圓モ減ツテ居ル、私共常識カラ考ヘテ見テ、ドウシテモ十二三億ハ、少クトモナケレバナラスト私ハ思フノデアリマス、必ズ十二三億ハアルノデアリマス、ソレヲ税ヲ取ル時分

ニハ、斯ウ云フ風ニ低ク、シテ置イテ、今度ハ税ヲ取ラズニ、關係ノナイヤウナ表ヲ拵ヘル時ニハ、斯ウ云フヤウナ表ヲ御出シニナル、是ハドウシテモ、當局者トシテ少シ駈引ガアルノデハナイカ、サウシテ自然増收ト云ッタヤウナコトデ、國民ノ上ニ重イ負擔ヲ投ゲ掛ケラレルト云フヤウナコトニナルノデハナイカ、私ハ此點ガ國民ガ今日ノ税ノ中デ一番恐レテ居ル所デアラウト思フノデアリマス、能ク聞イテ極樂見テ地獄ナド、云フガ、本案ナドハ恐ラク實際ニヤラレテ見タナラバ、實際地獄ニナルノデハナカラウカト思フノデアリマス、少クトモソレデナイマデモ、看板ニ偽リガアルト云フコトハ、私ハ間違ガナイト思ヒマス、初年度ニハ三千萬圓取ル、平年度ニハ四千萬圓ダト言ハレテ居ルガ、若シサウ云フコトデアレバ、今後三千万圓以上取ッたら本年度ハ還ス、四千萬圓以上取ッたら還スト云フ御約束ヲ下サツテ、税法中ニサウ云フ御規定ヲ御設ケ下サルナラバ洵ニ結構デアリマスガ、恐ラクサウ云フ規定ヲ御出シニナル御考ハアリマスमित思ヒマス、サウスルト何時モ稅務當局者ノヤリ方ハ、ドウモ課税スル元ノ基礎數字ハ少クシテ居ル、斯ウ云フコトガ窺ハレルノデアリマス

ガ、此點ニ付キマシテハ高橋大藏大臣ハ、恐ラク昭和八年ヨリ昭和十年ノ法人所得ガ減ツテ居ルトハ御考ニナルमित思ヒマスガ、如何デゴザイマスカ、昭和八年度ヨリ四千四百萬圓モ減シテ税ノ基礎ニシテ居ルト云フコトハ、私ハ懸當デナイト考ヘルノデアリマス、少クトモ私ハ法人ノ利益ハドウシテモ是ハ十二三億デ、昭和八年度ヨリモ二三億殖エテ居ルト云フコトハ間違ナイト考ヘルノデアリマスガ此點ニ付キマシテ、高橋大藏大臣ノ財界ヲ遠觀セラレテノ御見込ハ如何デアリマセウカ、御伺致シタイト思ヒマス

○高橋國務大臣 是ハヤハリ政府委員カラ御答シタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○石渡政府委員 只今ノ御尋ノ十億七千七百萬圓ト云フ數字ト、ソレカラ昭和十年度ノ第一種所得見込金額ノ十億三千三百萬圓ト云フ數字ハ、昨日モ森田サンカラ御尋ガゴザイマシテ、斯ウ云フ紛ハシキ數字ヲ御説明シナイデ差出シマシタコトハ、甚ダ恐縮デゴザイマスガ、昨日モ申上ゲマシタ通り、此法人數、拂込資本金額、積立金額及利益金額調ト申シマスル表ハ、其年ノ一月一日カラ十二月三十一日迄ニ終リマシタ、其會社ノ總テノ拂込資本金額、積立金額及利

益金額ノ總體ヲ合計致シマシタ表デアリマシテ、隨ヒマシテ稅務署デ課税ヲ致シテ居ル所得ニ限ツテ居ナイノデアリマス、隨ヒマシテ之ニハ製鐵業ノ所得デアルトカ、國債ノ利子デアルトカ、サウ云フヤウナ課税ヲシナイ所ノ所得一切ヲ引括メマシタ額デゴザイマス、ソレカラ一方ノ第一種所得見込金額ト申シマスル方ハ、是ハ課税ヲ致シマスル所得ノ實體デゴザイマス、隨ヒマシテ此方ガ減ッテ來ルト云フコトハ、是ハ當然デハナカラウカト存ジテ居リマス、然ラバ昭和八年度ニ課税致シマシタ、第一種ノ所得決定ノアリマシタ其法人ノ所得ハ幾ラアルカト、斯ウ云フコトハ、モウ一表出テ居リマシテ、ソレハ昭和八年度ハ七億八千八百萬圓、斯ウ云フ數字ガ出テ居リマス、本年ノ第一種所得見込ハ、昭和八年度ニ對シマシテ三割増ヲ見込ミマシテ、サウシテ十億三千三百萬圓ト、斯ウ云フ數字ガ出テ居リマスノデ、此十億三千三百萬圓ニ付キマシテハ、只今モ豫算分科會ニ於キマシテ見積ガ多過ギヤシナイカト、斯ウ云フ御尋ノアリマシタ數字デアリマスノデ、隨ヒマシテ此十億七千七百萬圓ト十億三千三百萬圓トハ、數字ノ根據ガ違ッテ居リマスノデ、其點ハ一ツ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○小笠原委員 一應其説明デ分リマシタ

ガ、併シ尙ホ私共ハ、此基礎數字ハサウ云フ反對ノ意見ガアツタカモ知レマセヌガ、事實ニ於キマシテハ全ク少ナ過ギル、税金ハ今ノ初年度三千萬圓、平年度ハ四千萬圓デナクシテ、恐ラク六千萬圓乃至一億ニ達スルデアラウ、サウ云フコトヲ、私共ハ色々ノ數字ニ基イテ、是ハ信用シテ疑ハナイ者デアリマス、サウ云フ風ニ今後若シ餘計御取りニナツタラ、是ハ稅ガ苛斂誅求ト云フ譯ニナルノデゴザイマスカラ、政府ノ方デ自然增收ト云テ御喜ビニナルト、大變違フト思ヒマスノデ、私一寸此點ヲ申上ゲテ置キマス、其次ニ御同致シタイノハ、昨日本委員會ニ於キマス大藏大臣ノ御答辯ノ中デゴザイマシタカ、本稅ト云フモノハ富メル者カラ、儲ケテ居ル者カラ取ルノデアルカラ、是デ幾ラカ貧富ノ感情ヲ和ゲルト云フ、斯ウ云フ御話デゴザイマシテ、私共モ御尤ト存ジマス、併ナガラサウ云フ貧富ノ感情ヲ和ゲルト云フナラバ、サウ云フ富メル者カラ取ツタモノハ、寧ロ是ハ社會政策的施設ノ方面ニ向ケルトカ、或ハ時局匡救ノ爲ニ必要ナル方面ニ向ケルトカ、直接サウ云ツタ方面ニ此金額ヲ振向ケルト云フコトガ、理窟カラ云ツテ當然ノコトデナケ

レバナラヌト考ヘルノデアリマスガ、豫算

ノ何處ヲ見マシテモ、社會政策ノ費用ガ殖エタト云フ所ハゴザイマセヌ、サウシテ時局匡救費ト云フモノガ、非常ナ削減ヲ受ケテ居ルコトハ各所デ言ハレテ居ル通りデアリマス、私ハサウ云フ貧富ノ感情ヲ和ゲル一種ノ社會政策的意味モ籠ツテ居ルノデアルト云フコトデアリマスナラバ、此金モサウ云フ方面ニ御使ヒ下サイマシテ——特ニ此金ト云フモノハ臨時デアル、臨時ノ金デアリマスカラ、臨時ノ金ヲサウ云フ方面ニ御使ヒニナツテ、貧富ノ感情ヲ緩和願フト云フコトガ、一番宜シイト思フノデアリマシタガ、之ニ對スル大藏大臣ノ御考ハ如何デゴザイマスカ

○高橋國務大臣 是ハ先般來一二回サウ云

フ御質問ガアツテ、御答ヲシテアル筈デアリマスケレドモ、國庫ニ收入シタモノハ、矢張是ガ農村其他地方救濟事業ニ入ッテ居ラヌカト云フト、居ルトモ言ヘルシ、居ラヌトモ言ヘル、明ニハ言ヘナイ、一ツノ金ニナツテ居ル、ソレナラバ結局何處ニ影響シテ居ルカ、若シ此金ガ是ダケナケレバ、是ダケ矢張公債ノ發行ガ殖エルトニナル、公債ノ方ニ響イテ居ルトハ確ニ言ヘマスガ、此金ガ農村ノ方面ニ行ッテ居ラヌト云

フ風ニハ、ドウモ言ヘナイ

○小笠原委員 モウ一ツ質問シテ午前中ノ

質問ヲ終リタイト思ヒマス、大藏大臣ニ對スル質問ヲモウ一ツダケ致シテ、午後ハ政府委員ニ對スル質問ヲ私ハ致シタイト思ヒマスガ、此法案ニ依リマス、時局ノ好影響ニ因リ儲ケタ者云々ト云フコトニナツテ居リマス、此時局ノ影響ト云フ言葉ガ私共分リ兼ネルノデ、分ツヤウデ分ラヌ、是コソ大藏大臣ノ言ハレル政治的ニ解釋シナケレバナラヌカト思ヒマスガ、併シ誰シモ軍需工業ト云ツタヤウナ事柄ハ、是ハ軍事費ノ龐大シテ居ル所カラ、時局ノ影響ヲ受ケルト云フコトハ分ルノデアリマス、又爲替安ニ依ッテ輸出工業ト云フモノガ影響ヲ受ケテ居ル、是ハ爲替安ニ依ッテ能ク言ハレテ居リマスカラ分ルノデアリマスガ、併シ其他ノモノモ入ッテ居リマスノデ、此點ハ後デ政府委員ニ御質問申上ゲマスケレドモ、此處デ私ノ御同致シタイノハ、此軍需工業ノ點ハ姑ク措キマシテ、爲替安ニ因ル時局ノ好影響ト云フモノハ、何時頃マデ續クモノデアラウカト云フコトデアリマス、勿論此爲替安ガ、一方デ日本ノヤウナ國柄ハ、輸入原料ガ高クナリマスシ、漸次國內ノ物價モ高クナツテ參リマセウカラ、サウ長

ク續クモノデハナカラウト考ヘルノデアリ

マスガ、高橋大藏大臣ハ、國際經濟ニ對スル非常ナ見透シヲ御持チニナツテ居リマスカラ、此機會ニ日本ノ斯ウ云フ時局ニ因ル好景氣ト云フモノガ、何時頃マデ續クカト云フ御見込ヲ承リマシテ、私ハ大藏大臣ニ對スルダケノ質問ヲ終リタイト存ジマス

○高橋國務大臣 外國ニ對スル貿易上ノ見

透シト云フモノハ、附ケタイト思フケレドモ中々附カナイ、ト云フノハ、此節デモ御承知ノ通り、矢張亞米利加ナドハ、輸出先トシテハ我國ノ好得意デアル、ケレドモ是ハ始終政策ガ變ツテ、矢張或ハ「コータ」システム」デモ、割當制度デモ、アレニ近い制度ヲ行ハナケレバナラヌ、又困ルコトニハ亞米利加合衆國ナラ合衆國ダケヲ見テ、合衆國ノ貿易ノコトヲ考ヘテ宜イカト云フト、サウモ行カヌ、ソレハ中央亞米利加、南米、是等ニ對シテ日本ノ品物ヲ買ハズニ、俺ノ品物ヲ買ヘヨ、其代リ一方ニ於テハ斯ウ云フ便利ヲ與ヘテヤル、斯ウ云フ蔭ニ於テノ働キガ始終アル、是等ガ成功スルト、折角我國ガ南米ヤ何カニ安イ物ヲ持ッテ行ッテモ、向フハ品物ヲ國交ノ關係上買ッテ呉レナイ、自分ノ國トノ經濟關係、サウ云フ點ニ於テ自國ノ消費者ニ取ツテハ不利ダケレド

モ、國全體ニ取テハ消費者ノ利益ヲ見テ居ル譯ニハ行カヌト云フコトデアルガ、併シ

ナクナッテ來タ、ソレダケ申上ゲテ置キマ

ス

キマス——小笠原君

國交ノ親善ヲ圖ル爲ニ、却テ一般國民ノ利益ヲ犧牲ニスルコトハ出來ナイと思フ、サウ云フ譯デアリマスカラ、私ハ初メカラ外國貿易ハ實ニ大切ナモノデアルケレドモ、

○中村委員 材料ノ點デ一寸御願致シマス、委員長ヲ通ジテ斯ウ云フモノヲ出シテ戴キタイト思フ、昭和九年一月カラ十二月迄ニ決定シタル法人ニ付テ、臨時利得税ノ見積ガドウナルカ、是ハ昨日デシタカ、當局ノ御説明ニ依リマス、今ノ三千萬圓、四千萬圓ト云フモノハ、昭和八年ノ下カラ九年ノ上ニ決定シタモノヲ、大體標準ニシテ居ラレヤウデアリマス、九年一月カラ十二月ト云フモノデ見レバ、大分正確ナモノ

○岡田委員長 政府ニ御願致シマス

○小笠原委員 大藏大臣ノ御都合モアラセラレサウデゴザイマスカラ、私ノ質問ハ少シク留保致シマシテ、大藏大臣ニ對スル質問ヲ同僚ノ大山君ニ御願致シテ、其大山君ノ大藏大臣ニ對スル質疑ヲ終了次第、私ガ政府ニ質疑ヲスルコトノ御許シヲ願ヒタイト思ヒマス

ヲ十分ニ信賴スルコトハ出來ナイ、故ニ我國トシテハヤハリ自給自足ト云フコトニ心掛ケテ、外國貿易ノコトハ第二次ニ置イテ考ヘナケレバナラヌト云フ居ルノデアリマス、將來爲替ダケ安イカラト云ッテ安心シテ居ル譯ニ行カヌ、今能ク雜貨ガ出ルト云ッテ、是モ安心シテ居ル譯ニ行カナイ、

テノ臨時利得税、個人ハ九年分デ宜シイ、之ヲ御願スル、モウ一ツ第二ノ問題トシテ税率ヲ平均一割トシテ、税金ヲ御出シニナッテ居ルノデアリマスガ、其税率ハ七分ヲ適用スルモノ、七分未滿ノモノハ七分ヲ適用スルト云フコトニナッテ居リマスカラ、七分未滿ノモノニ付テハ七分ヲ適用シ、七分以上一割マデノモノニ付テハ一割ヲ適用シ、一割ヲ超過スルモノニ付テハ一割五分ノ税金ヲ取ル、斯ウ云フコトニシテ、税金ヲ計算致シマシタナラバ、ドウ云フ金額ニナルカ、是ダケ委員長カラ政府ノ方ニ御要求願ヒマ

○石渡政府委員 只今御要求ニナッタ表ハ、短時日ノ間ニハ調製ガ難カシイノデハナカラウカト考ヘテ居リマス、出來ルダケヤルコトニハ致シマスガ、何ニ致セ此昭和八年八月ヨリ昭和九年七月迄ニ決定致シマシタ其實績ニ於キマシテ、幾ラ税金ガ此税法デ取レルカト云フコトヲ算出致シマシタノニ、實ハ一二月ヲ要シタヤウナ次第デアリマスノデ、法人ニ付テ一々當ッテ行カナケレバイケマセヌカラ、是ハ只今御要求ノ表ハ、容易ニ出來難イノデハナカラウカト思ヒマスガ、出來得ル限り一ツ、或ハ達觀ヲ以テヤッテ見ルカモ知レマセヌガ、其點ハ御諒承願ヒマス、第二ノモノモ極メテ難カシイ表デアリマス、或ハサウ云フ部分ヲ取テナイカト思ヒマスガ、是モ或ハ達觀ヲ以テヤル問題カモ知レマセヌ、一應暫ク御待チヲ願ヒタイト思ヒマス

○松村委員長代理 承知シマシタ

ナカラウト思フ、サウ云フコトヲヤッテ居ル國ハ、皆双方共不自由ヲシ、双方共ニ結局損ニナルカラ、長ク續ク譯ノモノデハナカラウト思フ、併シ一時目前ノ急ニ迫ッテ、ドウモ已ムヲ得ヌカラ、自分ノ方ノ國ノ斯ウ云フモノヲ犧牲ニシテ、斯ウ云フ方デ利ヲ得ヨウ、詰リ利ノ争デアルカラ、中々見透シガ付キマセヌ、デスカラ當業者ガ自ラ始終用心スルト云フコトガ一番大切ニナッテ來タ、資本家モ、工業者モ、商賣人モ、始終用心ヲ自分デセネバナラス、人頼ミハ出來

○岡田委員長 ソレデハ是デ休憩致シマシテ、一時半カラ再開致シマス

○松村委員長代理 是ヨリ引續キ會議ヲ開

○大山委員 私ハ大藏大臣ニ對シマシテ一言御尋申上ゲタイ、高橋大藏大臣ハ前カラ、昭和七年ノ時カラ減債基金ノ繰入ヲ停止ニナッテ、爾來其方針デ見エテ居ル、是ハ當分矢張減債基金繰入ノ停止ハ、續ケテオヤリニナル御積リデアリマセウカ、詰リ廢止ノ状態ニ置カレル譯、ソレカラ今一ツハ、本年度ノ豫算ニ於キマシテモ、特別會計ノ減債基金マデモ繰入ニナッテ居ルヤウニ吾々ハ拜聽致シテ居リマス、是等ニ對スル高橋大藏大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

來タ、資本家モ、工業者モ、商賣人モ、始終用心ヲ自分デセネバナラス、人頼ミハ出來

○高橋國務大臣 減債基金ハ、歳出ガ多クテ公債ヲ募集セネバナラヌト云フ時ニ當ッテ、一方デ公債ヲ起シ、又減債基金ニ繰入レル金マデモ公債ヲ起スト云フコトニナリマスルカラ、當分減債基金ト云フモノハ、已ムヲ得ヌ外國ニ對スル義務ヲ果ス爲ニ止

午後一時五十九分開議

○松村委員長代理 是ヨリ引續キ會議ヲ開

來タ、資本家モ、工業者モ、商賣人モ、始終用心ヲ自分デセネバナラス、人頼ミハ出來

○松村委員長代理 是ヨリ引續キ會議ヲ開

午後一時五十九分開議

○松村委員長代理 是ヨリ引續キ會議ヲ開

メテ、内地ノ公債ハ當分見合ハセルト云フコトデ、アレハ止メタノデス、故ニ總テノ狀況ガ恢復シ、好クナッテ來レバ、減債基金ト云フモノハ、ドウシテモ元ニ復シテ、段ト國債ヲ減ラシテ行クト云フ方針ヲ執ルト云フコトハ方針トシテハ變ラナイ、特別會計ニ致シマシテモ、矢張減債基金ノ全部ヲ取ラズニ、慥カアレハ三分ノ一減債基金ハ今日デモ取ッテアッテ、外國ノ公債ノ償還ニ充テル譯ニナッテ居ルダラウト思フ、其割合デ矢張特別會計カラモ入レテ居ッタノデス、今後特別會計ニシテ若シ餘裕ガアッテ、從前ノ割合デ減債基金ノ爲ニ繰入ガ出來ルナラバ、ソレハ繰入レサセタイト云フ考ヲ有ッテ居リマス、先ヅ減債基金ヲ十分ニ取ルト云フコトハ、今日ノ赤字公債ヲ出シテ行カネバナラヌ此場合ニ於テハ今考ヘラレナイ、併シ少シモ早く減債基金ニ備ヘ、段々ト殖エテ居ッタ公債ヲ減ラシテ行クトハ希望シテ居ル、是モヤハリ財界一般ノ景氣ガ恢復シ、歳出ニ對シテ今ノヤウナ赤字公債ヲ出ス必要ガナクナルト云フ時デナイト、此問題ハ考ヘラレナイ、ソレ迄ハ残念ナガラ今日ノ狀態デ進マナケレバナラヌト思フ

○大山委員 サウ致シマス、大藏大臣ノ御見込ト致シマシテハ、當分減債基金制度

ノ復活ハ望マレナイヤウナ結論ニナリハシナイカト思フ、此點ニ對シマシテハ如何デアリマセウカ

○高橋國務大臣 其通りデアリマス、赤字公債が見透シガ付イテ是ヨリ殖エナイ、段段減ルバカリト云フコトニナリマスレバ、又其時分ニハ考ヘル、而シテ又財界ノ狀態ガ段々ト收入ガ殖エルト云フ景氣ニナッテ、初メテ考慮スベキ問題ダト考ヘマス

○大山委員 此減債基金制度ノ設定ノ當時ニ於ケル高橋大臣ノ御意見ハ、サウ云フヤウナ御意見デハナカッタヤウニ私ハ承ッテ居ル、一體借金ヲスルノニ返ス當ノナイ借金ヲシヨウト云フコトガ無理デヤナカラウカ、今健全財政主義ヲ前藤井藏相ガ御執リニナッテ、健全財政主義ノ最モ看板ニナッタコトハ、即チ赤字公債ノ漸減、斯ウ云フコトヲ主唱サレテ居リマシタ、今ノ高橋大藏大臣ノ御意見ニ從フト、此赤字公債ハ、今迄吾々ノ同僚ガ御尋シマシタ其御答辯ニ對スルコトカラ見マシテモ、當分此赤字公債ナルモノハ克服ノ見込ハ付キ兼ネルトシテ見マシタナラバ、減債基金制度モ今ノ大藏大臣ノ御意見カラ割出シテ行キマスルト、當分是ハ回復ノ見込ハナイ、サウスルト當分我國ノ國債ナルモノハ、償還ノ方針

ナキ條件ノ公債ニナッテシマヒハシナイカ、紙幣ヲ發行スルニ付テモ、一方ニ準備ガアッテ紙幣ガ發行出來ル、信用ノ維持ガ出來ル、公債ノ市場性ヲ非常ニヤカマシク言ッテ居ラレマスルガ、償還ノ方法ガ立タナイデ、國債ニ對スル信用ノ維持、市場性ノ維持ト云フコトヲ望ミ得ラレマセウカ、ドウデアリマセウカ、今大藏大臣ハ外國ノ公債ニ對スル云々ト云フコトヲ言ハレマシタ、而シテ内地債ニ對シテハ償還ノ方法ヲ顧慮スル暇ガナイ、斯ウ云ッタヤウナ口吻デゴザイマシタ、成程外國ニ於テ募集シマシタ公債ト、日本内地ニ於ケル國債トハ違ヒマス、違ヒマスケレドモ、若シサウ云フ御方針デアルトスルナラバ、今吾々ノ前ニ興ヘラレテ居ル所ノ赤字財政ニ關スル法律、及此臨時利得稅ニ對スル法律案ニ付テ、吾々ノ考慮スベキコトハ餘程違ッテ來ハシナイカ、此點ニ關シマシテ今少シ――ソレ共市場ノ變化ニ依ッテ心境ノ御變化ヲ來サレタノデアリマスルカドウカ、減債基金制度設定當時ノ御考ト現在ノ御考ト、大分吾々ガ承ッテ居ル所デハ開キガアルヤウニ思ヒマスルガ、モウ一應此點ニ付テノ御明答ヲ煩シタイト思ヒマス

○高橋國務大臣 減債基金ト云フモノニ付

テノ御考ガ少シ私ト違フ、抑、減債基金ヲ置クヤウニナッタノハ、今御話ノ通り日露戰爭ノ後、私ガ歐米ノ其當時日本公債ニ關係ヲ有ッテ有力ナル財界ノ人々ノ意見ニ依ッテ是ガ起ッタモノナノデス、ソレハ斯ウ云フ譯、彼等ハ日露戰爭ノ後ニハ、日本ガ連戰連勝ノ中ニアッタノダカラ、定メシ露西亞カラ相當ノ償金ヲ得ルデアラウ、ソレガ一つノ日本公債ニ應ジタ人達ヘノ安心デアッタ、然ルニ「ポーツマス」ノ談判ノ結果一文モ償金ガ取レナカッタ、ソコデ資本家、就中倫敦ノ「ロード・ロスチャイルド」ガ最も親切ニ懇々ト私ニ話シテ、其私ニ話シタコトヲ日本政府ニ傳ヘテ貫ヒタイト云フコトデアッタ、ソレハ斯ウ云フコトナノデス、一體日本政府ガ是程ノ多額ノ公債ヲ、獨リ倫敦バカリデハナイ、英國ニ於テモ、佛蘭西ニ於テモ、獨逸ニ於テモ、殆ド世界ノ大國ニ向ッテ此公債ヲ皆募集シテ成功シタ、併シ此成功シタノヲ以テ、俄ニ日本政府ノ信用ガ世界ニ認めラレタノダト思フタラ間違デア

ル、日本政府ノ經濟的ノ信用ト云フモノハ、今漸ク其芽ガ生エタ所デアル、是ニ於テ公債所有主ニ安心ヲ與ヘナケレバナラヌ、其安心ヲ與ヘルノニハ、何トシテモ日本ノ國ノ産業ヲ盛ニシテ、富ヲ興スト云フコトガ

世界ニ認めラレタノダト思フタラ間違デア



一番根本デアル、聞ケバ日露戦争ノ爲ニ、随分日本ノ國民ハ臨時ニ重キ稅ヲ課セラレテ居ル、此重荷ヲ背負フテ、尙ホ將來日本ノ國民ガ國ノ富ヲ殖ヤス爲ニ、山坂ヲ是カラ登ラナケリヤナラヌ、此重荷ヲ背負フテ此坂ガ登レルカ、若シ重荷ガ多過ギテ、此將來進ンデ行ク山坂ガ登レヌト云フナラバ、第一ニドウカ減稅ヲシテ貰ヒタイ、國民ノ負擔ヲ輕クシテ、其困難ナ山坂ヲ容易ニ登リ得ルヤウニシテ貰ヒタイ、是ガ第一ノ日本政府ノ公債ヲ持ッテ居ル外國人ノ安心ノ一ツデアル、ト云フノハ、ソレ程ニナレバ日本ノ前途ニ對シテノ希望ガ起ッテ來ル、失望ハシナイ、是カラノ日本ハ好クナルノダト云フ希望ヲ有タセル、若シ幸ニシテ日本ノ人ガ、此重荷ヲ背負フテモ是等ノ山坂ガ登レル、登ッテ行ケルト云フ忍耐ト勇氣トガアルナラバ、之ニ越シタコトハナイ、其場合ニハドウカ減債基金法ヲ設ケテ貰ヒタイ、減債基金ハ第二ノ條件デアアル、サウシテ此毎年幾ラカヅ、ナリトモ還スト云フコトヲシテ貰ヘバ、日本政府ノ公債ヲ所有シテ居ル人ハソレデ安心スル、兎ニ角公債所有者ニ安心ヲ與ヘルト云フコトガ、此際日本政府ノ信用ヲ維持スル上ニ於テ最モ大切デアアル、斯ウ云フコトデアッタ、ソレデ政府ニ其事ヲ取次

イデ、始メテ茲ニ減債基金制度ト云フモノガ出來タ、故ニ減債基金ノ起リト云フモノハ、公債所有者ニ安心ヲサセルト云フノガ根本ノ目的デアアル、外國ノ公債ニ對シテノ減債基金ヲ今デモ繰入レテ居ルト云フノハ、是ハ即チ外國人ノ日本ノ公債ヲ持ッテ居ル人々ニ安心ヲ與ヘテ行クコトヲ續ケテ居ルノデアアル、即チ外國ニ對シテ日本政府ノ財的信用ヲ維持スル一ツノ原因ニナッテ居ル、是ハ契約ニモナッテ居ル、之ヲ今我國ガ契約違反スルト云フヤウナ必要モナシ、是ハ出來ルダケ續ケテ行カニヤナラヌ、ソコデ今度内地ノ方ハ、今ノ御話ニ依ッテ見ルト、還ス目的ガナクテ、借リ放シダト云フヤウナコトデアアルガ、國債ト云フモノハサウハナラヌ、國債ヲ背負フモノハ矢張國民デアアル、故ニ有價證券トシテ、先ヅ國債程確ナモノハ、其國民ノ持ツモノトシテハナイ筈デアアル、ソレ故ニ減債基金ト云フモノガナイ、毎年借リルバカリデ還スコトガナイト云フノデ、日本ノ國民ガ此公債ヲ危険視シテ持タナクナルト云フコトニナレバ、是ハ別ナ話デアルケレドモ、今日ノ情勢デハサウ云フコトハナイノデアアル、ソコデ減債基金ヲ置クト云フコトハ、剩餘金ノ生ズル場合デナケレバ置ケナイモノデアアル、一方ニ

公債ヲ募ッテ、其募ッテ得タ金ヲ以テ一方デ公債ヲ還ス、是ハ期限ノ來タモノハ仕方ガナイ、償還期限ノ來タモノハ、サウ云フ手續ヲ取ラナケレバナラヌガ、償還期限ノ來ナイモノヲ一方デ還シ、還ス金ハ剩餘金デナイ、新ニ又公債ヲ出シテ募ラナケレバナラヌト云フ、内國債ニ付テサウ云フコトヲスル必要ハ恐ラクナイ、私ハマダ日本ノ國民ガ日本政府ノ公債ニ付テ、還ス目途ガナイカラ是ハ危険ダト云フ考ヲ懷ク者ハナカラウト思フ、ト云フノハ國民ノ是ハ義務デアアル、國民ノ借財デアアル、銘々ノ負擔スベキモノデアアル、サウシテ又株券ヨリ何ヨリ一番信用ヲ置イテ宜イモノデアアル、責任ハ全體ノ國民、現在ノ國民、將來ノ國民、總テ是ハ負擔スベキモノデアアルカラ、是程確實ナモノハナイノデアアル、ソレ故ニ必ズチャント還ス目途ガナイカラ借リチャナラヌト云フ性質ノモノデハナイ、サウ私ハ心得テ居ル

○大山委員 國債ニ對スル減債基金設定ノコトニ付テハ、今大藏大臣ノ御話ノヤウナコトハ、私共ハ度々大藏大臣御自身カラ承ッテ居リマス、設定ノ當時ノ事情、其當時高橋サンガ外國ニ行カレテ、募債ヲサレタ御苦心、ソレ等ノコトハ能ク伺ヒマシタガ、併シ外國人ノ國債應募者モ、内國人ノ國債應募者モ、其國債應募者ノ心理状態ハ同ジコトダラウト思フ、經濟的ニ考ヘマスラナラバ、矢張是ハ償還年限ガ書イテアリマシテモ、其償還年限ニ一定ノ標準ヲ設ケテ、是ガ年年歳々何分カノ償還ニ對スル積立ガアル、斯ウ云フコトガアルノト、是ガナイノトハ、如何ニ大藏大臣ガ俺ノ發行スル公債ハ立派ナモノデアアルト仰シヤッテモ、市場ニ對シテ、之ガ市場ノ消化力ニハ餘程ノ影響ガアルモノト私ハ考ヘル、此點ニ付テハ或ハ見解ノ相違ニナルカモ知レヤセスケレドモ、ソレハドウシテモ國債ノ價格ト云フモノニ影響スル譯デアッテ、非常時局ノ際已ムヲ得ズ私共ハ、昭和七年ノ減債基金停止ノ高橋サンノ財政々策ニ吾々ハ共鳴致シタ譯デアアル、考ヘテ見マスレバ、成程仰シヤイマスヤウニ、一方ニ國債ヲ多額ニ募集シツ、一方ニソレノ利息マデモ矢張公債デアル、借金ニ重ナルニ借金ヲ以テスルト云フコトハ、是ハ宜クナイコトニハ違ヒアリマセヌ、併ナガラ償還スルト云フ義務ヲ果スニ付テノ保證ト云フモノハ、是ハ確立シテ置カナケレバナラヌモノデアアル、年々一遍ニ償却スル特別ノ目途ガナイ、今高橋サンノ言ハレタヤウニ、日露戦争當時ノ、將

來得べき償金ヲ以テ目安ニヤルト云フヤ  
 ウナコトハ出來ナイ、今日ノ公債ナルモ  
 ノハ、是ハ眞ノ赤字公債デアッテ、是ダケ  
 ノモノヲ注込シテ、國民ノ生産力ヲ將來如  
 何程マデニ維持シ、擴張シテ行ケルカ、ソ  
 レニ依ッテドウ云フ風ニナルカト云フコト  
 ハ、吾レ人共ニ不安ニ感ジテ居ル、決シテ  
 日本ノ國債ニ對シテノミ不安ニ感ズル譯デ  
 ハナイ、併ナガラ其際ニ當リマシテ、矢張  
 同ジ吾々ノ負擔ヲ將來一漏ニ受ケルト云フ  
 ヨリハ、年々歳々ニ之ヲ積立テ、置キマシ  
 テ、其償還方法ヲ一方ニ採ッテ置キマスレ  
 バ、一方ニ於テハ、ソレガ日本ノ國債ニ對ス  
 ル一ツノ信用維持ノ方法ニモナリ、又國債  
 應募者ニ對スル——公債所有者ニ對スル安  
 心ノ因トモナリ、而シテ又一方ニ於テ、將來  
 ノ國民ニ對スル親切ト云フモノガ其處ニ現  
 ハレテ來ル譯デアアル、負擔ヲ將來ニ貼ス、  
 吾々ノ負擔ヲ——現在ノ人間ガ負擔スベキ  
 モノヲ將來ニ貼シテ行クト云フ時ニ、均分  
 シテ貼シテヤルト云フコトニナリ得ルノデ  
 ハナカラウカ、決シテ今仰シヤル通り、外  
 國債ニ對シテハ、國際關係ノ債權債務ノ關  
 係デ——契約上ノ關係デ減債基金ト云フモ  
 ノハ止メテハ行カナイガ、内國債ニ於  
 テハ自分達ノ借金デアルカラ、是ハ償還方

法ヲ講ジナクテモ宜イト云フヤウナモノデ  
 ハナカラウト私ハ思フノデアリマス、今大  
 藏大臣ガ御話ニナリマシタ所ヲ要約致シマ  
 スルト、幾ラデモ公債ハ——内國債ハ出シ  
 テモ宜イヤウナ氣モシマスルシ、ソレカラ  
 又一方カラ云フト、國債ノ償還ノ方法カラ  
 吾々將來ヲ考ヘテ見マスト云フト、甚ダ  
 心細イヤウナ氣モ致シマス、畢竟吾々ガ此  
 問題ヲ提起致シマシタ所以ノモノハ、臨時  
 利得稅ヲ設ケテ、サウシテ現在ノ赤字克服  
 ニ對シマスル、ソレダケノ歳出ニ應ジマス  
 ルダケノ負擔ヲ、現在ト將來トニ使ヒ分  
 ケ、振分ケニナルト云フ方針ノ下ニ、臨時  
 利得稅ヲ設ケマシタノデアルカドウカ、若  
 シサウ云フ遠大ナ御考ガアリトスルナラ  
 バ、是ハ結構ナコトニ違ヒナイ、此前民政  
 黨ノ方デ一億圓ノ増稅ヲ主張サレタ當時ニ  
 モ、セメテハ赤字公債ノ利子ダケデモ増稅  
 ニ依レト云ッタヤウナ主張デアッタヤウニ吾  
 吾ハ承ッテ居ル、サウ云フヤウナコトデ、  
 今高橋大藏大臣ノ言ハレタ通りニ、本當ニ  
 赤字國債モ増稅モ同ジ國民ニ對スル負擔ト  
 云フ——負擔ノ方カラ考ヘマスルナラバ同  
 ジコトデアアル、ソレヲ一時ニ國債ト見テ、  
 將來ノ國民ニ對シテ——吾々ノ子孫ニ對シ  
 テ一時ニ重イモノヲ課シテ行クト云フヨリ

ハ、一方ニ於テ現在ノ國民モ、之ニ對シテ  
 何分カノ負擔ヲシテ行カナケレバナラス、  
 斯ウ云フ建前ノ下ニ臨時利得稅デモ御立テ  
 ニナッタト云フノナラバ、吾々ハ幾分諒トス  
 ル點モアリマスケレドモ、サウデナクシ  
 テ、一方カラ伺ッテ見ルト云フト、國債ハ  
 今内國ノ國債デアアル限りハ、幾ラデモ國民  
 ハ負擔ニ應ジナケレバナラス、ソレヲ償還  
 ショウトシマイト、償還ガ確實デアラウト  
 ナカラウト、決シテ償還シナイト云フコト  
 ハナイノデアアルカラ、吾々ノ負擔ナノダカ  
 ラ、ソレハドウシテモ引受ケナケレバナラ  
 ス、斯ウ言ッタヤウナ結論ニナリハシナイ  
 カト思ヒマスガ、其點ニ對シマシテ、モウ  
 一度諄イヤウデアリマスガ、重要ナル事デ  
 アリマスカラ、御親切ナル御示教ヲ仰ギタ  
 イト思フ

○高橋國務大臣 後段ノ御話ハ、既ニ朝ノ

中ニモ十分ニ辯ジテアルノダカラ必要ハナ  
 カラウト思フ、唯公債ニ結付ケテ考ヘテノ  
 御話ハ、ドウモ少シ私ノ考トアナタノ考ト  
 違ッテ居ル、減債基金ト云フモノヲ積ンデ置  
 イテ償還スル、ソシテ減債基金ハアリハシ  
 ナイ、何處ノ國ニモナイ、又期限ガ來テ満足  
 ニ現金デ償還スルト云フ力ヲ常ニ備ヘテ居  
 ル所ハ恐ラクナイノデス、近キ中ニ償還ス  
 ル期限ガ來ルト云ヘバ、前以テ新ニ公債ヲ  
 發行シテ置イテ、サウシテソレ得タ金デ  
 以テ、舊公債ヲ還ス、借換ト能ク言ッテ居ル、  
 此公債ノ借換ト云フコトハ、其國ノ信用ガ  
 保タレテ居リ、而シテ其發行シタ先ノ國ノ  
 經濟界ガ窮迫シテ居ラナケレバ、借換ト云  
 フモノニ付テハ餘リ困難ヲ感ジナイ、公債  
 ト云フモノハ——減債基金ト云フモノ、運  
 用ヲ、アナタガ能ク御承知デナイヤウニ思  
 ハレル、減債基金ノ運用ト云フモノハ、市場  
 カラ常ニ借入償還ヲシテ、下ノ公債ト決ッ  
 テハ居ナイ、積ンデアアル譯デハナイ、片端  
 カラ公債ヲ政府ガ減債基金デ買ッテ行クカ  
 ラ、公債ノ市價ノ維持モ幾ラカ出來ルト云  
 フ働キノモノデアアル、減債基金ヲ澤山積ン  
 デ、サウシテ是デ償還期限ガ來タモノヲ還  
 スノダト云フ意味ノ減債基金デハナイ、是  
 ハ何處ノ國デモ、減債基金ヲ唯積ンデ置イ  
 テ、償還ノ時ニ基金ヲ一時ニ出スト云フ國  
 ハナイ、下ノ公債ニ拘ラズサウデアアル、殊ニ  
 公債ノ市場ニ於テ、公債ノ種類ノ多イ所ハ、  
 人ニ依ッテハ同ジ四分利附デモ、初ニ出シ  
 タ四分利附ト、二度目ニ出シタ四分利附ト  
 ハ、市價ガ違フモノデアアル、是ハドウモ公債  
 ヲ持ッテ居ル人ノ考ニ依ル話デ、同ジ公債デ  
 アッテモ市價ガ——同ジ利息ノ公債デモ發

行ノ時ガ違フ爲ニ、大變ニ市價ノ違フコト  
ガアル、サウ云フ場合ニ於テ、已ムヲ得ズ  
市價ノ下ルト云フヤウナ公債ヲ、政府ハ大  
抵買入レテ償還ヲシテ行ク、サウ云フ風ニ  
減債基金ヲ用キラレテ居ル、ソレカラ斯ウ  
云フ譯デアアルカラシテ、何モ今ノ所減債基  
金ヲ日本ニ於テ備ヘルコトガ出來テ居ル  
カ、ドウシテ居ルカト云フコトハ、矢張今  
申シタ通り外國市場ナドハ、ドノ公債ニ限  
ラズ、凡ソ此公債ヲ買ツテ置ク方ガ國ニ利  
益ナリト思フヤウナモノヲ買フ、内地ニ於  
テモ其通り、而シテソレデ今日ノ公債ノ市  
價ヲ維持シテ居ルカ、維持セラレテ居ナイ  
カト云ヘバ、今日ハ豫テ申シテ居ル通り、  
方法ヲ改メテアルノデ、先ヅ今日ノ所デハ  
公債ノ市價ハ從來減債基金ヲ置イテ居  
當時ヨリハ動カズニ居ル、ソナラ希望者  
ガナイカト云ヘバ、隨分希望者ガアツテ賣  
レテ行ク、是ハ即チ國民ガ公債ト云フモノ  
ニ對シテ安心ヲシテ居ルト云フコトハ明カ  
デアラウト思フ、デ減債基金ノ運用ノ誤解  
カラ、今ノヤウナ御質問ガ出テ居ルト私ハ  
察スル

一此疑問ガ出テ來ル、市場ニ於テ減債基金  
ノ運用ニ依テ、國債ヲ額面以下デ買入レ、  
サウシテソレヲ償還スル、安クナレバ減債  
基金ノ運用ガ始マレテ來テ、此國債ハ値ガ上  
テ來ル、價格ノ維持ガ出來ルト云フ所ニ、國  
債所有者ノ、若クハ買入者ノ安心ト云フモ  
ノガ繫テ居ル、ソレガ無クナツタカラ、  
矢張市場性ニ影響ヲ及シテ居ル、今御話ノ  
減債基金制度ノ繼續サレテ居ル時代ト、停  
止サレタ今日ノ國債ノ價格ガ變ラヌ、イヤ  
本當ニ言ヘバ、其當時ヨリハ寧ロ上ニ居ル  
ト云フコトヲ以テ、此理由ニ御使ヒニナッ  
居リマスケレドモ、ソレハ外ノ理由ニ依ル  
ノデ、國債ノ市場價格ハ、一方ニ於テ國債ノ  
利息條件如何ニ依ルコトデアツテ、色々ナ理  
由ニ依ッテソレハ行ッテ居ルノデアアル、其當  
時ハ獨リ國債バカリデアアリマセヌ、國債  
ノ價格ガ下ツテ居ルノハ、一般ノ有價證券  
全部ガ下ツタ時デアアル、今日有價證券ノ價格  
ガ上ツタ時ニ、國債モ矢張ソレニ連レテ上  
テ居ルノデアリマス、是ハ強チ減債基金制  
度ノ廢止トカ繼續トカ云フコトノミニハ依  
ラヌト私ハ思ヒマス、併シソレハ大藏大臣  
ガ首肯サレテ居ナイヤウデアリマスカラ、  
私ハ大藏大臣ノ御意見ヲ伺ッテ置クダケニ  
止メテ置キマスガ、今一ツ之ニ關聯致シマ

シテ御伺致シタイ、健全財政ノ建前カラ行  
キマシテ、歳出ヲ出來ルダケ整理緊縮ヲ  
シ、歳入ヲ出來ルダケ増加ヲ圖ル、此歳入  
ノ増加ヲ圖ルニモ、租稅其他ノ國家ノ經常  
的ナ歳入ヲ増加シ得ラレナイ場合ニハ、已  
ムヲ得ズ現時ノ國債ナリ何ナリノ方法ニ  
依ッテ歳入ノ一時補填ヲスル、斯ウ云フコト  
ニ相成ルノデアリマスカラ、健全財政主義  
カラ申シマスカラバ、國債ノ成ベク少カラ  
ンコトヲ望ムコトガ當然ノコトデアリマ  
ス、國債以外ニ於テモ、今申サレマシタ臨  
時利得稅ノヤウニ別途ニ財源ガアリマシ  
テ、増稅ナリ新稅ノ創設ノ出來得ル場合ハ、  
成ベク其方ニ振向ケテ行ッテ、現在ノ國民ニ  
對スル負擔ト將來ノ國民ニ對スル負擔トノ  
振分ケヲ、成ベク適當ニヤツテ行クト云フ  
コトヲ御圖リ願ハナケレバナラヌト思フノ  
デアリマスルガ、現在ノ赤字國債ハ本年度  
ニ於テモ六億、七億、特別會計マデ入レマ  
スルト、相當ノ額ニ是ガ上ツテ居リマス、ソ  
レニ對シマシテ、此臨時利得稅ノ設定ニナ  
リマシタ其主義ハ、何ト申シマシテモ、ド  
ウモ理由ガハッキリ致シマセヌ、度々吾々ノ  
同僚ガアナタニ伺ッテ居リマスケレドモ、ド  
ウモ確實ナル、的確ナル、斯ウ云フ理由デ  
アルト云フコトガ色々ニ傳ヘラレマスケレ

ドモ、其都度伺ッテ見テモ、ハッキリシナイ  
ノデアリマス、理由ノ如何ニ拘リマセズ、  
赤字國債其モノハ相當ノ額デ増加致シマス  
ルシ、又一方現在ノ臨時利得稅ノ如キモ、  
既ニ歳入ノ一部ニ繰入レテ御提案ニナッ  
居ル際デモアリマスノデ、吾々ハ此問題ハ  
何トカシテ解決ヲシナケレバナラヌ問題ニ  
相成ッテ居ルト思ヒマス、健全財政主義ノ建  
前ヲ一般歳出ノ上ニ考ヘテ見マスカラバ、  
軍事費其他ノ國費ハ當分——今マデノ質問  
應答ヲ伺ッテ見テ居ッテモ、是ガ減少ノ見込  
ガ立チニクイ、ソレカラ租稅其他ノ一般歳  
入ノ方ハ、新稅ノ創設以外ニ、サウ急ナ擴  
張ハ望マレ得ナイト云フ状態デアリマス、  
隨テ是ノ收支「バランス」ヲ合セマスル上  
カラ行キマシテ、赤字公債ト云フモノガ、  
相當ノ額ヲ將來トモ維持シテ行クノデアリ  
マスルカラ、若シ減債基金制度ト云フモノ  
ガ、本當ニ告朔ノ餼羊ノ如キモノデアリマ  
スルナラバ、ソレハモウ廢止ニナルト云フ  
コトナラバ、ソレデ宜シイケレドモ、是ニ  
於テハ私共ハ借金ヲシ、國債ヲ益、増加シ  
ナケレバナラヌト云フ建前ニナリマスル場  
合ハ、一方ニ減債基金制度ノ如キモ、之ヲ  
何等カノ方法ニ依ッテ補填シテ積立ヲシテ  
行ク、回復ヲシテ行クト云フコトガ必要ナ

ノデナカラウカ、若シ臨時利得稅ヲ以テ三千萬圓デモ、四千萬圓デモ、必要ガアリマヌルナラバ、サウ云フ方ニ之ヲ御向ケニナルコトモ、一ツノ方法デハナカラウカ、斯ウ私共ハ此國債ノ償還ト云フコトニ考及ビマシタ時ニ、其念ヲ有ツタカラ御尋申上ゲタノデアリマス、併シ今迄ノ高橋大藏大臣ノ御話カラ行ケバ、減債基金制度ト云フモノ、結論トシテハ、當分是ハ回復ノ餘地ナシ、見込ナシ、斯ウ云フ結論ニ相成ッテ居リマス、又回復ノ意思ナシトモ親ヘルノデアリマス、ソレデ一方ニ於テ三千萬圓ナリ、四千萬圓ナリ、減債基金ダケノ國債ヲソレダケ減シテ行ク、斯ウ云フコトニ御努メニナッテ居ルノデアリマスルガ、今度ノ特別會計ノ減債基金マデモ之ヲ繰入レラレマシタコトニ付テ、今ノヤウナ御方針デアルトスルナラバ、千七百萬圓位デナク、全部ヲ御繰入ニナッテハ如何デアリマセウカ、其點ニ付テ大藏大臣ニモウ一應御考ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

アル、誤解ガアル、ソレハ私ハ公債ノ市價ガ上ツタトカ下ツタトカ云フコトヲ言ツタノデハナイ、市價ノ變動ガ少イ、斯ウ言ツタ、凡ソ貯金ヲスル人ハ、相場師或ハ投機思惑ノ爲ニ金ヲ使フ人ハ別デアリマス、併ナガラ子孫ノ爲トカ、老後ノ爲トカ、自分ノ働ガナクナツタ時ニ、今ノ中ニ貯蓄シ用意シテ置カナケレバナラヌト云フ人達ハ、成ベク自分ノ持ツタモノ、市價ガ上ツタリ下ツタリシナイヤウニ、危険ガ最モ少イモノニ投資スルノハ當り前ノ話デアアル、公債ト云フモノガ株券同様ニ上ツタリ下ツタリ從前シテ居ツタガ、其市價ノ變動ガ今日公債ニ於テナクナツタ、即チ健全ナ投資者ノ目的物ニ最モ適フベキ状態ニナッテ來タ、斯ウ云フ意味デ申シタノデアリマス、ソレカラ健全財政ト云フコトヲ頻ニ御言ヒデスガ、是ハ分ッテ居ル話、何人モ健全財政ヲ惡イナント云フ人ハナイノデアアル

ズット綜合課稅主義ヲ御執リニナッテ居ルヤウニ吾々ハ承知致シテ居リマス、然ルニ今度御設ケニナリマシタ臨時利得稅ナルモノハ、是ハ申スマデモナク、源泉課稅主義デアアル、綜合累進課稅主義ヲ出シテ、サウシテ一方ニ源泉比例主義ニ依ル今度ノ臨時利得稅ヲ御設ケニナリマシタノハ、ドウ云フ譯デゴザイマセウカ、ソレヲ伺ヒマス

人ノ公平ヲ得ル爲ニ、財産稅ヲ之ニ加ヘル、是ダケガ國稅デ、後ハ皆地方ニ移シテシマフト云フヤウナ考ヲ以テ、例ノ綜合所得稅法ト云フモノヲ出シタ、ダカラ初カラ完全ナモノヲヤルト云フト、中々世ノ中ガ反對ヲシテ施行ガシニクタイ、先ヅ第一步ヲ踏出ス積リデヤッタノガ、其後ソレ切リニ途切レテ居ルノデ、今日デモ一般的ニ稅制ノ整理ヲスルト云フコトニナレバ、矢張根本ハサウ云フ所ニ置カナケレバナラヌノカ知ラト、自分ダケハ考ヘテ居ル、併シ是ハ前ニモ申シタ通り、國策審議會ト云フヤウナ、本當ニ良イ機關ガ出來上レバ、此機關ニ於テ地方稅、中央稅、併セテ産業ノ國策等モ考ヘテ、ドウシテモ是ハ將來改革スル時ガ來ルト、私ハ斯ウ考ヘテ居ル

○高橋國務大臣

別ニモウ御答スル必要ハナイ、特別會計ニ餘裕ノアルモノハ繰入レテモ宜イデセウ、ソレハ今ハキリ申上ゲルコトハ出來ナイ問題デアアル、前ニ申上ゲタガ、私ノ言ヒ方ガ惡カッタカ、一寸間違ガ

○大山委員

私ノ伺ツタノハサウ云フ事デハナカッタノデアリマス、今度御設ケニナリマシタノハ、現大藏大臣ノ從來ノ御方針ニ似合シカラス、突如トシテ今度源泉比例課稅主義ヲ御執リニナッタト云フノハ、ドウ云フ譯デアリマスカ、斯ウ云フコトヲ伺ツタノデアリマス、今マデハ綜合累進課稅主義ヲ御立テ下サレテ、ソレガ爲ニ社會上ノ色々ナ稅ニ對スル物議ト云フモノガ、大分緩和サレマシタ、一方ニ於テハ、吾々ハ一時ハ源

○大山委員

サウ致シマスルト、減債基金制度ノ問題ハ之ニ止メテ置キマス、モウ大抵大藏大臣ノ御考ハ分ッテ居リマスカラ、御尋申シマスマイ、然ラバモウ一ツ大藏大臣ニ御伺致シタイノデアリマスルガ、甚ダ言葉ガ荒イヤウデアリマスケレドモ、大藏大臣ハ我國ノ稅制ノ建前ノ上カラ、今マデハ

泉課税主義デナケレバ、日本ノ産業ハ發達シナイト言ッテ、隨分御無理ヲ御願シタ時代モアツタ、ケレドモ現在ノ社會情勢ノ上カラ見マスルト云フト、ドウシテモ綜合課税主義ハ已ムヲ得ヌ、綜合累進課税主義デナケレバ負擔ノ均衡ハ十分ニイカナイ、社會政策的ノ觀念ハソレニ盛リ切レナイ、斯ウ云フ所カラ、今高橋大藏大臣ノ御樹テニナリマシタ綜合累進課税主義ト云フモノヲ、吾

吾ハ現在ノ我國ノ税制ノ根本方針トシテ承認ヲ致シテ居リマス、然ルニ今度御設ケニナリマシタ臨時利得税ト云フモノハ、所得税法中ノ超過所得ニ關スル規定ノ上ニ更ニ一步踏出シテ、別ノ觀點ダト仰シヤルケレドモ、同ジ税金ニ向ッテ、又一ツ茲ニ比例源泉ノ課税ヲ新シク御設ケニナラウト云フノデアリマス、是ハ一面カラはダケテ切離シテ考ヘテ見マスレバ、何デモナイヤウデアリマスルケレドモ、現在所得税法中ニ、既ニ超過所得ト云フモノニ關スル規定ガアリ、ソレガ全然一段階デハアリマセヌケレドモ、殆ド比例源泉ノ主義ニ依ッテ盛ラレテ居ルモノデアアル、然ルニ今度又臨時利得税ニ於テ、更ニ一律ノ比例主義ヲ以テ課税ヲナサル、斯ウ云フノデアリマスルカラ、是ハドウ云フ風ニ成行クモノデアリマセウカ、

ドウ云フ御考デゴザイマセウカ、其點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○石渡政府委員 只今大山サンカラ御尋ガゴザイマシタ、今回ノ臨時利得税ヲ何故綜合主義ニ基カナカッタカ、斯ウ云フ御尋デゴザイマス、此臨時ノ利得税ノ課税ノ方法ト致シマシテハ、仰シヤル通り個人ニ總テノ所得ヲ綜合致シマシテ、即チ第三種ノ所得ノ總額ニ於キマシテノ比較ヲシテ行キマスコトモ、一方法ダラウト思フノデゴザイマス、併ナガラ今日ノ我國ノ所得税法、又今日ノ一般經濟狀態カラ致シマシテ、大體ニ於キマシテ營業所得ヲ目標ニ致シテ之ヲ拵ヘテ行キマスレバ、今回ノ臨時利得税法ノ目的ヲ達シ得ルモノト、斯ウ考ヘマシタ次第デアリマシテ、戰時利得税ヲ歐米諸國ニ於キマシテ行ヒマシタ場合ニ於キマシテモ、多クハ斯ウ云フヤウナ形式ヲ執ッテ居ルモノト存ジテ居リマス、是モ一ツノ行キ方ト思ヒマス

○大山委員 私ハ根本觀念ニ於テ大藏大臣ニ伺ッテ積リデアリマシタノデ、現在ノ臨時利得税ヲ御設ケニナリマシタ、此臨時利得税ノ方針ヲ伺ッテ居ルノデハナイ、現大藏大臣ガ豫テヤカマシク綜合課税主義ヲ御執リニナッテ居ッタニ拘ラズ、今回ノ臨時利得税

ヲ比例主義デ御取リニナッテ居ルト云フコトニ對シテ、現大藏大臣ガドウ御考ニナルカト云フコトヲ伺、タノデアリマス、併シ之ニ對シテ御答ガナケレバ已ムヲ得マセヌ、

ダガ唯茲ニ一ツ問題ガ殘ルノデアリマスルガ、一方今大藏大臣ガ御話ニナリマシタ、大藏大臣ガ嘗テ原内閣時分ニ御樹テニナリマシタ其御方針ト、今尙ホ大體ニ於テ税制ノ根本ニ關シテ、自分ノ考ハ違ッテ居ラヌ、斯ウ云フ御話デアアル、其建前ハ、即チ濱口内閣ニ依ッテ樹テラレマシタ我國ノ税制整理ノ、所得税ヲ根本トシテ、營業、地租ノ兩税ヲ之ヲ兩翼トシテ立テ、居リマスル所ノ此現在ノ税制制度、ソレカラ高橋サンノ其當時カラ今以テ大シテ御變リハナイト云フ、地租及營業收益税ノ兩税ヲ地方ニ委讓シヨウト云フ御考ト、是ガ大分ソコニ違ッテ居ルノデアリマス、併ナガラ現在直チニ此兩税ヲ委讓サレルカドウカト云フコトヲ伺フ程、私モ白痴デハナイ積リデアリマスルケレドモ、今度國策審議會ト云フモノヲ設ケテ一般ノ税制整理ヲ爲サラウ、斯ウ云フ場合ニ於テ、地租、營業税ノ兩税委讓ヲ一矢張成タケソレニ近イモノヲ御執リニナル方針デアリマスルカドウカ、是ハ餘程重大問題デアリマスルケレドモ、國策審議會

云々ガ出マシタカラ、私ハ御尋申上ゲルノデアリマス、一般税制整理ト云フコトガ、何時行ハレマスカ知りマセヌケレドモ、近ク設定サレマス國策審議會ニ向ッテ、税制整理ヲ御提案ニナラウト云フノデアリマスルカラ、今ノ大藏大臣ノ御方針ノ片鱗デモ伺フコトガ出來マスレバ仕合せデアリマス

○高橋國務大臣 私ハ自分ノ考トシテハ、前ニ持ッテ居ッタ考ト今日餘リ變リアリマセヌ、併ナガラ國策審議會ノ必要ヲ私ガ言フ以上ハ、自分ノ説ヲ必シモ宜イトハ思ハナイ、衆智ヲ聚メ、色々ノ人ノ經驗ヲ集メ、其時ノ時勢ノ狀況ニ應ジテ最善ノ方法ヲ樹テルノガ私ノ目的デアアル、決シテ私ハ自分ノ考ガ元斯ウダカラト云ッテ、ソレニ執著ハシテ居ラヌノデアリマス、良イト思ヒタモノハ誰ノ説ニモ贊成スルノデアリマス

○大山委員 デハモウ一ツ突込ミ過ギルヤウデアリマスルケレドモ伺ヒマスガ、税制整理ノコトハ、申ス迄モナク大藏大臣ノ權限ニ屬スルモノト思ヒマス、國策審議會ニ御提案ニナリマスノハ——御提案ニナッテ審議ノ結果ハ、是ハ衆議ニ御從ヒニナルノハ無論ノ話デアリマセウガ、併シ御提案ニナリマスル原案ハ、高橋大藏大臣ガ作製ニナルモノト思ヒマス、其原案ハドウ云フ風

ナモノニナルノデゴザイマセウカ

○高橋國務大臣 思ハザル——原案ナンテ私ハ考ヘテ居リマセヌ、又國策審議會ガ出來タ時分ニ、假ニ私ガ大藏大臣ノ職ニ在ッタシテモ、私ハ自分デ原案ヲ出ス考ハ少シモナイ

○大山委員 分リマシタ、是ハ其程度ニ致シテ置キマスガ、今ソレニ關聯シテ御伺シタイノハ、執拗イヤウデアリマスガ、地方財政ノ整理ト云フコトニ向ッデ、大藏大臣ガ今兩稅委讓デモシナケレバナラスト云フ御考ガ變ラヌノハ、即チソコニアルノダラウト思フ、地方財政ガ非常ニ苦シンデ居ル、此實情ヲ承知シテ居レバコソ、斯ウ云フ御質問ヲ私モ申上ゲ、又御答辯ヲ煩シタノデアリマスガ、此地方財政ノ整理ニ向ッデ、現在吾々ノ目ノ前ニ提案サレテ居リマスル、臨時利得稅ト云フ一方ニ收入ガアルノデアリマス、アルノデヤナイ、ソレハ御拵ヘニナルノデアリマスガ、御設ケニナルノデアリマスガ、同時ニ何等カソレヲ御使ヒニナルト云フヤウナコトニ付テノ御考ハアルノデアリマセウカ、ナイノデアリマスガ、數字ヲ捉ヘテ言ヘバ、臨時財源ト致シマシテ、一般歳入ニ編入セラレテ、何處ニ頭ヲ出シテ居ルカ分ラヌ、ソレハ當然ノコトデアリ

マスガ、大體新稅ヲ起サレル場合ノ稅ノ目的ト云フモノハ斯ウ云フ用途ニ必要デアルカラ、是ダケノ增稅ヲシナケレバナラスト、是ダケノ新稅ヲ起サナケレバナラスト、斯ウ云フ所ニ稅ノ殘ッテ居ルモノガアルノデアル、取得ルモノガアルノデアルカラ取ル、斯ウ云フコトデナクテハナラスト思フノデアリマスガ、度々臨時利得稅ノ理由、目的ト云フモノハ、モウ色々ノ方面カラ伺ハレテ居ルノデアリマスケレドモ、マダ成程是ダナト得心ノ行ク一ツノ理由ト云フモノヲ伺ッテ居ラヌケレドモ、是ハ禪問答ニ終リマスカラ、私ハ是ハ避ケテ置キマス、唯現在ノ御考トシテ、地方ノ財政ニ對シテドウ云フ風ニ——何等カ財源ガアッタナラバ、ソレヲ與ヘテヤリタイ、斯ウ云フヤウナ御考ガアルカナイカラ伺ッテ置キタイ

○高橋國務大臣 サウ云フ一方ニ偏シタ考ヲ有ッテ居リマセヌ

○大山委員 一方ニ偏シタコト、モ私ハ考ヘナイノデゴザイマス、私ノ御尋シタコト

ガドウ云フヤウニ高橋サンノ御耳ニ響キマシタカ知リマセヌガ、私ノ申シタ趣旨ハ、國稅一般ニ對スル稅制整理ヲ爲サル場合ニ、必ズ中央、地方ヲ通ジタ稅制整理ヲ爲サルト云フコトハ、最近ノ議會ニ於テモ、現在

ノ議會ニ於テモ、度々サウ云フ方針デアルト云フコトハ、總理大臣、大藏大臣ノ言明サレテ居ル所デアリマス、其一部ノ地方財政ノ整理ニ關スル問題トシテ、御方針ヲ伺ッテ居ルノデアリマスカラ、私ハ少シモ偏シテ居ルト思ヒマセヌガ、尙ホ何等カ私ノ質問ノ仕方ガ惡カッタ爲ニ、サウ云フ風ニ御考ニナッタノデアリマスガ、私ハ此點ヲ是正シテモウ一應御致シマス

○高橋國務大臣 局部ニ偏シタ考ヲ持ッテ

居ラヌト云フコトハ、具體的ニ斯ウ云フ財源ハ之ヲ地方ニ持ッテ行ク、サウ云フヤウナ考ヲ持ッテ居ルノデハナイト、サウ云フノデアリマス、一般ニ地方ノ財政、中央ノ財政、併セテ國策ヲ樹ツル上ニ於テハ、私ハ此際自分デ斯ウ云フ考ヲ持ッテ居ルト云フコトハ——考ハアッタ所デ、ソレヲ自ラ自分ヲ信ジナイ、ソレ故ニ國策審議會ト云フモノガアッテ衆智ヲ聚メテ適當ナ方策ヲ樹テテ貫ヒタイト考ヘル

○大山委員 然ラバモウ一應伺ヒマスガ、

此臨時利得稅モ一緒ニ國策審議會ニ御掛ケニナッテハ如何デアッタデアリマセウカ、ソレヲ待テナイ事情ガ何カアッタノデゴザイマセウカ

○松村委員長代理 大藏大臣ハ御答ガナイ

サウデアリマス

○大山委員 之ヲ一ツノ疑問トシテ御見遁シニナルナラ已ムヲ得マセヌ、御答ガナイモノヲ強テ伺フ譯ニモ參リマセヌガ、左様ナコトデハ私ハ自分ノ考ヘテ居ルコトヲ、十分ニ御伺スルコトガ出來ナイト思フ、已ムヲ得マセヌカラ、大藏大臣ニ對スル質問ハ是デ終リマス

○森田委員 一寸正式ニ材料ノ要求ヲ御願

シテ置キマス、肝心ノ勅令要項ガ見當ラヌノデアリマスガ、是ハ催促ガナクテモ之ニ關聯シテ——何時デモ法律審議ノ時ニハ、勅令要項ヲ出ス例ニナッテ居ル、ドウゾ早く出シテ下サルコトヲ御請求申シテ置キマス、ソレカラ昨日モ私ガ申上ゲマシタヤウニ、昭和五年、六年ノ二年間、六箇月ノ決算期ノ四期ヲ通ジテノモノヲ、平均所得ニスル場合、昭和五、六年ハ、御承知ノ通り同盟罷工ノ一番澤山アッタ時代デアアルガ、平素一割以上儲カッテ居リナガラ、一期間ダケノ間ニ同盟罷工ガアッタ爲ニ、利益ガ七分以下ニ落チタ、其爲ニ百分ノ七ヲ適用サレルヤウナ場合ニハ、大變不都合ヲ生ズルト思フ、平素一割以上儲カッテ居リナガラ、一期間ダケニ同盟罷工ガアッタ爲ニ、サウ云フコトニサレテハ大變デアルト思フノデ、是

コトニサレテハ大變デアルト思フノデ、是

ハ分ケテ加減サレルカ、或ハ省令デ適當ナ方法ヲ設ケルカト云フコトニ付テ、御研究置願ヒタイト思ヒマス

○大山委員 私ハ大藏大臣ニ對スル質問ハ多々アッタノデアリマスガ、先程申上ゲタ趣意デ打切ッタノデアリマス、他ノ大臣ニ對スル質問ハマダ澤山殘ッテ居ルノデアリマス、此際ドウ云フ御取扱ニナリマセウカ、大藏大臣ニ對スル小笠原君ノ質問ガ殘ッテ居ルト云フコトデ、其間ヲ自分トシテハヤッタノデアリマス、大藏大臣ガ居ラレナイノデアリマスカラ、ヤハリ小笠原君ハ大藏大臣ノ次會ニ見エルマデ御保留ニナリマスカラ「イヤサウヂヤナイ時間ノ關係ガアルカラ」ト呼フ者アリ、大藏大臣ガ見エナクナッタラ……今ノ御話トシテハ、大藏大臣ノ質問ガ濟メバ、政府委員ニ對シテ小笠原君ノ質問ガ殘ッテ居ル、ソレヲ御繼續ニナルノデアリマス

○松村委員長代理 サウ云フ意味デ御了解ヲ願ッテ置イタノデアリマスカラ、小笠原君ニ御願致シマス——小笠原君

○小笠原委員 大體午前中ノ質問ニ依リマシテ、總體ニ對スル質問ハ終ッタノデアリマス、尤モマダ殘ッテ居ル點モアリマスカ、ソレハ又他ノ機會ニ申上ゲタイノデアリマ

ス、此處デハ税法ノ一ツノニ付キマシテ少シ疑問ノ點ヲ私ハ御尋シテ見タイト思ヒマス、順序ガ條文通りニ行ッテ居リマセウカ、其御積リデ御答ヲ願ヒタイ、第一ニ御伺シタイノハ、法人ニ對スル算出ノ基準ガ七分トセラレテ居ル理由ハ、ドウ云フ點デ七分トサレテ居ルノデアリマセウカ、戰時利得稅、超過所得稅モ一割即チ百分ノ十トナッテ居ルガ、之ヲ百分ノ七トセラレテ居ル根據ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○石渡政府委員 法人ノ昭和五年、六年ニ於キマスル事業年度ノ平均ノ利益ガ、七分以下デアッタ場合ニハ七分ト見ル、其七分トスル根據ハ何處ニアルカ、斯ウ云フ御尋デゴザイマス、百分ノ七ト之ヲ致シマシタト云フコトハ、是ハ一ツノ目安デゴザイマス、如何ナルモノヲ以テ此目安トシタカト、斯ウ云フ御尋デゴザイマスルト、是ハ先般差上ゲマシタ、アノ會社表ノ數字ヲ御覽下サイマシテモ御分リニナリマス通り、昭和五年、六年當時ニ於キマスル總テノ會社ノ資本金、積立金、是ノ合計額ニ對スル利益金ト云フモノハ、四分又ハ五分三厘ト云フヤウナ數字デゴザイマシテ、大體ハ四分ト五分ノ間ニアッタト思フノデゴザイマス、隨ヒマシテ其當時ノ數字ト致シマシテハ、

四分、五分デモ宜イノカト思ヒマスガ、其當時ノ經濟狀況ニ鑑ミマシテ、其數字ヲ直チニ採リマスコトハ如何ト思ヒマシタノデ、茲ニ百分ノ七ト致シマシテ、其間ニ多少ノ餘裕ヲ見マシテ、幾ラカ餘裕ヲ取りマシタ次第デゴザイマス、是ハ一般ノ金利ノ關係モアルノデゴザイマシテ、一般ノ金利經濟ニ付キマシテモ、戰時利得稅ノ施行當時トハ大分模樣ガ變ッテ居ルカト思ヒマス、戰時利得稅法施行ノ時ニ於キマシテモ、大正元年、二年ノ平均ニ於キマシテハ、其當時ノ利廻ト致シマシテハ八分、九分ノ間ニアッタト思ハレルノデアリマス、ソレデ多少餘裕ヲ置キマシテ、一割ト致シマシタヤウニ存ジテ居リマス

○小笠原委員 私ハ今ノ會社ノ實績ガ四分何厘、五分ソコソコデアアルカト云フコトデ、所謂臨時利得ノ基準トセラレルコトハ、少シ根據ガ乏シイ、是ハ矢張金利ノ點モ御考慮ニナッタコトガ主タル點ト考ヘルノデアリマスガ、御承知ノ如ク、是ハ私ガ申スマデモナク利益率ト云フモノト、配當率ト云フモノト違フノデアリマシテ、七分ト云フ利益率ハ、配當ノ方カラ申セバ、五分位ノ程度ニシカ配當ガ出來ナイ、今ノ株ノ利廻其他カラ見マシテモ、大體六分以下ノ利

廻デハ會社ヲ造ル者モナイシ、又株ノ市價ト云フモノモ、拂込以上ニ維持出來ルモノデモアリマセウカ、デスカラ此七分ト云フコトハ、實際非常ニ低キニ過ギテ、甚ダ私ハ穩當デナイト思フノデアリマス、少クトモ積立金トカ、或ハ役員賞與金トカ、サウ云フモノヲ頭ノ中ニ入レテ考ヘテ見ルト、控除サレルノハ八、九分程度デ控除ナサラヌト、金利ノ低下其他ノ上デ御考ニナッテ居ル點ニ達シナイノデナイカ、八九分程度ト云フ所マデ之ヲ引上ゲテ計算スル必要ガアルト云フ風ニ考ヘルノデアリマスガ、此點ニ對スル御所見ハドウデアリマスカ

○石渡政府委員 資本金ニ對シマスル利廻ト申シマスルコトガ、多少語弊ガアルト思フノデゴザイマス、ソレデ成程拂込濟ノ資本金額ダケニ對シマシテ七分ト云フコトデアリマス、仰セノ通り配當ハ五分シカ出來ヌ、六分シカ出來ヌ、斯ウ云フコトニ相成ルカト思フノデアリマスガ、此持ッテ居リマスル資本金額ト云フ言葉ハ、積立金ヲ含メテ居リマスノデ、隨ヒマシテ積立金ヲ含メマシタ資本金額ノ七分ト申シマスノハ、相當餘裕ノアルモノト思ッテ居リマス、隨ヒマシテ七分ト見マシテモ、積立金ヲ含メマシタ資本金額ノ七分ト云フコトデアリ

マスカラ、其中ニハ七分ノ利廻デアッテモ、一割モ、一割五分モ配當ノ出來ル會社モゴザイマス

○小笠原委員

是ハ一般的ノ御説明ナラバ、或ハ首肯出來ルカモ知レナイガ、御承知ノ如ク是ハ利益ガ無カッタモノ、或ハ利益ガ少カッタモノニ付テ言ハレルモノデアリマスカラ、利益ノ無カッタモノ、利益ノ少カッタモノガ積立金ヲ持タウ管ガナイノデアリマシテ、是ハ主稅局長ノ何カ誤解デアルト考ヘマス、其次ニ私ハ御伺致シマシガ、七分ト云フ風ニ一律ニ査定セラレル結果ト致シマシテ、反對ニ一割モ二割モ儲ケテ居ッ者デモ、利益ガ特別ニ増加シテ居ナイト云フト、此臨時利得稅ハ課セラレナイ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、又一割以上儲ケタ者ハ、超過所得稅ヲ取ルデハナイカト云フヤウナ御説明ガアルカモ知リマセヌガ、併シ九分九厘儲ケタ者ハ、超過所得稅モ取ラレナイシ、臨時利得稅モ取ラレナイ、斯ウ云フコトニナッテ、永久ニ七分ト——假ニ九分九厘ナレバ、二分九厘ノ差ト云フモノハ——此法人ハ特別ノ恩惠ニ浴スル、斯ウ云フコトニナルノデアリマシガ、是等ノ點ニ付テハ、ドウ云フ風ニ御考ヘニナッテ居リマスカ

○石渡政府委員

最初ノ點ハ、モウ一應申上ゲテ置キマスガ、昭和五年、六年當時ニ於キマスル百分ノ七ト云フ見積ハ、是ハ矢張積立金ヲ引キマシテノ見積デゴザイマスカラ、隨ヒマシテ其處ニ相當餘裕ガアルヤウニ仕組ンデアル、斯ウ申上ゲタ次第デゴザイマス、ソレカラ其次ノ御尋デゴザイマスル、儲ケガ多クモ超過シテ居ナケレバ課稅ヲ受ケナイデハナイカト云フ御尋ハ御尤デアリマシテ、ソレハ此稅法自體ガ所得ノ増加致シタト云フモノニ對スル課稅デゴザイマスノデ、隨ヒマシテ斯ウ云フ臨時稅法ヲ起シマシタ次第デゴザイマスノデ、儲ケノ殖エテ居ラヌト云フモノニ付キマシテハ、利廻ガ多クモ、其分ニ付テハ課稅致シマセヌ

○小笠原委員

其アトノ九分九厘儲ケテ居ルト云フノハ、ドウ云フコトニナリマスカ

○石渡政府委員

前ニ昭和五六年當時ニ九分九厘儲ケテ居ッ、今デモ九分九厘儲ケテ居ルト、其者ノ所得ハ増サナイ、斯ウ云フモノニハ課稅致シマセヌ

○小笠原委員

ソレハ違ヒマス、九分九厘前ニ儲ケテ居ッ、併シ今度ハ一割五分儲ケタ、斯ウ云ッヤウナ場合デアリマス、其時ニハ七分ノ場合デアリマスルト、今ノヤウ

ナ課稅ヲ受ケマスガ、其二分九厘分ダケハ得ラスルト、サウ云フヤウニ私ハ見ルノデアリマスガ、其點ヲ御伺シテ居ルノデアリマス

○石渡政府委員

只今ノ御尋ハ、昭和五年、六年當時ニ於テハ九分九厘儲ケテ居ッ、今度ハ一割五分儲ケテ居ル、サウスルト其五分一厘ト云フモノニ對シテ課稅ヲ課ケマス

○小笠原委員

私ノ言フノハサウデヤナイノデ、七分ト其九分九厘ノ、詰リ一割五分デモ宜イノデスガ、其一割ノモノハ、アナタノ從來ノ御説明ダト云フト、ソレハ一割以上儲カッタモノハ、超過所得稅ヲ拂フカラ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ御話デアル、九分九厘儲カッタモノハ、超過所得稅ヲ拂ッテ居ナイノデアアルカラ、モト九分九厘儲カッタ居ッモノガ、一割五分儲カッタ、斯ウナルト、此モノハ何ヲ拂フカト云フト、五分一厘ダケ拂フト云フコトニナル、所ガ七分儲カッタ居ッモノガ一割五分儲ケルト、ドウ云フコトニナルカト云フト、是ハ丁度八分拂フコトニナル、其點ガイカヌデヤナイカト云フノデス、是ハ必ズ主稅局長モ首肯セザルヲ得ナイ點デアラウト思ヒマス

○石渡政府委員

只今ノ御話デアレバ、仰シヤル通りデアリマス、前ニ九分九厘儲カッ

テ居ッ者ガ一割五分儲ケレバ、五分一厘ニ對スル課稅ヲ受ケル、七分儲カッタ居ッ者ハ、八分ニ對シテ課稅ヲ受ケル、其通りデアリマス、ソレデソレハ要スルニ儲カリ歩合ガ大キイノデアリマスカラ、隨ヒマシテ其大キナ金額ニ課稅ヲ受ケル、斯ウ云フコトニ相成リマス

○小笠原委員

私ノ申ス意味ト云フノハ、是ハ九分九厘ト云フノモ、唯例ニ取リマシタダケノ話デ、九分九厘ト七分ハサウ云フ差別ヲ受ケルコトニナル、ソレヲ長イ間ヤッテ行クコトハ宜クナイデヤナイカ、斯ウ云フコトヲハッキリ意識シテ申上ゲテ居ルノデアリマス、サウスルト七分ハ宜カヌデヤナイカ、七分ノ據リ所ハドウカト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、是ハ超過所得稅ガアルノト對照シテ、宜クナイデヤナイカト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、其次ニ御尋シマスガ、今度ハ一割以上儲ケテ居ルモノハ、此場合デアリマスト超過所得稅ト臨時利得稅ト、兩方ノ課稅受ケルトコトニナリマスガ、如何デアリマスカ

○石渡政府委員

一割以上儲ケテ居ルモノニ付キマシテハ——臨時利得稅ノ賦課ヲ、一割以上儲ケマシテモ、御承知ノ通り臨時利得稅ノ賦課ヲ受ケナイモノモアルカト思ヒ



マシガ、臨時利得税ノ賦課ヲ受ケマスモノニ付テハ、臨時利得税ト超過所得税ト、兩方重ナルコトニ相成リマス

○小笠原委員 恐ラク數字デ出シマシタナラバ私ノ申スノハ從來一割以上儲ケテ居クモノガ、今度ハ一割二分儲ケテ、一割三分儲ケタト云フモノハ、丁度超過所得税ト兩方拂フコトニナル、サウスルト事ニ依ルト、計算シテ見ルト、是モ細カク出シタナラバ一割一分何厘、一割二分何厘ト云フ所ニ行ケバ、數字ハドウカ分リマセヌガ、九分九厘儲ケタモノ、方ガ却テ税ハ少イ、斯ウ云フコトニナリハセヌカ、斯ウ云フ點ヲ私ハ申上ゲルノデス、此點ハドウモ超過所得税ト二重ニナル、二重課税ヲ受ケルト云フコトニナルハシナイカ、是ハ恐ラク間違ナイト思ヒマスガ、其點ヲ確メテ置キタイ

○石渡政府委員 前ニ一割儲カテ居タモノガ、一割二分又ハ三分儲カッタト云フ場合ニ於キマシテハ、其二分又ハ三分ニ付キマシテ兩方ノ課税ヲ受ケマスコトハ、仰シヤル通りデゴザイマス、唯九分九厘儲カテ居ルモノヨリモ、餘計ニ税金ヲ納メルト云フコトハナカラウト存ジマス

○小笠原委員 ソレハ計算ヲ致シテ見ナケレバ、私モ一寸此處デハ思付キマセヌガ、

恐クハ一割一分何厘位儲ケタモノハ、税金ヲ餘計拂フト云フヤウナコトニナッテ、非常ニ不公平ヲ來スコトニナルグラウト思フノデアリマスガ、森田君ガ之ニ關聯シテ質問シタイト云フコトデアリマスカラ……

○森田委員 今小笠原君ニ對スル御答ヲ聽イテ居ルト云フト、資本金ト云フノハ、ヤハリ超過所得ノ計算ヲスル時ノヤウナ資本金ニ私ハ聽取シタ、即チ拂込資本ニ留保所得ヲ全部加ヘタモノヲ資本金トシテ計算ラシテ、今度ノ利得税ヲ課税スレバ、ヤハリ超過所得税ト同ジヤウナモノニナル、果シテサウデアアルナラバ、新會社ハ工合ガ惡イト思フ、舊會社ハ色々別途積立金トカ、後期繰越金ト云フモノヲ相當有ッテ居ル、然ルニ新會社ハサウ云フ資本ヲ有ッテ居リマセヌ、サウスルト既設ノ古イ會社ノ方ガ税率ガ安クナルコト、結果ニ於テ同ジコトニナリハシナイカト云フコトヲ氣付イタノデアリマスガ、留保所得ヲ超過所得ノヤウニ資本ニ加ヘテ計算スルノデアリマスカ

○石渡政府委員 ソレハ只今御答致シマシタ通り、積立金ト云フモノハ全部加ヘテ計算シマス、ソレデアリマスカラ、超過所得税ノ計算ト同ジヤウナ資本金ノ計算ヲ致ス見込デアリマス

○森田委員 サウスルト今度ノ税ノ趣旨ノ、臨時利得ニ對スル税ト云フコトハ、ソコデ没却シテシマフコトニナルト思フ、臨時ノ利得ト云フコトナラバ、拂込資本ハ對等ニ見テ行カナケレバナラヌガ、古イ會社等ニ見テ行カナケレバナラヌガ、古イ會社ホド積立金、繰越金ト云フモノヲ澤山有ッテ居ルコトハ議論ノ餘地ハアリマセヌ、新會社ハ儲カテ居タモノ、若ハ儲ケテ居テモ、其七分ニ達シテ居ラヌモノハ、昭和六年ノ平均利得ヲ七分ト見テ計算スルノデアリマス、サウスルト其後ニ出來タ新會社ハ積立金ナドハアッテモ少ナイトシナケレバナラヌ、殆ド無イトシナケレバナラヌ、サウスルト非常ニ税率ガ變ッテ來ルト同ジ結果ヲ生ジテ來ルト云フコトニ、御氣付ニナラヌデアリマセウカ、一方五十萬圓資本金ヲ拂込ンデ居ル會社ガ、五十萬圓積立金ヲ持ッテ居ルト假定スレバ、ソレハ百萬圓ト同ジコトニナル、即チ根柢ノ薄弱ナ新會社ハ重キ税ヲ受ケル、併ナガラ今政府ガ説明スルヤウニ、臨時ノ利得者ニ課税スルト云フ趣旨トハ、今度ハ違ッテ來ルト云フコトニ當局ハ御氣付ニナラヌデアリマセウカ

○石渡政府委員 森田サンカラ色々御意見ガアリマシタガ、要スルニ會社カ一割以上利益ガアルカドウカト申シマスル點ニ付キ

マシテ、利益ヲ見テ行クト云フコトハ、其會社ガ實際上運轉シテ居ル所ノ金ニ對シテ幾ラ儲カッタカ、例ヘバ拂込濟ノ資本金額五十萬圓、積立金五十萬圓アル、其會社ハ百萬圓ノ金ヲ動かシテ、サウシテソコニ幾割儲ケガアルカ、斯ウ見テ行カザルヲ得ナイト思フノデゴザイマス、積立金其他ハ外シテ、拂込濟ノ資本金額ダケ見テ行ク譯ニハ、是ハ到底行カヌト思フノデアリマス、隨ヒマシテ今日超過所得税ヲ計算スル場合ニ於キマシテモ、其會社ガ實際ニ動カシ、運轉シテ居ル所ノ金ガ幾ラデアラウカ、ソレニ對スル儲ケ歩合ト云フモノハ幾ラデアラウカ、斯ウ云フモノヲ見テ行キマシテ、特ニ餘計儲カッタ場合ニ於キマシテ課税ヲ致ス、斯ウ云フコトニ致シテ置キマスコトハ御承知ノ通りデアリマス、又サウ云フ行キ方ヨリ致方ガナイト思フノデアリマ

○森田委員 分ッテ居リマス、今ノヤウナ御説明ハ超過所得ノ時ニ左様ニヤル、今度超過所得ト同ジヤウニ、矢張新會社ノ税率ヲ餘計ニサレルト、同ジ結果ニナルノデハナイカト質問シタノデアリマスガ、ソレハ大抵分ッテ思ヒマスカラ……資本金ノ古イ會社程今ノヤウニ税率ヲ澤山持ッテ居リマス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

カラ、其モノハ百分ノ十ト云ウテモ、百分ノ五ニナルカ、三ニナルカ分ラナイガ、新會社ニ比シテ税率ガ安クナルノト結果ハ同ジコトデアアル、隨テ臨時利得者ニ稅ヲ課セルノトハ、趣旨ガ違ウテ來ルノデハナイカト言ウタノデス、アナタノヤウニ資本勘定カラ云フナラバ、超過所得ニ對スル計算ト同ジ計算ニナル、根柢ノ薄弱ナ新會社ニ持ッテ行ッテ、却テ高イ稅ヲ課セル結果ニナラスカ、同ジ會社デモ、古イ會社ト新ラシイ會社ト竝ンデ居ル時ハ、結果ニ於テ新會社ガ稅率ヲ高ク拂ッテ行クト云フコトニナルノデハナイカ、斯ウ言ウタノデアリマス、是ハ能ク研究サレタラ分ルト思ヒマス

○石渡政府委員 其點ニ付テ申上ゲテ置カナケレバナラヌモノト思フノデアリマスカ、森田サンノ仰シヤルヤウニ、決シテ舊會社ガ必ズ積立金ヲ餘計ニ持ッテ居ルモノデナク、又新會社ガ必シモ貧弱デアルトモ言ヘヌト思フノデアリマス、アナタノ新設會社ト言ハレルノハ、何時頃ノ會社ヲ新設會社ト言ハレルノカ能ク分リマセヌガ、昭和七年以降ニ新設政シマシタ所ノ會社、全ク事業ヲ新ニ起シタ所ノ會社ニ付テ、其會社ハ百分ノ七ダケシカ決メテ貫ヘナイト云フコトガ、不都合デハナイカト云フ御考ガ

アルノデハナイカト思フノデアリマスガ、新會社——全ク新シク事業ヲ始メマシタ新會社ト云フモノハ、サウ容易ニ利益ガ舉ルモノデモナイト思フノデアリマス、ソレ等ノ會社ニ關シマシテ色々考慮ハ致シマシタガ、此程度ニ於テ、格別特ニ寬嚴ハナイ見込デゴザイマス

○小笠原委員 先刻ノ私ノ御話ノ中ニ少シ誤解ガアルカモ知レマセヌガ、私ノ言ヒマシタ意味ハ、九分九厘(笑聲)又同ジヤウナコトヲ言フヤウデスガ、九分九厘マデハ二重課稅ヲ受ケルコトニナル、片方ノ一割ニナラヌモノハ二重課稅ヲ受ケル、斯ウ云フ意味デスカラ御承知ヲ願ヒマス、次ニ利益算定ノコトニ付キマシテ御質問ヲ申上ゲマ

ス、一體銷却ト云フコトハ、ドノ程度マデ御認メニナルノカ、是ハ何カ内規デモアツテ、此程度ハ利益ト見ナイト云フコトニデモナツテ居ルノデアリマスルカ、或ハ手心デオヤリニナツテ居リマスカ、此點ヲ承リタイト思フノデアリマス

○石渡政府委員 銷却ニ付キマシテハ、一體稅務署ニ於キマシテ、一定ノ標準ヲ持ッテ居リマス、其標準ニ當嵌メマシテ、銷却ヲ認メタリ認メナカッタリシテ居リマス

○小笠原委員 保險會社デアルトカ、銀行デアルトカ云フヤウナ所デハ、競ッテ銷却ヲ餘計シテ、自分ノ財産ノ評價ノ低イト云フコトヲ自慢ニシテ居ル、ソレハ物ニハ程度ガアリマスカラ、例ヘバ四分利公債ガ八十五圓位ノモノガ七十何圓臺迄ナツタコトガアツテモ、サウ云ツタコトハ差支ナイト思ヒマスガ、サウ云フ程度マデ銷却スルコトハ、一種ノ利益ノ隱匿ニモナツテ、考方ニ依ッテハ、實際上脫稅ヲシテ居ルト云フヤウニ見ラレヌデモナイ、此點ヲドウモ手心デオヤリニナルト云フト、ドノ邊マデ手心ヲ御加ヘニアリマセウガ、公平ヲ缺ク場合ガ甚ダ少クナイノデ、斯ウ云フ風ナ臨時利得稅デモ取ッテ、税金增收ノ目的ニ充テヨウト云フヤウナ場合ニハ、銷却ト云フコトニ付テ餘程手心ヲサレテ、世間ガ見テ餘リ銷却ヲシ過ギルデハナイカト思フ程度マデ、之ヲ利益外ニ置キ、銷却セシメテ行クト云フコトハ如何ナモノカト考ヘルノデアリマス、ケレドモ銀行ニ付テハ、或ル程度マデ信用ノ維持ト云フコトモアリマスカラ、或ル程度マデ銀行、保險會社ハ認メテ宜イヤウデアリマスガ、程度ヲ越ストサウ云フ弊害ガ非常ニアルヤウニ思ヒマスノデ、銷却ノ點ニ付テハ、出來得ルナラバ標準ト云フモノヲ世間

ニ明ニサレテ置クコトガ、大變宜イノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、其次ニ伺ヒマスノハ、内部積立金ト云フモノガ各所ニアリマスガ、斯ウ云フモノハドウ云フ風ナ御取扱ニナツテ居リマスカ

○石渡政府委員 銷却ノ點ニ付キマシテ色々御注意ヲ戴キマシタガ、十分不公平ノ起ラヌヤウニ致シタイト存ジテ居リマス、其次ニ御尋ノアリマシタ内部積立金ト云フモノヲ、ドウ云フ風ニ扱フカト云フコトハ、詰リ考課狀ニ載ッテ居ラナイ所ノ、所謂秘密留保金ト吾々ノ方デ言ッテ居ルモノカト存ジマスガ、是等ニ付キマシテハ、矢張普通ノ積立金ト同様ニ扱ッテ行ク積リデアリマス

○小笠原委員 是ハ私共銀行ニ居ッタ時ノ經驗カラ言フト、例ヘバ爲替相場デ之ヲ隱シテ置クト云フコトニナルト、殆下大藏省ノ方デハ査定サレナイ、爲替相場デ餘程大キナモノガ隠セル、サウ云フコトニモナルノデアツテ、斯ウ云フ内部積立ナドハ、餘程嚴重ニオヤリニナラヌト、又之ヲ御調ニナル方ガ餘程確ッカリシテ居ラヌト云フト、内部積立ハドウ云フ風ニスルカト云フコトガ分ラナイ、ソシテ初メテ聞イタト云フヤウナ者モ中ニハアル、斯ウ云フコトモ臨時利得稅ヲ取ル場合ニハ、甚ダ宜クナイト考

ヘルノデアリマス、或ハ未拂利息ナドト云フモノガアル、私ガ或ル銀行ヲ検査シタ所ガ、定期預金ノ利息ガ八分ニ附イテ居ル、八分ノ定期預金ナドアル筈ハナイ、是ハ定期預金未拂利息ト云フモノニ利益ヲ隠匿シテ居ルニ相違ナイノデアリマス、此邊ヲ能ク御取扱ニナル上ニ於テ、餘程御注意ヲ戴カナケレバナラヌト思フノデアリマス

〔松村委員長代理退席、委員長著席〕

次ニ課稅率ヲ百分ノ十トセルコトニ付キマシテ、少シ御尋致シマス、今度ノハ法人ト個人トガ、一樣ニ百分ノ十ニナッテ居リマスガ、是ハ超過所得稅ガ百分ノ十ト云ッテヤウナ法人ノ關係モアッテ、超過所得ヲ寄セテ見ルト、丁度戰時利得ノヤウニ百分ノ二十ニナルカラ、ソレデ法人ノ方ハ百分ノ十ガ、前ノ戰時利得ノ百分ノ十五ニ較ベレバ、五減ッテ居ルト云フヤウナ考カラ出テ居ルノデアリマセウカ、ソレトモ一律ニ取扱ッテ方ガ宜イト云フヤウナ御考カラ出テ居ルモノデアリマセウカ、私共擔稅力ノ方カラ見ルト云フト、百分ノ十、斯ウ云ッテ稅ヲ同一ニ御取扱ニナルコトハ穩當デナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、其點ヲ一寸御伺致シマス

○石渡政府委員 稅率ヲ百分ノ十ト致シマ

シタコトニ付テ御尋デゴザイマスルガ、先ヅ斯ウ云フヤウナ種類ノ稅法ト致シマシテハ、比較的稅率ガサウ高クナイト思フノデアリマスガ、此稅率ヲ一律ニ致シマシタコトハ、法人ノ利得、個人ノ利得、各々算出ノ仕方ハ相違シテ居リマスガ、其利得金額ニ對シマシテ、稅率ヲ適用致シマスル場合ニ、之ヲ異ナル稅率ヲ用ヒルト云フコトニ相成リマスレバ、其異ル理由ヲ何處カニ見出ス必要ガアルト思フノデアリマス、先ヅ今日ノ負擔狀況カラ見マシテ、法人ニ付キマシテモ法人ノ普通所得稅、超過所得稅ト云フヤウナモノモゴザイマス關係上、ソレヲ見合ヒマシテ、之ヲ區分スル必要ハナイ、一律デ宜イト云フ所カラ致シマシテ、之ヲ一律ニ致シマシタ次第デゴザイマシテ、決シテ超過所得稅ノ稅率ヲ平均致シマシテ、倍ニナルト云フヤウナ計算ヲ致シタ譯デハゴザイマセウガ、其超過利得稅ノ負擔モ考ヘマシテ、法人ノ方ヲ重クスルト云フコトモ如何カト思フタモノデゴザイマスカラ、之ヲ同一率ニ致シタ次第デゴザイマシマス

○小笠原委員 其點ハソレダケニ致シマシ

テ、次ニ超過所得ノ方ハ累進率ニナッテ居ルノデゴザイマスガ、之ニ累進率ヲ設ケラレナカッタ理由ハ、ドノ邊ニアルノデアリマス

カ、或ハモウ是ハ極ク短期間デアルカラ、斯ウ云フヤウニ單純ニヤッテ行カウト云フヤウナ意味合デアリマスカ、ソレトモ何カ稅法ノ御考ガアッテ、累進率ヲ設ケラレナカッタデアリマスカ、此點ニ關スル御考ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○石渡政府委員 只今小笠原サンノ仰シ

ヤッタ通り、一應此程度ノ徵稅デ宜クハナイカ、斯ウ考ヘマシタ次第デゴザイマス、之ヲ累進稅率ニ致スト云フコトハ、今日法人ノ超過所得ガ既ニ累進率ニナッテ居リマスノデ、此方モ再ビ累進率ニシテ課稅致シマスコトハ、此負擔ノ上カラ見テ、如何カト思フタモノデゴザイマスカラ、之ヲ比例稅率ニ致シタ次第デゴザイマス

○小笠原委員 其次ニ私ガ御伺致シタイノ

ハ、例ノ法人超過利益ノ中、二千圓ト云フモノヲ控除シテアル問題デアリマス、是ハ能ク是ト比較サレル戰時利得稅ノ方ハ、定率控除ト云フコトニナッテ居ルガ、此方ハ定額控除ニナッテ、二千圓控除サレルコトニナッテ居ル、是ハ私ガ申スマデモナク、法人ノ資本形態ト云フモノハ、實ニ差別ガ多イノデアッテ、非常ニ小サナモノカラ、非常ニ大キナモノデアアルノデゴザイマスカラ、森田君モ申サレマシタガ、何百萬圓ト云ッ

タヤウナ大キナモノニ、二千圓ト云フ控除ハ、何ノ意味カ意味ガ分ラナイト云フヤウニ、私共ニハ見エルノデアリマス、何カ之ニ付テ特別ナ根據デモアリマスノカ、或ハ徵稅上簡單ニヤッツケヨウト云フヤウナコトデアッタノカ、其邊ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○石渡政府委員 只今御話モゴザイマシタ

ガ、戰時利得稅ノ際ニ、定率ヲ控除シテ居ッタノデハナイカト云フ話デゴザイマス、アノ定率控除ト云フモノガ、果シテ之ニ當リマスルノカ、又ハ免稅點六千圓、其免稅點以上ノ時ハ、定額控除ハ二千圓デアアル、デ此免稅點ヲ六千圓トスルト云フ條件ガゴザイマスガ、ソレガ之ニ類似シテ居リマスルノカ、實ハ私共モ多少迷ッタノデゴザイマス、此二千圓ヲ控除スルト云フコトハ、如何ニ超過利得ト云ヒマシテモ、ソコニ利得ガアルト云ッテ所デ、例ヘバ一圓、十圓ト云フヤウナ、極メテ少額ナモノデアッデモ、ソレヲ加ヘテ課稅致スト云フコトハ、本稅ノ趣旨ニ鑑ミマシテ穩カデナイ、是ハ矢張幾ラカソコニ餘裕ヲ置キマシテ、相當額以上ノモノガ即チ課稅サレル所ノ利得デアアル、斯ウ考ヘルコトガ、先ヅ常識カラ行キマシテモ、亦課稅ノ實際上ノ便益カラ行キ

マシテモ、其方が尤ダト思ヒマシテ、此二千圓ト云フコトヲ規定シタノデ、一ニハ少額利得者ノ負擔ヲ緩和スルト共ニ、併セテ

稅務ノ實際上ニ於テ、官民相互ノ煩瑣ヲ避ケタイト思ッテ次第デゴザイマス、外國ノ立法例等ニ付テ之ヲ考ヘテ見マシテモ、ドウモ定率控除ト云フコトハアリマセヌデ、皆定額控除ヲ行ッテ居ル模様デアリマス、ソレナラバ此前何故定率控除ヲ致シタカト云フ理由ニ付キマシテハ、其當時ノ文獻ヲ見タノデゴザイマスガ、ドウモハッキリシタコトハアリマセヌガ、色々類推致ス所デハ、物價ガ非常ニ暴騰致シマシテ、殆ド三倍位ノ物價ニナッテ居リマスノデ、隨テ其程度ノ儲ケト云フモノハ、是ハ普通ノ儲ケトシテ見テ行ッたらバ宜クハナカラウカト云フ考ガアッタノデハナイカト思ッテ居リマス、ドウモアノ定率控除ヲ致シマスル立法ノ趣旨ト申シマスモノハ、實ハ今日吾々ト致シマシテハ、餘リハッキリ致シテ居ラヌノデアリマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○小笠原委員 其問題ハソレダケニ致シマシテ、次ニ是ハ私ハ能ク條文ガ分ラヌカラ御同致スノデアリマスガ、第四條第二項第三號、是ハ多分法人ノ資本ノ増減ノ場合ニ付テノ條文デアルト思ヒマスガ、此減資ノ

場合、増資ノ場合ニ付テ、私共ニ分り易ク御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○石渡政府委員 第三號ニ付テ御説明致シマス、此第三號ノ規定ハ、資本ノ増減ニナリマシタ場合デアリマシテ、例ヘバ昭和五年、六年當時ニ、百萬圓ノ資本デ十萬圓儲ケテ居ッテ、此會社ガ現在ハ一千萬圓ノ資本金デアル、斯ウ云フ場合ニハ、其前ニ百萬圓デ十萬圓儲ケテ居ッテ割合、即チ一割ト云フモノヲ、詰リ今度ノ一千萬圓ノ資本ニ付テ百萬圓ニ該當致シマスノデ、百萬圓ト云フモノヲ昭和五年、六年當時ノ儲ケトシテ、ソレヲ超過シタモノニ對シテ課稅ヲ致ス、斯ウ云フコトニ規定致シマシタ條文デゴザイマス、減資ノ場合モ、ソレト同様ノ積リデゴザイマス、ソレカラ終ヒノ方ノ「此ノ場合ニ於テ第一號ノ規定ノ適用ニ付テハ」ト云フ條項ハ、若シ最初百萬圓ノ會社ガ五萬圓シカ儲ケナカッタ、其率ハ百分ノ五デアルト云フ場合ニ於キマシテハ、ソレヲ百分ノ七マデ見テ行ク、斯ウ云フコトデゴザイマシテ、即チ今資本金額ガ一千萬圓ノ場合ニ於テハ、七十萬圓マデハ元ノ率ガ百分ノ五デアッテ、即チ五十萬圓ト云フモノヲ見テ行クノデハナイ、七十萬圓マデハ元ノ昭和五年、六年當時ノ平均ノ利益ト見テ行ク、斯

ウ云フ計算ヲ致ス積リデゴザイマス

○小笠原委員 今ノ御説明ニ依ルト、減資ノ場合ハ極ク合理的デアリマスガ、増資ノ場合ハ、多クハ詰リ利益ヲ少ナクシテ、法人ノ超過所得稅等ヲ免レル爲ニ増資ヲスル、此場合ニ詰リ控除スル基本ヲ多ク見ルト云フコトニナルノハ、甚ダ不都合ダト思ヒマスガ、何等ノ不都合ハゴザイマセヌカ

○石渡政府委員 此稅法ガ資本ノ増資ヲ致シマシタ會社ニ付キマシテ、稅金ガ輕クナルノデハナイカト云フ御尋デゴザイマスガ、如何ニモサウ云フ點モゴザイマスガ、此點ヲ防ガウト致シマスコトハ、矢張明年度ノ其増資ヲ致シマシタ時ノ金額ニ對シマシテ、之ヲ控除シテ行ク額ハ百分ノ七ト見テ行クト云フヤリ方モ、一ツノ行キ方ダト思ヒマス、サウ云フ方法ニ付キマシテ、隨分論議致シテ見タノデアリマスガ、ドウモ會社ノ發展ト云フモノヲ妨ゲル嫌ガアリマス、又此稅ハ臨時稅デアリマスノデ、左程此爲ニ特別ニ脫稅ヲ企テルモノモアルマイト思ヒマシテ、實ハ此前ノ戰時利得稅法ト同様ノ規定ニ致シテ、其點ニ關シマシテハ別段規定ヲ置カナカッタ次第デアリマシテ、此前ノ戰時利得稅施行ノ結果カ

ラ見マシテモ、此點ハ脫稅ヲ致ス爲ニ増資ヲ行フト云フコトハ、先ヅナカラウト思ヒマス

○小笠原委員 今御話ノヤウニ會社ノ健全ナ發達トカ、何トカサウ云フ點カラ云ヘバ、斯ウ云フ稅金ヲ課サナイ方が宜イ、既ニ課スルコト、ナッタ以上ハ、ドウシテモ公平ニ課シナケレバナラヌ、現ニ超過所得稅ニ對シ、法人ガ超過所得ヲ免レヤウトシテ居ル事ハ、恐ラク主稅局長モ御存ジナイコトハナイデセウ、ソレデアリマスカラ此場合今ノヤウナコトニナリマス、甚ダ面白クナイト私ハ思フ、此場合デモ矢張七分ト看做スト云フコトニデモシナケレバ、此稅法ハ甚ダ不備デアルト思フノデアリマス、此點ニ付テハ適當ニ御改メヲ願ハヌトイカヌト思ヒマス、尙一寸モウ一ツ二ツアリマスカラ、次ノ質問ニ移リマス

○石渡政府委員 其前ニ一寸一言申上ゲマス、是ハ増資ト申シマシテハ、多少語弊ガアルト思ヒマスガ、例ヘバ其會社ハ積立金ヲ有ッテ居ル、其狀態ト、特ニ増資ヲシナクテモ、其會社ガ有ッテ居リマス積立金ヲ増資ヘ振替ヘマシタノトハ、負擔額ト云フモノハ同ジデアリマス、隨ヒマシテ每期積立テテ行キマス積立金ニ致シマシテモ、例ヘバ

ラ見マシテモ、此點ハ脫稅ヲ致ス爲ニ増資ヲ行フト云フコトハ、先ヅナカラウト思ヒマス

増資ヲ制限シマスレバ、積立金モ多少制限  
スル必要ガアルト思ヒマス、ソレ等ニ付キ  
マシテハ、實行上中々容易デナイ點ガアル  
ヤウニ思ヒマシタノデ、實ハ斯様ニ致シタ  
次第デアリマス

○小笠原委員 主税局長ハ積立金ヲ以テ増  
資スルト御考ニナルカラ、サウ云フコトニ  
ナリマスガ、サウ云フ會社ハ餘リ世ノ中ニ  
澤山アリマセヌ、此事ハ實情ヲ御調べ下サ  
ルコトヲ御願致シマス、其次ニ一寸御尋シ  
マスコトハ、是ハ私共先刻モ大臣ニ御尋シ  
タノデアリマスガ、此臨時利得税ハ、御承知  
ノ通り一方ニハ平年ダ、初年ダト云フコト  
ニナッテ、ドウモ永久性ヲ有ツヤウニ考ヘラ  
レル、ドウシテモ是ハ年限ヲ二年、三年ト  
限ッテ戴カナケレバナラヌト思ヒマスガ、大  
藏當局ハ年限ヲ切ッテハ何カ困ル事情ガア  
ルノカ、ソレトモ先ヅ一應ハ斯ウ云フコト  
ニシテ置イテ、ズル／＼トヤッテ行クト云フ  
コトノ肚ト云フモノガアルノデアアルカ、其  
點ヲ特ニ肚ヲ割ッテ御答ヲ願ヒタイ

○石渡政府委員 平年度ト云フ言葉ハ、大  
分耳障リニナル言葉デアアルコトハ、仰シヤ  
ル通りデアリマス、平年度ト云フ言葉ハ、  
實ハ課税額ヲ算出スルニ付キマシテ、先ヅ  
平年度ト云フモノヲ算出シマシテ、ソレカ

ラ初年度ニ決定サレルモノガ幾ラト、斯ウ  
シテ行クノデアリマスカラ、最初カラ初年  
度幾ラ、平年度幾ラト、斯ウ算出ニナッタ次  
第デアリマシテ、此税法ハ決シテ永續性ア  
ル税法デハナイト思ヒマス、昭和五年六年  
ト云フモノヲ基準ニ致シマシテ、ソレカラ  
儲カッタモノニ付テ課税シテ行クト云フ、斯  
ウ云フコトデゴザイマスカラ、是ガ相當永  
ク續キマスコトハ、却テ負擔上如何カト思  
ハレマス、ソレデアリマスカラ、ソレ等ノ點

カラ考ヘマシテ、此税法ノ存續期間ト云フ  
モノハ、自ラ制限ノアリマスコトハ當然デ  
アルノデゴザイマスガ、ドウモ只今ノ所、二  
年三年デ之ヲ打切ルト云フコトモ、一寸言  
切レナイ状態デアリマス、先ヅ當分ノ間、  
二年、三年ハ續クモノト思ヒマス、或ハモッ  
ト短イトモ思ヒマス、多少モウ少シ永クナ  
ルカトモ思ヒマスガ(笑聲)其邊ノ所ハ先ヅ  
經濟情勢ノ變化ニモ依ルコト、思ヒマスノ  
デ、一應是ハ當分ノ内ト、斯ウ致シテ置イ  
タノデアリマス、餘リ肚ヲ割リ過ギマシ  
テ……

○松村委員 一寸今ノ事ニ關聯シテ一言御  
尋致シマス、最初此案ヲ藤井藏相ガ立テラ  
レタ時ニハ、三年乃至五年ト云フコトハ、  
何カノ機會ニ大藏省カラ内示シテ居ッタノ

デハナイデスカ、十一月頃ノ新聞雜誌等ニ  
ハ、三年、五年ト云フコトガ出テ居リマシ  
タガ、ソレガ前藏相ガ亡クナッタ頃カ、或ハ  
其後カラカ、大藏省ノ方針ガ頗ル曖昧ニ  
ナッタノデハナイノデスカ、内輪ノ事デハア  
リマスガ、前ニ何等カノ機會ニ、三年トカ  
五年トカ云フコトヲ、發表或ハ内示シタコ  
トハアリマセヌカ、新聞雜誌ニ左様ナ事ガ  
屢見エテ居リマスカラ、一應ハッキリ御答  
ヲ願ヒマス

○石渡政府委員 サウ云フ事ハナイト思ッ  
テ居リマス

○小笠原委員 ドウモ自ラ其稅ガ定ッテ行  
クト云フコトデアリマシテ、中々増税問題  
ハ、サウ簡單ニ議會ヲ通ルモノデハナイ、  
恐ラク次ノ増稅案ヲ出スコトハ容易デナイ  
カラ、三年、五年ハ愚カ、モット非常ニ永ク續  
クト見ナケレバナラヌ、ソレデアリマスカ  
ラ、斯ウ云フ臨時利得税ノ性質カラ見テ、  
私ハ施行年限ヲ決メルト云フコトハ、絶對  
ニ必要ナコト、考ヘマスガ、是ハ意見デア  
リマスカラ、左様申上ゲルダケニ止メテ置  
キマス、其次ニモウ一ツダケデ終リマス、  
昭和五、六年ガ標準ニナッテ居リマスルガ、  
個人ノ所ヲ讀ンデ行クト、昭和六年デ二年  
デアッテ、四年ト五年ガ標準ニシテ居ルヤウ

ニ取ラレマスガ、ソレハ法人ト個人ト違  
フノデアリマスガ、六年デ二年ト云フノ  
ハ、五年六年ト云フノデアリマスガ、其言  
葉ガハッキリシナイノデ伺フノデアリマス  
ガ、違フトスレバ何故違フノカ、ソレヲ御  
尋シタイ

○石渡政府委員 洵ニ御尤ナ御尋ト存ジマ  
ス、是ハ昭和六年以前ト云フモノヲ基準ニ  
致シマシタガ、御承知ノ通り稅務署ニ於キ  
マシテ、其所得ヲ決定致シマスニ付キマシ  
テハ、大體ニ於キマシテ前年ノ實績ニ依リ  
マシテ、サウシテ其年ノ分ヲ計算スルト云  
フ方法ヲ用ヒタ方宜イカト思ヒマスガ、  
其年ノ分デアアルケレドモ、其實績ハ前年ノ  
分デアアルト云フコトデゴザイマシテ、隨ヒ  
マシテ茲ニ課稅ヲ致シマスル分ニ付キマ  
シテハ、昭和五六年ニ稅務署デ決定致シ  
マシタ、其所得ヲ基ニシテ計算シテ行キ  
タイト思ヒマス、思ヒマスケレドモ、其  
所得ノ内容ハ多クノ場合ニ於キマシテハ、  
其前年デゴザイマスルカラ、四年、五年ノ  
業績ト云フモノガ、其決定ノ中ニハ多ク含  
マレテ居ルコト、思ヒマス

○小笠原委員 此標準ニ昭和五年、六年ト  
云フ、所謂金解禁ノ恐慌時代ヲ御採リニナ  
タノハ、是ハ如何カ別ニ理由デモアッテノコ

トデスカ、或ハ此時分ニ採ッテ置ケバ、税金ガ餘計取レルト云フ、增收第一主義カラ來テ居ルノデアリマスカ、是ハモウ少シ新シイ所ヲ標準ニ御採リニナル方宜イト考ヘル、尤モ時局ノ好影響云々ト云フコトデ、時局ノ好影響ト云フコトヲ一番ニ御採リニナル方宜イト云フノカ、ソレトモ增收第一主義デ彼處ヲ御採リニナッタノデアリマスカ、是モ腹ヲ割ッテ御話ヲ承リタイ

○石渡政府委員 是ハ強テ增收ヲ求メタト云フ譯デハゴザイマセヌ、今日一部産業ノ好影響ヲ呈シ始メタノハ昭和七年ニ入ッテカラデアリマス、隨ヒマシテ此好景氣ノ始マル直近ノ状態ヲ採ッテ方宜イ、斯ウ考ヘマシテ昭和五年、六年ヲ採リマシテ次第デゴザイマス、此前ノ戰時利得稅ニ於キマシテモ、大正三年ニ戰爭ガ始リマシテ、其始タ直近ノ大正二年、明治四十五年ノ二箇年分ヲ平均致シマシタノデ、其例ニ倣ヒマシテ昭和七年ノ前二箇年ヲ標準ニ致シタノデアリマス、決シテ税金ヲ餘計取ラウト思ッ

打切リニナルヤラ、或ハモット長ク掛ルカモ知レヌ、斯ウ云フ御話デアアル、一方カラ聽クト、國策審議會ト云フモノハ、非常ニ御急ギニナルヤウデ、而モ其主ナルモノハ何デアアルカト云ヘバ、今現ハレテ居ル問題トシテハ國防ニ關スル問題、一方ハ稅制整理ニ關スル問題等ガ非常ニ強調サレテ居ルノデアアル、一體伺ヒタイノハ、一方ニ今ノ高橋大藏大臣ガ、前ニ御在任中ニ稅制整理委員會ト云フモノヲ省内ニ御設ケニナッテ、稅制ニ關スル一般ノ御調査ヲ急イデ居ラレタノデアリマスガ、ソレガ何處ヘヤラ消エテシマヒマシタ折、突如トシテ藤井藏相ニ依ッテ、臨時利得稅ト云フモノガ創設サレタノデアリマス、而シテ現在カラ考ヘテ見マスルト、何カ根本問題ニ觸レルト、稅制整理委員會ニ懸ケルンダ、斯ウ云フ御話デアアル、稅制整理委員會ニ於テハ、此臨時利得稅ヲ存續スルカ、改廢スルカ、ソレハ其時ニ考ヘル、斯ウ云フコトニナッテ居ル、ソレデ半面ノ期間ノ方カラ伺ヒマスト、何時マデ續クカ分ラヌト云フ、國策審議會ニ懸ケタ結果、是ガ續クト云フコトデアアルノカ、改廢ヲ行フト云フ意思ガ最近ニアアルノカナイノカ、此點ガドウモハッキリシナイ、是ハ政務次官ノ方カラ一ツ伺ッテ方早カラウト思ヒマ

○矢吹政府委員 臨時利得稅ヲ當分ノ中行フト云フ、其言葉ニ付テノ御質問デアリマスガ、當分ノ中ハ所謂當分ノ中デ、永續シナイモノト心得テ居リマス、何時迄モ臨時利得稅ヲ置イテ、其利得ヲ取ルノヂヤナイカト云フ御懸念ガ非常ニ深イノデアリマスガ、私共此稅ヲ起スニ付テノ内輪ノ相談ノ場合ニ、決シテ左様ナコトヲ豫想シタ者ハナイノデアリマシテ、所謂臨時利得ト云フノデ、ホンノ當分ノ間稅ヲ課ケル、ソレデ斯ウ云フ稅ヲ課ケルニ付テノ理由ハ、モウ既ニ色々ノ機會ニ於テ大藏大臣其他カラ申上ゲタラウト思ヒマスガ、今日時局ノ影響ヲ受ケマシテ、一方ニ相當ナ利得ヲ占メテ居ル人々ガアルト云フ、此現狀ハ見遁ス譯ニハ參ラヌノデアリマシテ、左様ナ特ニ時局ノ影響ニ依ッテ利得ヲ占メテ居ル人カラ、若干ノ稅ヲ取ルト云フコトハ、至極至當ナコトデアアルト、斯様ニ考ヘテ居リマス、左様ナ狀況ト云フモノハ永續スベキ性質ノモノデハナイト思フ、時局ノ影響ナルモノハ、或ル限ラレタル期間デアアルト云フコトハ豫想サレルノデアリマシテ、隨ヒマシテ此稅ヲ實施致シマス期間モ、自ラサウ永久的ノモノデナイト云フコトニ、御承

○小笠原委員 昭和五六年ヲ標準ニ採ル爲ニ、其結果トシテ色々方面ニ非常ナ不均

衡、不公正ガ澤山出テ來ルコトハ、是ハ度度皆サンカラモ言ハレタ通りデアリマス、デアリマスルガ、本日ノ所ハ先ヅ此程度ニ止メテ、更ニ後日機會ヲ得テ質疑ヲ致スコトニ御許シテ願ヒタイト思ヒマス

○岡田委員長 許シマス

○大山委員 關聯問題デ一寸……

○大山委員 先程大藏大臣ニ對スル質問ハ、大藏大臣トノ間ノ意思ノ疏通ヲ缺イタ爲ニ止メマシタ、止メマシタガ、今小笠原君ノ伺ッテ點ニ付テ一寸觸レテ居リマスノデ、政府委員ニ對シテ尙ホ此間ノ事情ヲ伺ヒタイト思ヒマス、詰リ臨時利得稅ノ施行年限ニ關スル問題デアリマス、度々本會議豫算會議其他ノ機會ニ於テ、大藏大臣ナリ總理大臣ガ、今本席デモ言ハレタノデアリマスルガ、一般稅制整理ト云フモノヲ、國策審議會ニ懸ケテ之ヲ決定スル、斯ウ云フノデアアル、國策審議會ニ懸ケテ稅制整理ヲヤル時ニハ、必ズ此臨時利得稅ト云フモノハ考慮スルノダト云フコトハ、本會議總理事務大臣ガ言明シテ居ル所デアアル、然ルニ今政府委員ノ御答辯ニ依ルト、是ハ腹ヲ割ッテ御話デアアルト云フコトデアアルカラ、餘リ大キイ聲デハ申シマセヌケレドモ、ドウモ二三年ノ間ニ是ガ

○大山委員 先程大藏大臣ニ對スル質問ハ、大藏大臣トノ間ノ意思ノ疏通ヲ缺イタ爲ニ止メマシタ、止メマシタガ、今小笠原君ノ伺ッテ點ニ付テ一寸觸レテ居リマスノデ、政府委員ニ對シテ尙ホ此間ノ事情ヲ伺ヒタイト思ヒマス、詰リ臨時利得稅ノ施行年限ニ關スル問題デアリマス、度々本會議豫算會議其他ノ機會ニ於テ、大藏大臣ナリ總理大臣ガ、今本席デモ言ハレタノデアリマスルガ、一般稅制整理ト云フモノヲ、國策審議會ニ懸ケテ之ヲ決定スル、斯ウ云フノデアアル、國策審議會ニ懸ケテ稅制整理ヲヤル時ニハ、必ズ此臨時利得稅ト云フモノハ考慮スルノダト云フコトハ、本會議總理事務大臣ガ言明シテ居ル所デアアル、然ルニ今政府委員ノ御答辯ニ依ルト、是ハ腹ヲ割ッテ御話デアアルト云フコトデアアルカラ、餘リ大キイ聲デハ申シマセヌケレドモ、ドウモ二三年ノ間ニ是ガ

○大山委員 關聯問題デ一寸……

○矢吹政府委員 臨時利得稅ヲ當分ノ中行フト云フ、其言葉ニ付テノ御質問デアリマスガ、當分ノ中ハ所謂當分ノ中デ、永續シナイモノト心得テ居リマス、何時迄モ臨時利得稅ヲ置イテ、其利得ヲ取ルノヂヤナイカト云フ御懸念ガ非常ニ深イノデアリマスガ、私共此稅ヲ起スニ付テノ内輪ノ相談ノ場合ニ、決シテ左様ナコトヲ豫想シタ者ハナイノデアリマシテ、所謂臨時利得ト云フノデ、ホンノ當分ノ間稅ヲ課ケル、ソレデ斯ウ云フ稅ヲ課ケルニ付テノ理由ハ、モウ既ニ色々ノ機會ニ於テ大藏大臣其他カラ申上ゲタラウト思ヒマスガ、今日時局ノ影響ヲ受ケマシテ、一方ニ相當ナ利得ヲ占メテ居ル人々ガアルト云フ、此現狀ハ見遁ス譯ニハ參ラヌノデアリマシテ、左様ナ特ニ時局ノ影響ニ依ッテ利得ヲ占メテ居ル人カラ、若干ノ稅ヲ取ルト云フコトハ、至極至當ナコトデアアルト、斯様ニ考ヘテ居リマス、左様ナ狀況ト云フモノハ永續スベキ性質ノモノデハナイト思フ、時局ノ影響ナルモノハ、或ル限ラレタル期間デアアルト云フコトハ豫想サレルノデアリマシテ、隨ヒマシテ此稅ヲ實施致シマス期間モ、自ラサウ永久的ノモノデナイト云フコトニ、御承

知ヲ願ヘルガラウカト思ヒマス

○大山委員 是レ以上ハ常識判斷ノヤウニナリマスケレドモ、一體當分ノ中ナドト云フコトハ、法律ノ術語ニナルベキモノカドウカ、私等ニハ分ラヌ、マア併シソレハソレデ宜シトシテ、大體此稅ヲ設定サレル心持ト云フモノガ、若シ今ノヤウナ心持デアルトスルナラバ、世ノ中ガ不景氣ニナッタラ止メル、斯ウ一言デ言ハナケレバチラスコトニナル、世ノ中ノ不景氣ニナルコトヲ期待サレテ、ドノ位ノ收入ニ止マル場合マデ御存積ニナル積リデアルカ、今初年度ハ三千萬圓、二年度、三年度カラ段々ニ増額シテ、六千萬圓、七千萬圓ヲ超エルガラウト吾々ハ想像シテ居ルノデアルガ、ソレガ世ノ中ガ不景氣ニナッテ段々減ッテ、元ノ創設當時ノ三千萬圓以内ノ收入ニ止マルヤウニナッテ來タラ、止メルト云フノカドウカ、サウデヤナクシテ矢張稅ノ收入額ノ如何ニ拘ラズ、原因ノ如何ニ拘ラズ、社會正義ノ上カラ是ハ取ルノデアルト云フコトナラバ、永久稅トシタラ宜カリサウニ思フ、何ノ爲ニ臨時利得稅ト云フコトニナッテ居ルノカ分ラヌ、是等ノ點ニ付テ御答ニクイ點ガアルカモ知レマセヌケレドモ、此處ハ委員會デアリマスカラ、御遠慮ハ要リマセヌカラ、

ドウゾ率直ニ御答ヲ願ヒタイ

○矢吹政府委員 先程私ガ御答申上ゲマシタニ付キマシテ、臨時利得稅ガ廢止サレル場合ハ、則チ不景氣ノ到來スル場合デアラウ、不景氣ハ好マヌ所デアルカラ、臨時利得稅ガ成ベク長ク取レルヤウナ社會情勢ガ望マシト云フ、大山サンノ御趣意デアリマス、私共モ左様ニ考ヘテ居リマス、斯様な稅金ヲ何時マデモ取り得ルヤウナ好景氣ノ續クコトガ、國家ノ爲ニ願ハシイと思ッテ居リマス、而シテ斯様な狀況ガ長ク續ク場合ニ於キマシテハ、一般ニ稅制ノ上カラ言ッテ、社會ノ事情ニ依ッテ改正ヲシテ參ラナケレバナラヌコトハ、此際バカリデナク、常ニアルノデアリマシテ、疾ウカラ大藏省ノ内部ニ於テハ、今大山サンノ仰セノ如ク、稅制ノ改善整理ト云フコトニ付テハ、常ニ案ヲ練ッテ居ルノデアリマス、ソコヘ此度ノ此時局ノ影響ニ依リマシテ、相當ノ利得ヲ占メテ居ル人々ニ對シテノ課稅ハ、此際稅制ノ整理ヲ致スナラバ、ソレニ適應シタ稅制ノ改正モ出來ルノデアリマシガ、一般稅制ハ其儘ニシテ置イテ、唯時局ノ影響ヲ受ケタ人々ノ利得ヲ、其儘黙過スル譯ニ參ラヌ、現在ノ事情カラ言ッテ、之ニ對シテ稅ヲ取ラウト云フ場合ニ於テハ、斯

ウ云フ臨時ノ利得稅ヲ設ケテ、暫クノ間之ニ依ッテ間ニ合セルト云フコトヲ考ヘルノ外ハナカッタノデアリマス、社會ノ好景氣ガ時局ノ影響ニ依リマシテ續ク狀況ニ於キマシテハ、豫々大藏大臣ハ總理カラ申上ゲタ通り、一般ノ稅制ノ整理改善ト云フコトガ、國策審議會等ノ議ニ附シテ行ハレルコトニナラウト思フノデアリマシテ、好景氣ノ續ク限りニ於テハ、自ラ其新ナル稅制ニ依リマシテ、臨時利得稅ニ代リマシテ、斯ル利得ヲ占メテ居ル人々ニ對シテ、一般稅制整理ノ結果、新ナル稅課ケルト云フコトガ、將來起ルガラウト思ヒマス、斯様な考方カラ致シマシテ、矢張臨時利得稅ナルモノハ臨時ノモノデアッテ、サウ永續スルモノデハナイト私共ハ考ヘルノデアリマス

○大山委員 諄イヤウデスケレドモ、一應ソコガ吾々ノ御尋致シタイ眼點デアリマスカラ、御尙致シマサガ、現ニ先程申上ゲタヤウニ、總理大臣マデガ、臨時利得稅ハ一般稅制整理ノ際ニ必ず考慮スルト云フコトヲ、本會議デモ明言サレテ居ル、デスカラ一般稅制整理ヲ國策審議會ニ懸ケテ、ソレガ決定スルマデノ間ト云フナラ、ソレデ宜シイ、是ハ一ツノ期間デアアル、所謂臨時デアアル、据置クヤ据置カザルヤト云フコトハ、其國策審議會ニ懸ケテ御決定ニナレバ宜イ譯デアアル、吾々ノ責任トシテ、此委員會ノ責任トシテ、一體何處マデアルノカ、當分ノ内ダト云フコトハ、常識トシテ見テ行ケバ差支ナイコトデアリマスケレドモ、苟モ國民負擔ニ關スル問題ヲ、サウ云フコトデ漫然トウッチャッテ置ク譯ニハ行クマイ、肚ノ中デハ大抵見當方付イテ居リマス、付イテ居ルダケニ、此點ダケハ一ツ確メテ置キタイ、若シ社會情勢ガ非常ニ好轉スルカ、是レ以上ニ好轉スルカ、是レ以上ニ不景氣ニナルカ、社會情勢ノ變化モアリマセウ、又國家財政ノ狀況ノ變化モアリマセウ、ダガ併シ稅制ノ根本ニ關スル問題デアリマスルガ故ニ、一般稅制整理ニ對シテ、必ず其時ニハ之ヲ考慮スルノダト云フ御言明ガ得ラレマスレバ仕合セデアリマス、若シ只今直グニ御言明ガ難カシイ事情ガアリマシタラ、宜シク御相談ノ上、其分ハ後日ニデモ宜シウゴザイマス、此委員會中ニ於テ、其點ヲハッキリシテ戴キタイと思フノデアリマス

○矢吹政府委員 色々ナ機會ニ總理或ハ大藏大臣カラ申上ゲテ居ル通り、國策審議會ニ懸ケマシテ、一般稅制整理ヲシタイト云フ政府ノ希望ハアルノデアリマシテ、左様

午後四時十一分散會

ナ審議ヲ致ス場合ニハ、此臨時利得稅ヲ存續スベキヤ否ヤト云フコトハ、當然付議サレベキモノデアルト考ヘテ居リマス、此程度ノ私カラノ御答ヲ以テ御満足ガ行カナインデアリマスルカ、明ニ其際ハ之ヲ廢スルト云フコトヲ言明セイト云フ仰セナノデアリマスカ、左様ナ意味デアルト致シマス、只今私ハ即答致シ兼ネマス

○岡田委員長 大山君、アナタノ御質問ハ、矢張此次ニ大藏大臣ノ見エタ時ニナサツタラ如何デスカ、國策審議會ナドハマダナイモノダ、空ナモノヲ以テ答タツテ何ニモナラナイ、サウ云フモノヲ以テ答ヘルト云フコトハナイ答デス、是ハ寧ロ大藏大臣ノ見エタ時ニ、モウ一度御聽キニナツタラ宜カラウト思フ

○大山委員 委員長ニ申上ゲマスガ、大藏大臣ニ對シテ私ハ臨時利得稅問題、及公債問題ニ付テハ質問セスト言ッテ居ル

○岡田委員長 ナサル場合ニハ私ガ許シマス

○大山委員 故ニ大藏大臣ニ關スル限りハ、私ハ此程度ニ止メテ置キマス

○岡田委員長 ソレヂヤ御質問ヲ續ケマス

○大山委員 モウ是デ宜シイ

○後藤委員 昨日矢野君カラ要求シマシタ材料デアリマスガ、只今一ツ參ツタノデアリマス、マダ殘ッテ居リマスカラ、成ベク早く御提出ヲ願ヒマス

○石渡政府委員 出來マシタモノヨリ順次提出致シマス

○岡田委員長 明日ハ實ハ分科會ノ方ヘ大藏大臣ガ出ルコトヲ必要トスルモノデアリマスカラ、私モ御同意シテ置イタノデス、ソコデ大藏大臣ガ居ナケレバ進行出來ナイ點モアルヤウデアリマスカラ、明日ハ特ニ午後一時半ヨリ開クコトニ致シマシテ、午

前ハ開キマセス  
○大山委員 御決定ノコトニ付テハ彼此レ申シマセヌガ、私ハ先程外務大臣及商工大臣等ニモ、同時ニ質問ヲスベク要求ヲ致シテ置キマシタ、デアリマスカラ、若シ大藏大臣ノ問題デアリマスルナラバ、ソレハ構ハズニ、他ノ大臣デ質問ガ出來ルコトと思ヒマス

○岡田委員長 宜シウゴザイマス、時間ノ都合ガアリマスカラ、明日ハ午後一時半カラ開イテ、サウシテアナタノ御要求シテ居ルコトハ、固ヨリ外務大臣並ニ商工大臣ニ通ジテ置キマス、ソレハ分ッテ居リマス、本日ハ是デ散會